

第4章 調査の成果とまとめ

縄文時代後期の集落様相

横壁中村遺跡では、縄文時代後期と比定した住居が53軒を数える。調査区中央を北流する山根沢東側で検出された住居が17軒、伴う列石6基、配石5基、山根沢西側で検出された住居が36軒、伴う列石1基、配石13基である。ここでは、横壁中村遺跡全体を踏まえ、山根沢東側で検出された縄文時代後期の集落様相について述べていきたい。

山根沢東側で検出された縄文時代後期住居は、18区で5軒、19区で2軒、28区で4軒、29区で6軒の計17軒あり、調査面積の狭い29区では集中するように検出されている。時期は、確認できるものすべてが称名寺1式期から堀之内1式期までに収まり、堀之内2式期や加曽利B式期の住居は確認されていない。時期別では、称名寺1式期が3軒、称名寺2式期が5軒、堀之内1式期が7軒と、堀之内1式期がやや多い。遺存状態が悪く、縄文時代後期とのみ判断した住居も2軒あった。『横壁中村遺跡(7)』で報告された土器埋設遺構の中には、住居炉の可能性が指摘されているものが数基見られた。報告する調査区でも、さらに多くの住居が存在した可能性は高いだろう。

縄文時代後期の集落様相を考える上で、縄文時代中期の集落様相についても概観したい。横壁中村遺跡の縄文時代中期では、大規模環状集落が営まれていたことが明らかになってきている。大規模な環状集落は山根沢西側で検出されており、山根沢東側でも環状集落ほどの密度ではないが住居を検出している。環状集落の中央付近には広い空間が設けられており、土坑や数軒の掘立柱建物が検出されたが遺構数は少ない。墓域については明らかでない。縄文時代中期の大規模環状集落が、どのように形成され変容していったのか未だ結論は出ないが、加曽利EⅣ式期頃には環状集落を形成しようとする意識は薄れてきたように思われる。

縄文時代後期になると、数軒の住居が、一定の間隔を空け点在するように検出されるようになる。縄文時代中期に形成された大規模環状集落は、縄文時代後期にはいくつかのブロックに括れるような集落に変容し、ある程度の期間同様の場所に住み続けていたことが伺える(第158図参照)。報告する調査区では、特に29区でこのような傾向が顕著に見られ、称名寺2式期から堀之内1式期の住居が隣接、または重なるように建てられていた。また、称名寺2式期である29区4号住居と堀之内1式期である29区3号住居では、住居出入り口部付近にある同じ立石をともに意識しているような検出状況も見られた(第107図参照)。

縄文時代後期、各時期の様相についても述べてみたい。称名寺1式期では、住居は遺跡全域に散見できた。山根沢西側でやや多く検出されたが、住居軒数は少なく、特定の地域に集中する検出状況ではない。先述の通り、確認できなかった住居もあると思うが、少なくとも環状集落とは異なる集落へと変容していたことが分かる。

称名寺2式期になると、山根沢東側でも多くの住居が検出された。特に29区では、限られた範囲に隣接するように住居を構築しており、称名寺1式期との違いが伺える。また、29区4号住居では、住居出入り口部に列石を伴う可能性も指摘できるが、重複の著しい調査区であり断定することは難しい。

堀之内1式期においても、住居は限られた範囲に隣接するように構築されており、称名寺2式期との共通性が見いだせる。また、住居出入り口部に列石を伴う検出例が多く確認できるようにもなる。複数の住居が、列石を継承または共有する検出状況も見られ、当該期の特徴とも考えられる。

堀之内2式期の住居軒数は少なく、山根沢東側では確認できない。集落様相も判然としない部分はあるが、住居出入り口部に列石を伴い、この列石を継承または共有する傾向は継続するようと思われる。加曽利B1式期の住居も同様に、山根沢西側でわずかに確認できたので、集落様相について言及

することは難しい。堀之内2式期と同様に、住居出入口口部に列石が伴うかどうかとも判然としない。

縄文時代後期には、掘立柱建物が多く出土するようになった。特に、12基の柱穴を持つ18区3号掘立柱建物は、集落の象徴的な建物であったと思われる。

隣接して墓坑も2基検出されており注目される。

縄文時代後期の墓域は、29区山根沢西側で確認されているが、その詳細は明らかでない。今後の報告の際検証したいと考えている。

表6 横壁中村遺跡 縄文時代後期住居時期別一覧表

山根沢西側で検出された縄文時代後期住居

区	住居	グリッド	時期	焼骨(g)	形状	住居規模(cm)			炉	柱	備考
						長軸	短軸	深さ			
18	11号住居	W・X-19・20、X-21	称名寺1式期	—	柄鏡形	(660)	(570)	51	方形石囲炉	18	敷石
18	13号住居	M・N-15	称名寺1式期	—	柄鏡形	534	302	31	方形石囲炉	7	敷石
29	18号住居	E・F-6・7	称名寺1式期	—	柄鏡形	(435)	(460)	—	土器埋設炉	4	敷石か。29区6号配石は住居出入口部
20	52号住居	P-16	称名寺1式期	40.8	柄鏡形	665	445	55	長方形石囲炉	11	—
20	11号住居	U-21	称名寺1式期	—	—	(320)	(295)	—	—(土器埋設)	—	—
20	81号住居	C-2	称名寺1式期	1.9	柄鏡形	(748)	(522)	15	方形石囲炉	16	—
18	14号住居	M・N・O-20、N-21	称名寺2式期	—	(柄鏡形)	(590)	(460)	—	焼土痕	(1)	18区1号掘立、18区掘立(18区72号土坑を伴う)との切合関係不明。敷石か
18	15号住居	Q・R-15・16、R-17	称名寺2式期	—	柄鏡形	731	554	52	方形石囲炉	26	建て替えが行われた住居か。敷石
29	4号住居	A・B・C-2・3	称名寺2式期	—	(柄鏡形)	(700)	(455)	89	土器埋設方形石囲炉	7	29区1・2号列石を伴う。敷石か
29	6号住居	A・B・C-3・4	称名寺2式期	761.6	柄鏡形	425	400	26	方形石囲炉	9	29区3号土坑は、6号住居覆土の可能性あり。29区2・4号土坑との切合関係不明。敷石
29	8号住居	A・B-5・6	称名寺2式期	—	—	(400)	(372)	(52)	土器埋設炉	—	敷石か
19	24号住居	S-24~26	称名寺2式期	6.5	(柄鏡形)	(410)	(675)	—	—	12	周礫を伴う
20	109号住居	G-1	称名寺式期?	—	柄鏡形	(660)	(426)	—	方形石囲炉	11	—
19	21号住居	S-24・25	堀之内1式(古)期	31.0	(柄鏡形)	(495)	(630)	—	—(土器埋設)	20	周礫を伴う
19	54号住居	W-17~19	堀之内1式(古)期	—	(柄鏡形)	(545)	(560)	—	—(土器埋設)	22	—
19	27号住居	18区Y-12・13、19区A-12・13・14	堀之内1式期	1.7	柄鏡形	(880)	(620)	40	土器埋設炉	17	18区23号配石を伴う。19区86号土坑との切合関係不明。敷石か
19	40号住居	E・F-12・13、G-13	堀之内1式期	—	柄鏡形	(596)	411	75	土器埋設炉	17	19区2号土器埋設遺構との切合関係不明。敷石
28	17号住居	V-1・2	堀之内1式期	—	—	—	—	—	焼土痕	—	—
28	18号住居	W・X-3・4	堀之内1式期	—	(柄鏡形)	(498)	(468)	—	焼土痕	11	—
29	3号住居	A・B・C-1・2、B-3、D-1	堀之内1式期	—	柄鏡形	884	540 (760)	150	土器埋設炉	8	敷石。周堤帯礫を伴う。()は周堤帯礫を含む規模
29	7号住居	B・C-3・4	堀之内1式期	—	—	(470)	(309)	(32)	—	1	—
19	3号住居	W-25	堀之内1式期	23.0	(柄鏡形)	(780)	(740)	—	—(土器埋設)	14	大形住居。19区58号住居との切合関係不明
19	32号住居	W~Y-14・15	堀之内1式期	1.1	(柄鏡形)	(640)	(790)	—	(石囲炉)	—	7 周堤帯礫を伴う
19	53号住居	W・X-15	堀之内1式期	—	(柄鏡形)	(575)	(700)	—	—	9	柱穴のみ
19	57号住居	X・Y-16・17	堀之内1式期	—	(柄鏡形)	(660)	(840)	—	—	15	掘り方・柱穴のみ
19	58号住居	W・X-24・25	堀之内1式期	—	—	(690)	(795)	—	—	9	大形住居。19区1号環状柱穴より変更。19区3号住居との切合関係不明
20	40号住居	M-18	堀之内1式期	0.6	(柄鏡形)	(850)	810	—	—	24	20区198・201・208号土坑との切合関係不明
20	47号住居	O-17	堀之内1式期	23.8	柄鏡形	760	505	70	土器埋設方形石囲炉	47	周礫を伴う。20区10号土器埋設遺構と近接
20	61号住居	L-18	堀之内1式期	0.3	(柄鏡形)	(610)	(750)	—	—	5	柱穴のみ
20	82号住居	C-4	堀之内1式期	—	(柄鏡形)	(625)	(645)	—	—	9	土製陶輪3点出土
20	95号住居	A-17	堀之内1式期	0.2	(柄鏡形)	(890)	(735)	70	土器埋設(方形)石囲炉	9	周堤帯礫、反称「柱穴連結溝」あり
20	98号住居	B-15	堀之内1式期	2.6	(柄鏡形)	(578)	(492)	—	—(土器埋設)	9	—
20	108号住居	A-3	堀之内1式期	—	(柄鏡形)	(540)	(500)	—	土器埋設方形石囲炉	4	—
20	114号住居	S-8	堀之内1式期	—	(柄鏡形)	(737)	(587)	—	—(土器埋設)	13	20区588・589・591・592・642号土坑との切り合い関係不明
18	19号住居	P・Q・R-6・7、Q・R-8	堀之内1式(新)期	—	柄鏡形	(902)	(616)	—	土器埋設炉	13	18区5・6号列石、31・32号配石を伴う。敷石か
30	33a号住居	A-1	堀之内1~2式期	1080.0	柄鏡形	(1000)	(745)	—	—	16	焼骨多量に出土
30	33b号住居	A-2			(柄鏡形)	(740)	(720)	—	—	11	—
30	35号住居	B-3	堀之内1(新)~2式期	7.9	(柄鏡形)	(785)	(825)	—	—	8	30区1号環状柱穴より変更
19	28号住居	X・Y-16・17	堀之内2式期	2.7	柄鏡形	970	660	—	(石囲炉)	8	周堤帯礫を伴う
19	55号住居	W-15	堀之内2式期	15.7	(柄鏡形)	—	—	—	—(土器埋設)	2	柱穴のみ。19区9号土器埋設遺構が炉に相当か?
20	77号住居	A-16	堀之内2式期	0.8	柄鏡形	520	485	—	—(土器埋設)	8	—
20	70号住居	C-19	加曾利B1式期	0.4	柄鏡形	725	(530)	—	方形石囲炉	28	20区4号列石と接続する
20	71号住居	A-17	加曾利B1式期	43.0	柄鏡形	735	(630)	35	方形石囲炉	15	20区4号列石と接続する
30	38号住居	F-5	加曾利B1~2式期	6.1	柄鏡形	565	410	—	方形石囲炉	—	—
19	56号住居	W-19	加曾利B2式期	—	—	—	—	—	長方形石囲炉	—	炉のみ
30	34号住居	A-4	高井東式期	—	柄鏡形	450	430	13	(方形)石囲炉	—	—
30	36号住居	C-3	高井東式期	134.6	(隅丸長方形)	(525)	570	10	方形石囲炉	8	—
28	16号住居	U・V-2・3	縄文後期	—	—	—	—	—	焼土痕	—	—
28	20号住居	W・X-5・6	縄文後期	—	—	(497)	(403)	20	(方形石囲炉)	11	—
19	2号住居	W-23	縄文後期	0.3	—	—	—	—	(方形石囲炉)	—	—
19	36号住居	T・U-12・13	縄文後期	—	(柄鏡形)	—	—	—	—(土器埋設)	6	—
20	19号住居	M-20	縄文後期	—	(柄鏡形)	(535)	(460)	—	—	8	—
20	75号住居	C-17	縄文後期	0.5	(柄鏡形)	(645)	517	12	—	52	—
29	23号住居	Y-3	縄文後期	—	—	—	—	—	—	—	敷石のみ

後期土器の時期区分と概要

藤巻幸男

1 はじめに

今回報告する横壁中村遺跡（8）と（9）は後期集落編で、諸般の事情から山根沢の東側を（8）、西側を（9）で報告するが、ここで扱う後期土器の時期区分等は共有の内容である。また、本遺跡の報告はこれまでに7冊を刊行している。そのうち、昨年刊行した（6）は土坑編、（7）は土器埋設遺構・掘立柱建物・環状柱穴列・柱穴列・集石・焼土遺構編であり、このうち後期の遺構については遺構全体図や本節でも一部を扱っている。

2 時期区分と概要

横壁中村遺跡では、縄文時代後期のほぼ全時期の土器が出土している。ここでは、報告対象とした各住居出土土器を中心に、土器埋設遺構や土坑出土の土器も一部加えて、時期区分に有効な土器を網羅的に集成し、本遺跡出土後期土器の様相の一端を明らかにしておきたい。ただし、遺構外出土土器の整理作業は未着手であり、ここに示す資料は本遺跡出土後期縄文土器の概要に留まる。

なお、時期区分については、一般的に使用されている細別型式に従うこととする。

称名寺1式期（図1～図2、1～25）

この時期の住居は20区52号住居、29区18号住居などがある。土器は、称名寺式1式とこの地域特有の隆線文土器が主体で、これに加曾利E式系土器や越後地域の三十稲場式系の土器が少量加わる。

1～8は加曾利E式系統の土器で、1～3のタイプは大型土器が多いのだが、本遺跡では中型の土器が目立つ。9～20は称名寺1式土器で、11は中津式系統の文様を描く古手の土器である。18は注口がつく小型の土器で、この時期では希な例であろう。21・22は三十稲場式古段階の土器で、20の称名寺1式と共に土坑内から出土している。23～25はこの地域特有の隆線文土器で、加曾利E式系とは異なる

る8字状の文様構成をとるものが多く、隆線の交点につくボタン状の貼付が特徴的である。本地域の大型土器は大半がこのタイプで占められるが、この傾向は堀之内1式段階まで残存するようだ。

称名寺2式期（図3～図4、1～37）

この時期は18区15号住居、29区4号住居などから基準的な土器が出土している。特に前者は、新しい段階の良好な資料がまとまっている。土器は称名寺式の他に隆線文を特徴とするいわゆる茂沢類型の一群があり、それに三十稲場式土器と隆線文土器が加わる。

3・4は櫛歯状施文で列点を施す一群である。19～21は小型の壺型土器で、県内平野部では見かけない。称名寺式特有の文様をよく留めており、1式に遡るかもしれない。22と23は注口付浅鉢で、22は1式の可能性もある。

14～18は茂沢類型に該当する一群で、24と25はその浅鉢であろう。隆線の使用と交点に付くボタン状貼付は、隆線文土器との関係が指摘できる。13は器形および文様構成が14と類似するが、沈線と列点の文様は称名寺2式土器と共通している。

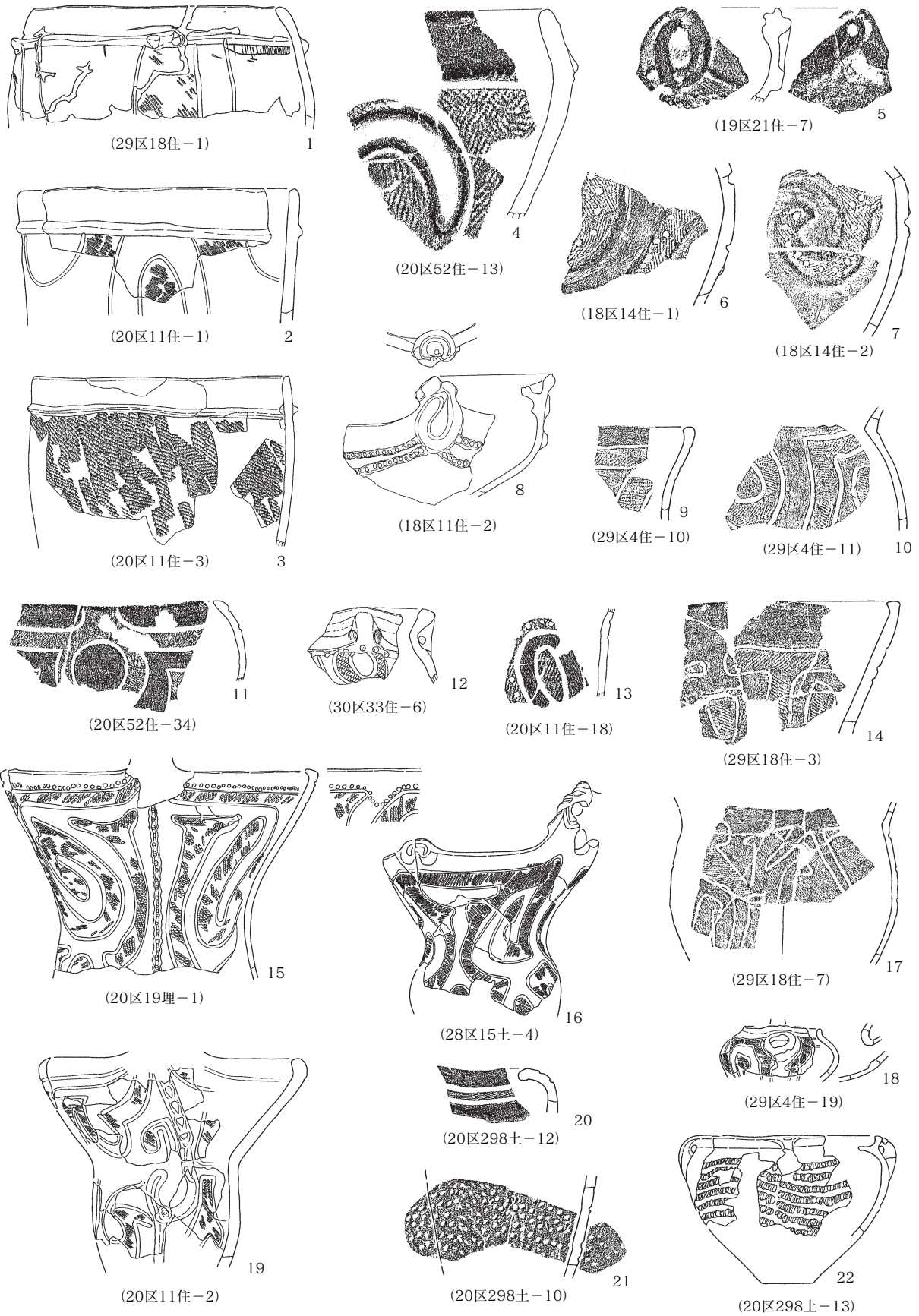
27～36は隆線文土器で、大型土器の他に中型・小型の土器も認められる。また、33・34では隆線に押圧を加え、35・36では刻目が施される。

26は頸部に刺突文を施し、以下に縦位の条線を施文した壺型の土器で、越後系であろうか。37は綱取1式に先行する土器であろう。

堀之内1式期（図5～図9、1～81）

古段階では19区21号住居、19区27号住居、19区54号住居等があり、中段階では20区47号住居、20区82号住居、29区3号住居等が該当し、新段階では18区19号住居、19区27号住居、20区114号住居等がある。この時期も関東系と信州系の土器とがあり、これに越後の三十稲場式土器が少量加わる関係は変わらない。

1～4は、器形や文様構成に称名寺式の特徴が色濃く残る。30は越後地域に多いタイプで、口縁部内面の大柄な同心円文様が特徴的である。32・48



第1図 称名寺1式期(1)

は全面に縄文を施文したもので、東関東に多いタイプである。

53は称名寺式の文様を残しており、口縁部の隆線文は図4の27と近似する。54・55は越後地域に多いタイプであろう。63～66は三十稲場式土器で、66は称名寺2式に遡る可能性もある。59も越後地域の土器であろうか。67は小型の壺型土器、72・73は注口土器で、ともに称名寺式の名残を留める。68・69は茂沢類型の新しい段階のもので、52はその系譜を引くものであろう。71は注口付浅鉢で、この形態では最終段階のものであろう。

74～78は隆線文土器で、75～77では称名寺段階のものに比べて口縁無文部の幅が広い。

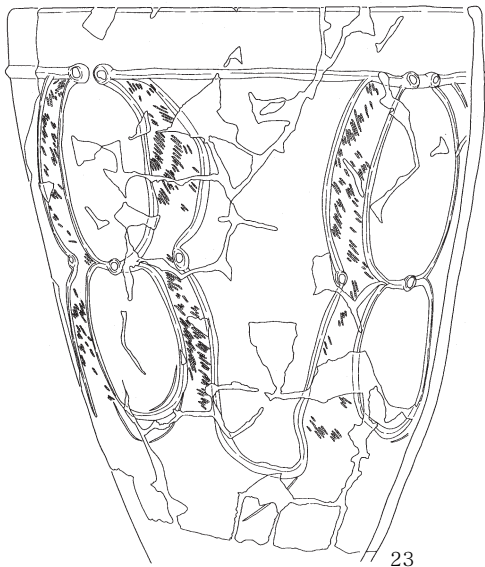
堀之内2式期 (図10～図12、1～67)

この時期の住居は19区28号住居、19区55号住居、20区77号住居、30区35号住居等がある。小型の深鉢や浅鉢、注口土器などでは、焼き焼成による黒色の研磨が入念に施された精製と呼ぶべき土器がつくられるようになる。また、土器の地域色は薄れ、広域に分布する土器へと集約する傾向が認められるのも、この時期の特徴であろう。

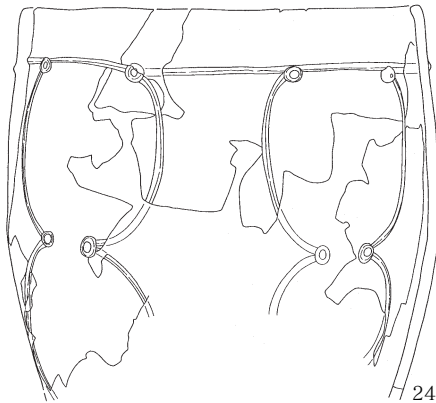
1～15は口縁部が大きく開く深鉢・鉢で、このうち1～6は堀之内1式から2式へと推移する段階の土器である。16～18は粗製の大型の深鉢で、16は深鉢特有の文様を簡略化しており、その手法が興味深い。17の胴部上半に見られる斜位のナデ痕は、この時期の特徴的な手法である。19は小型の壺型土器、22・23は浅鉢で、いずれも出土量は少ない。浅鉢の23は、堀之内1式段階の71に見られる口縁部文様を内面に引き継ぎ、22ではその波状口縁の系統を引き継いでいる。

24～43はいわゆる朝顔形深鉢で、このうち24～26は堀之内1式から2式へと推移する段階の土器である。45～51は加曾利B1式段階へつながる最終の資料で、文様は単純化されている。

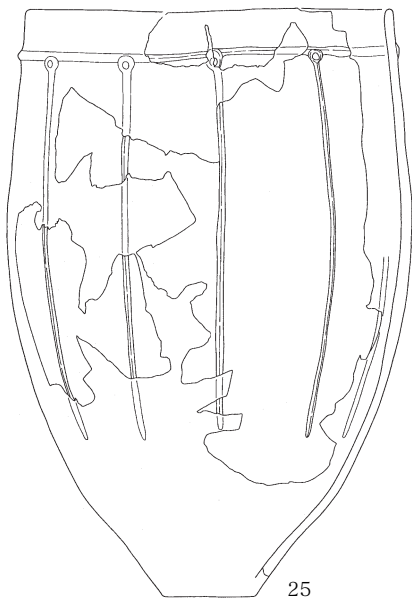
52～67は注口土器で、全形が残るものは少ないが、全体に占める割合は増加している。66・67は技巧を凝らした精緻な造りのもので、日常品の域を



(29区4住-43)

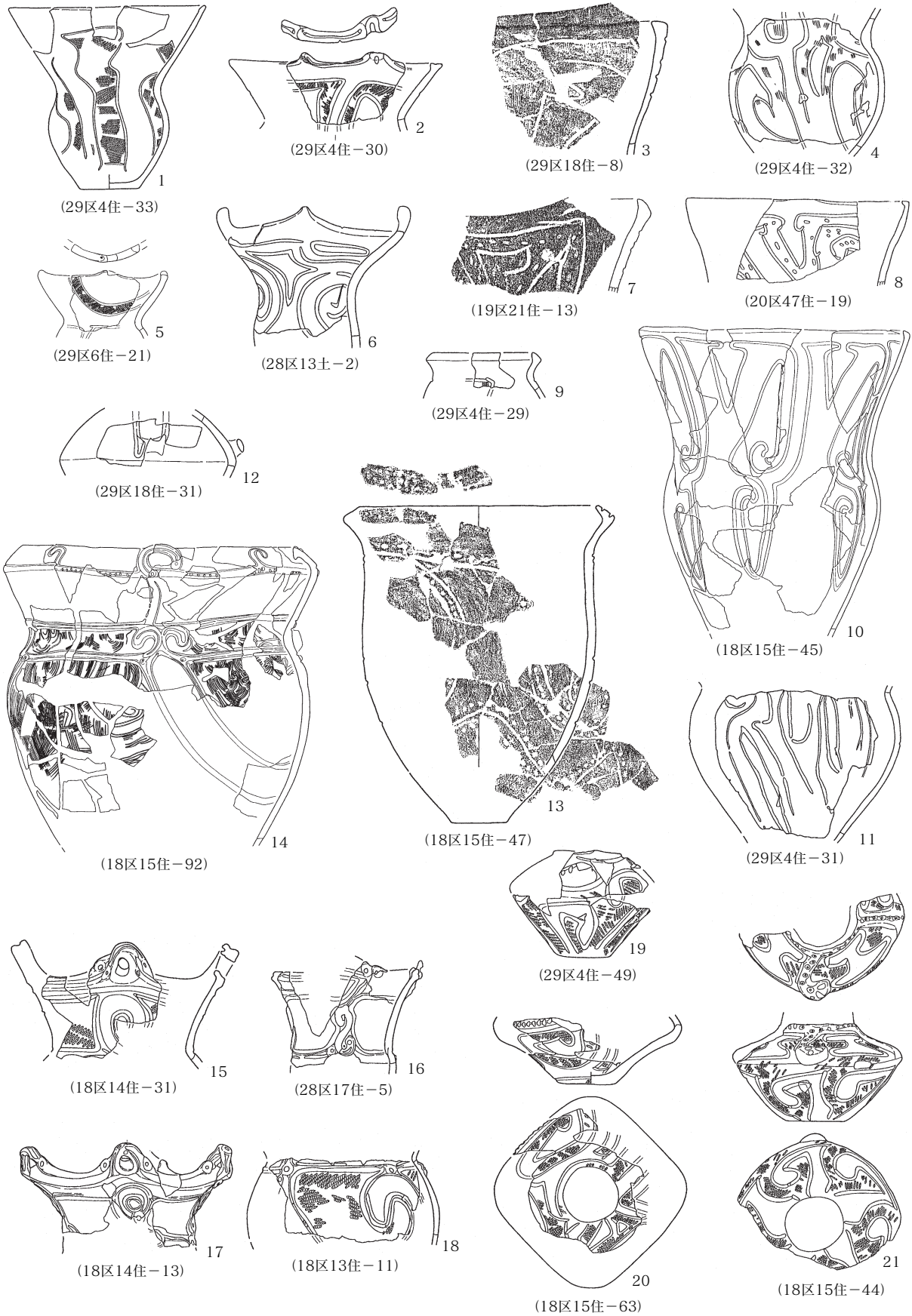


(29区4住-50)

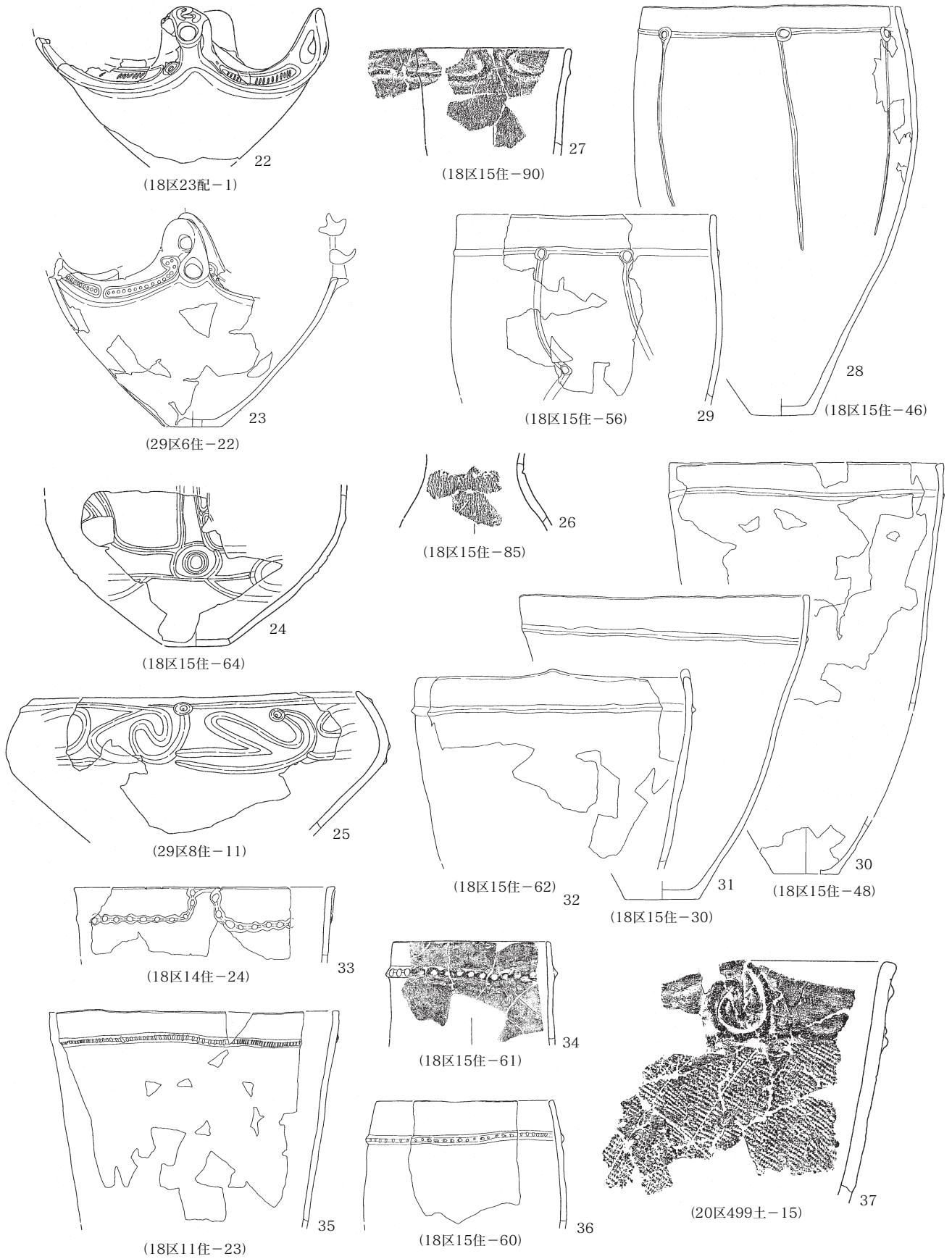


(29区6住-11)

第2図 称名寺1式期(2)

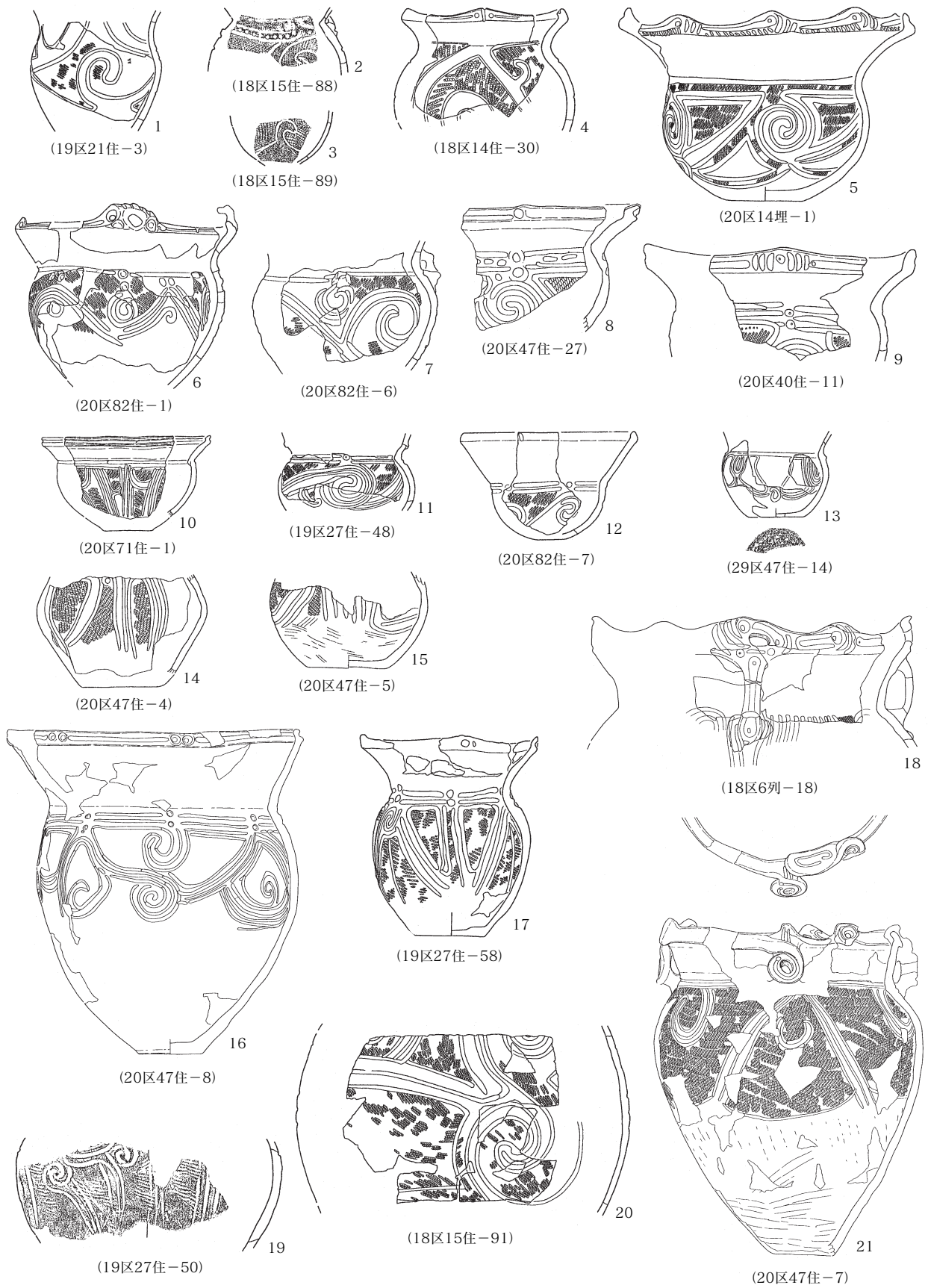


第3図 称名寺2式期(1)

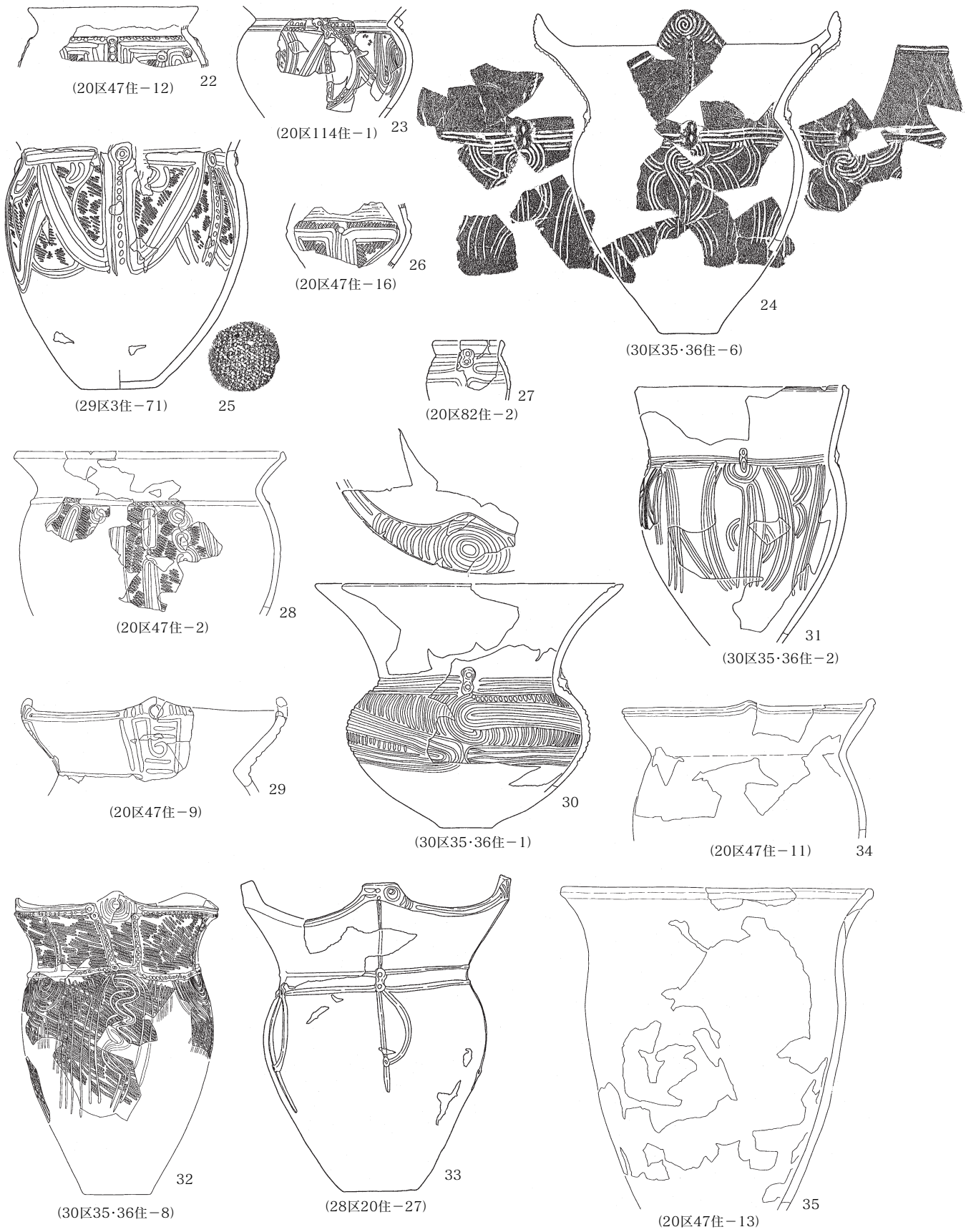


第4図 称名寺2式期(2)

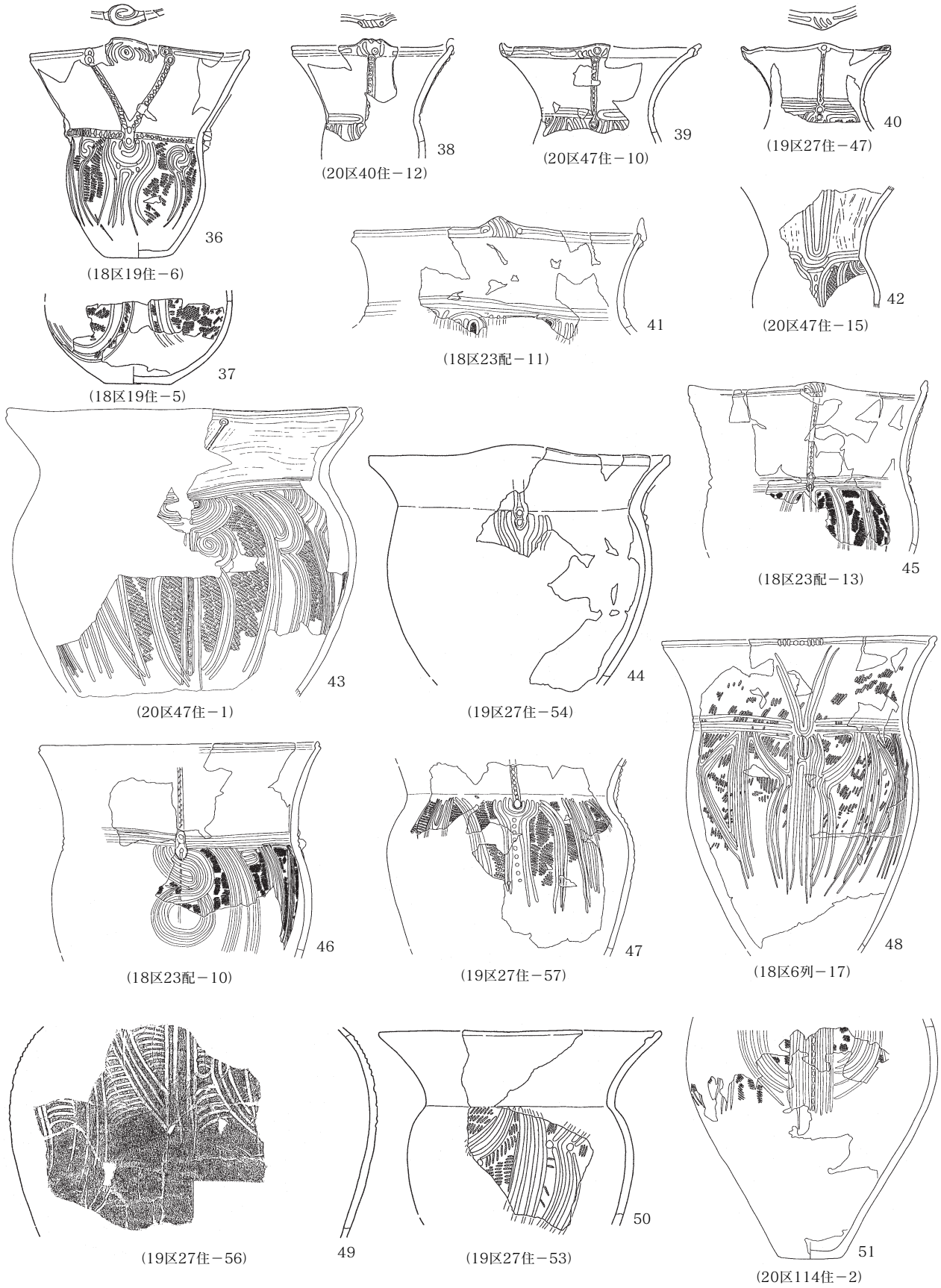
第4章 調査の成果とまとめ



第5図 堀之内1式期(1)



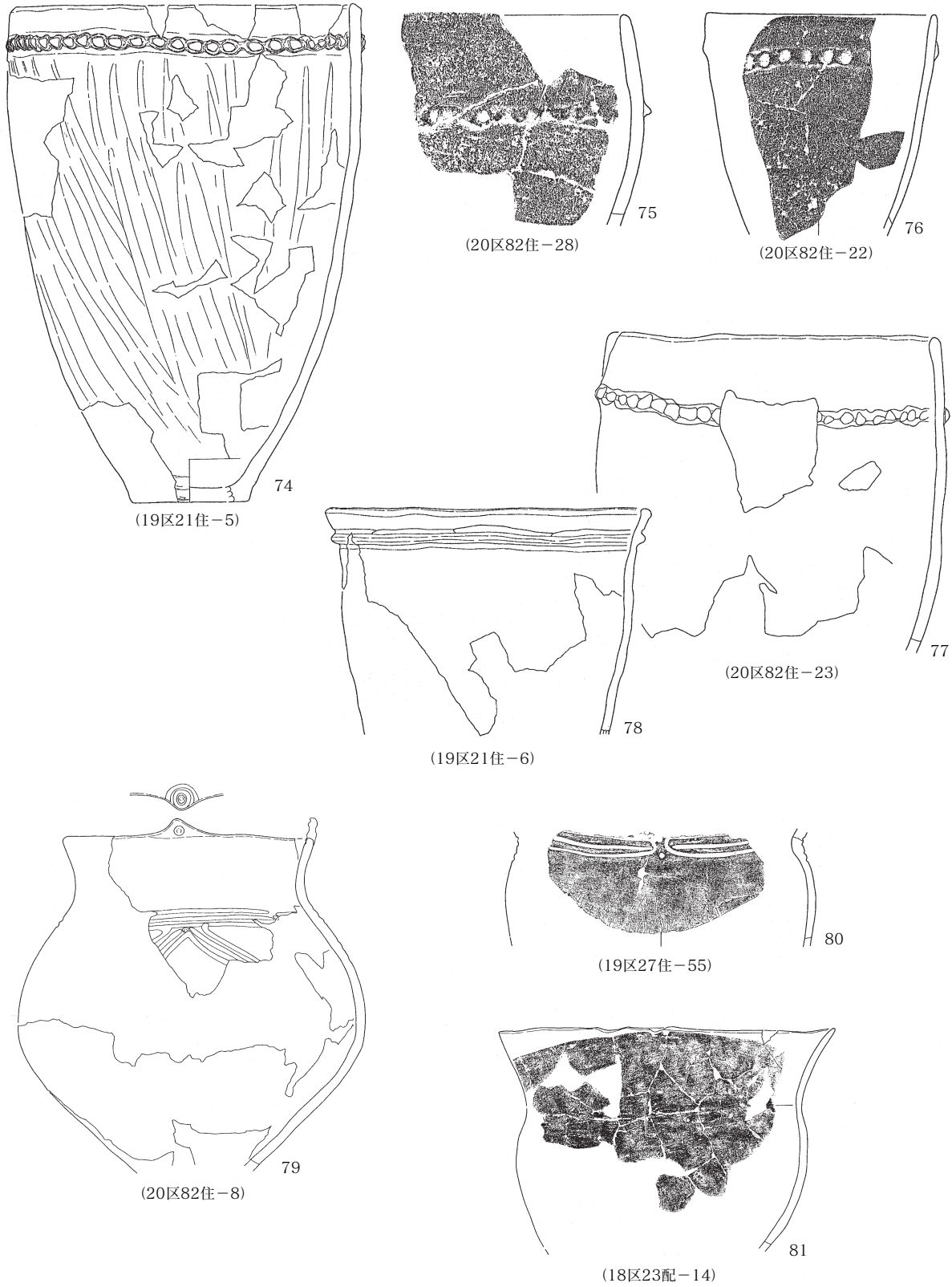
第6図 堀之内1式期(2)



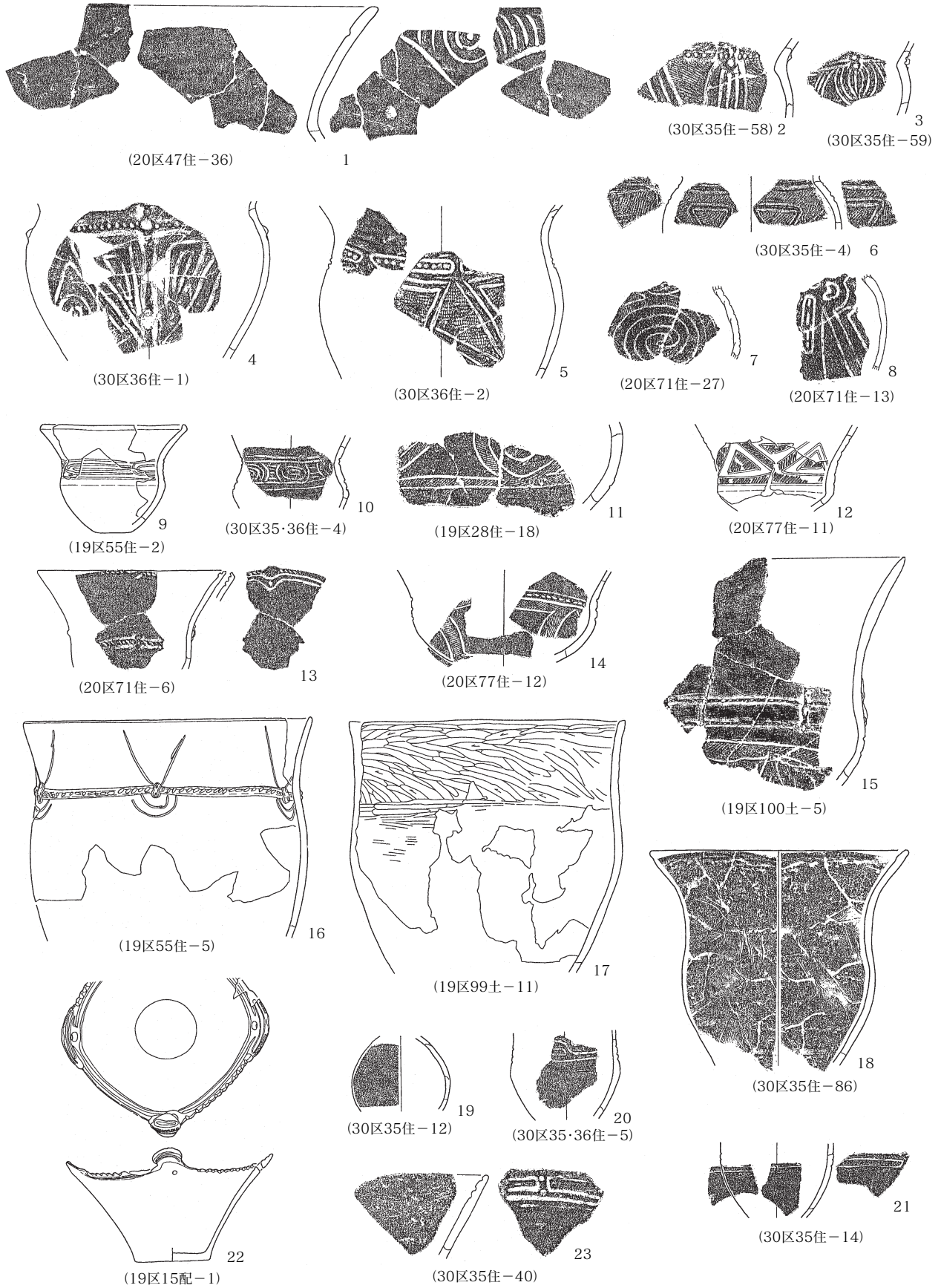
第7図 堀之内1式期(3)



第8図 堀之内1式期(4)

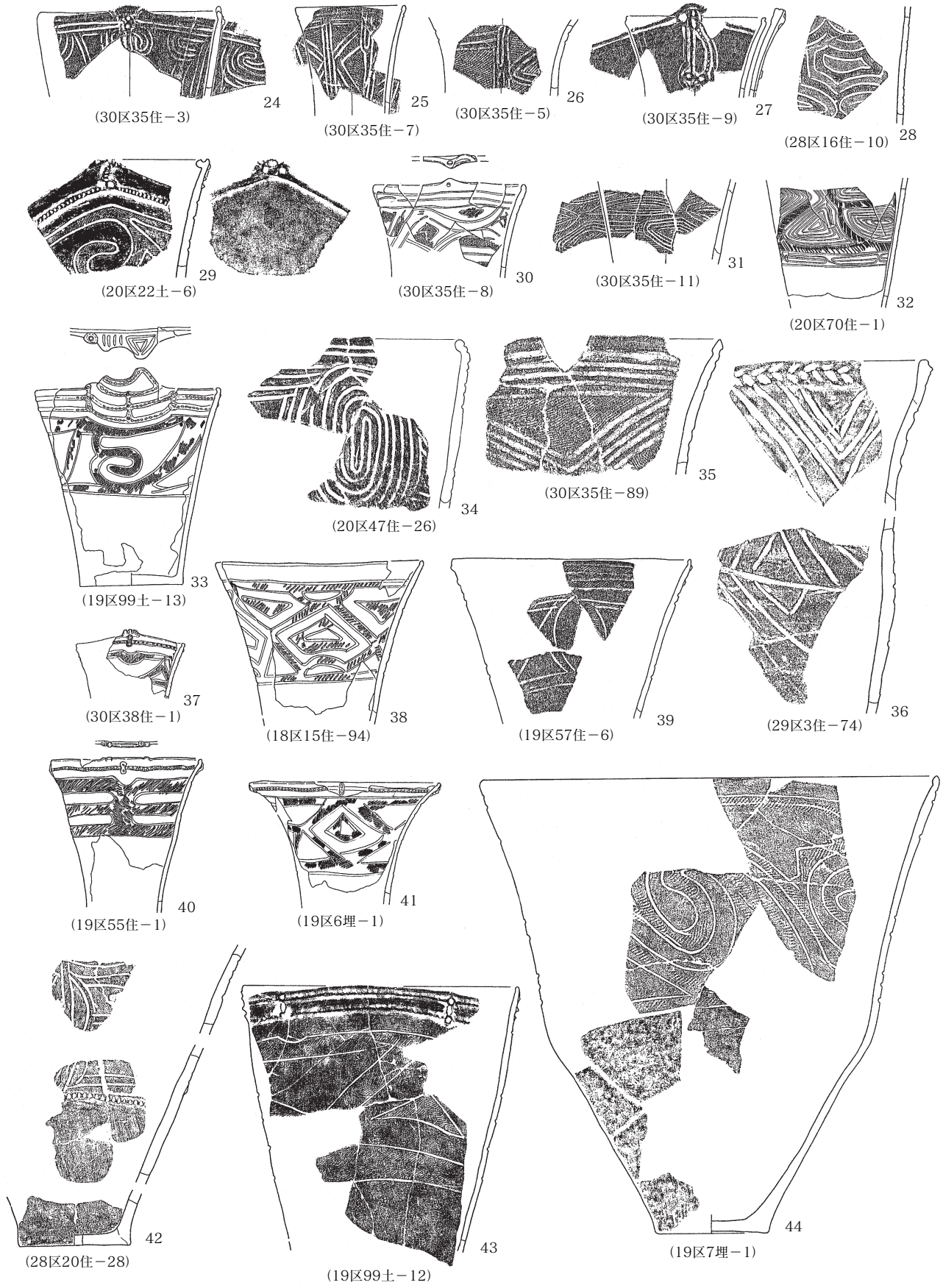


第9図 堀之内1式期(5)

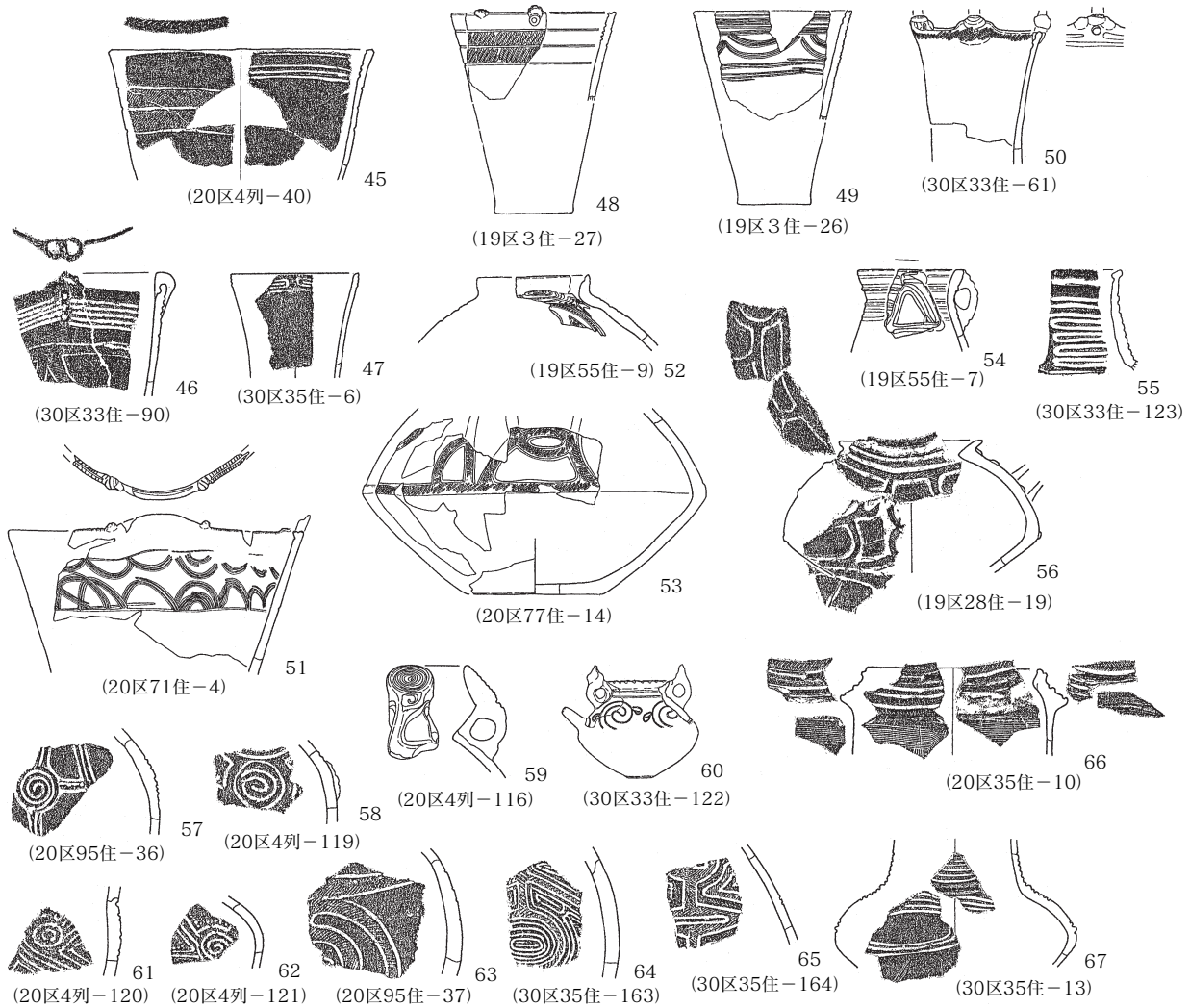


第10図 堀之内2式期(1)

第4章 調査の成果とまとめ



第11図 堀之内2式期(2)



第12図 堀之内2式期(3)

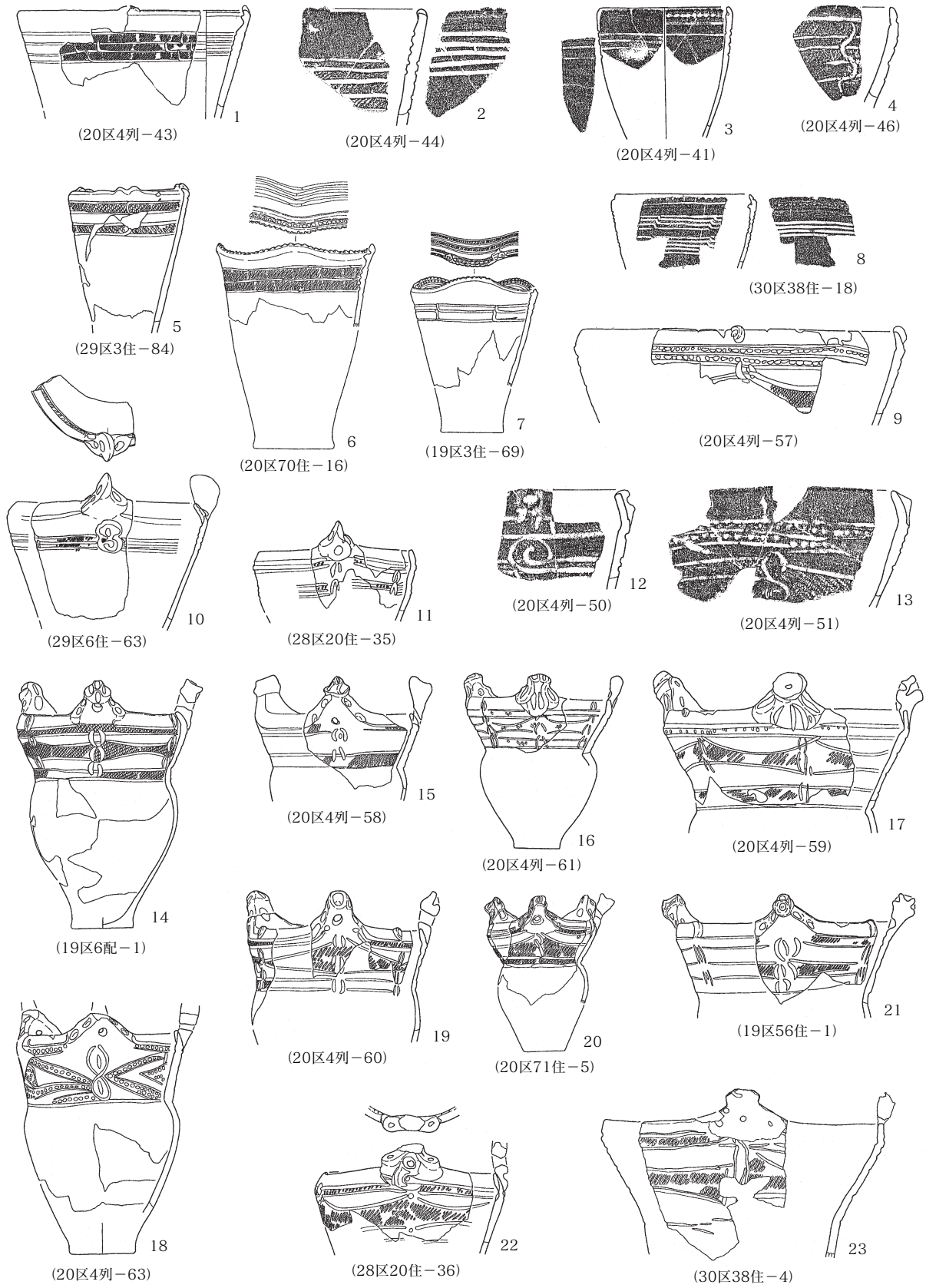
脱しており、交易品的性格の可能性を想定させる。
加曾利B2式期(図13~図15、1~65)
 この時期の住居としては19区56号住居、20区70号住居、30区38号住居等があるが、資料が最も充実しているのは4号列石とその付属施設である。4号列石は、堀之内式段階から続く大型住居の出入り口施設に伴うものだが、この段階の土器がよくまとまっている。この段階では、広範に分布する共通性の強い土器に集約されるようになると共に、精粗の使い分けが明瞭化する。出土土器は、加曾利B1式からB2式までの段階はよく揃っているが、B3式期の土器は少ない。器種は、精製の深鉢をはじめ、鉢、浅鉢、注口土器、そして粗製の大型深鉢などが認められる。

1~23は精製の深鉢で、加曾利B3式期のものは

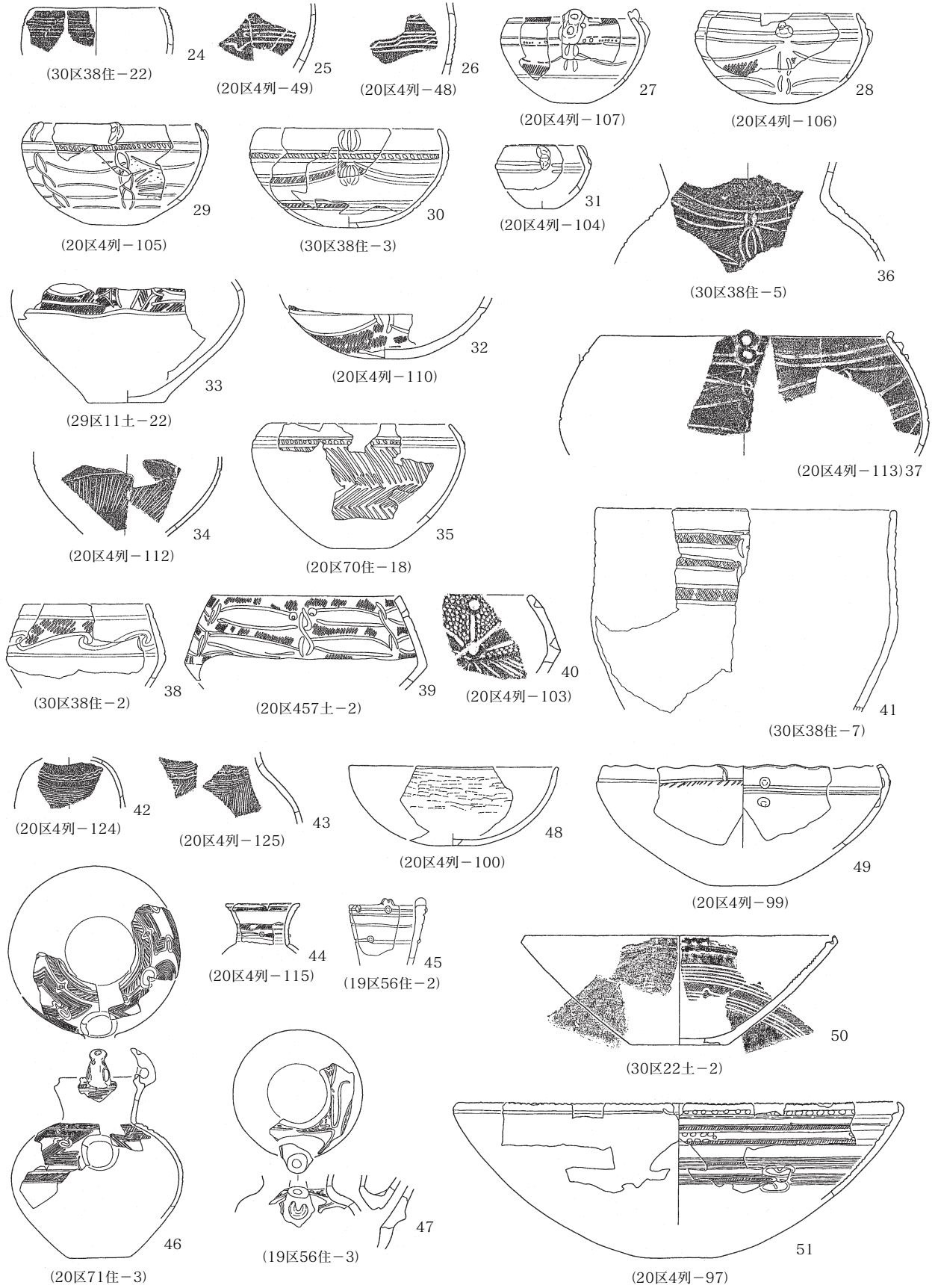
少ない。1~8は加曾利B1式土器で、平縁と波状口縁とがあり、平縁のものは口縁部に二山の突起が付くものが多い。9~23は加曾利B2式土器で、大半が平縁のタイプで、口縁部に把手を伴うものが多い。10~12は加曾利B1式から2式へ推移する段階の土器で、10・12では沈線帯に「の」の字文が施され、10・11では口縁部に耳状の把手が付く。9~23は加曾利B2式土器で、9・13は口縁部に小さな耳状の突起が付く、14~23では立体的な大型の把手が付く。体部文様は弧線文と対弧線で構成されるものが多い。18は沈線間に刺突を施すタイプである。

24~35・37~41は鉢形の土器で、数タイプに別けられる。24~35は体部が丸く、口縁部が内湾するタイプの一群である。24~26は加曾利B1式

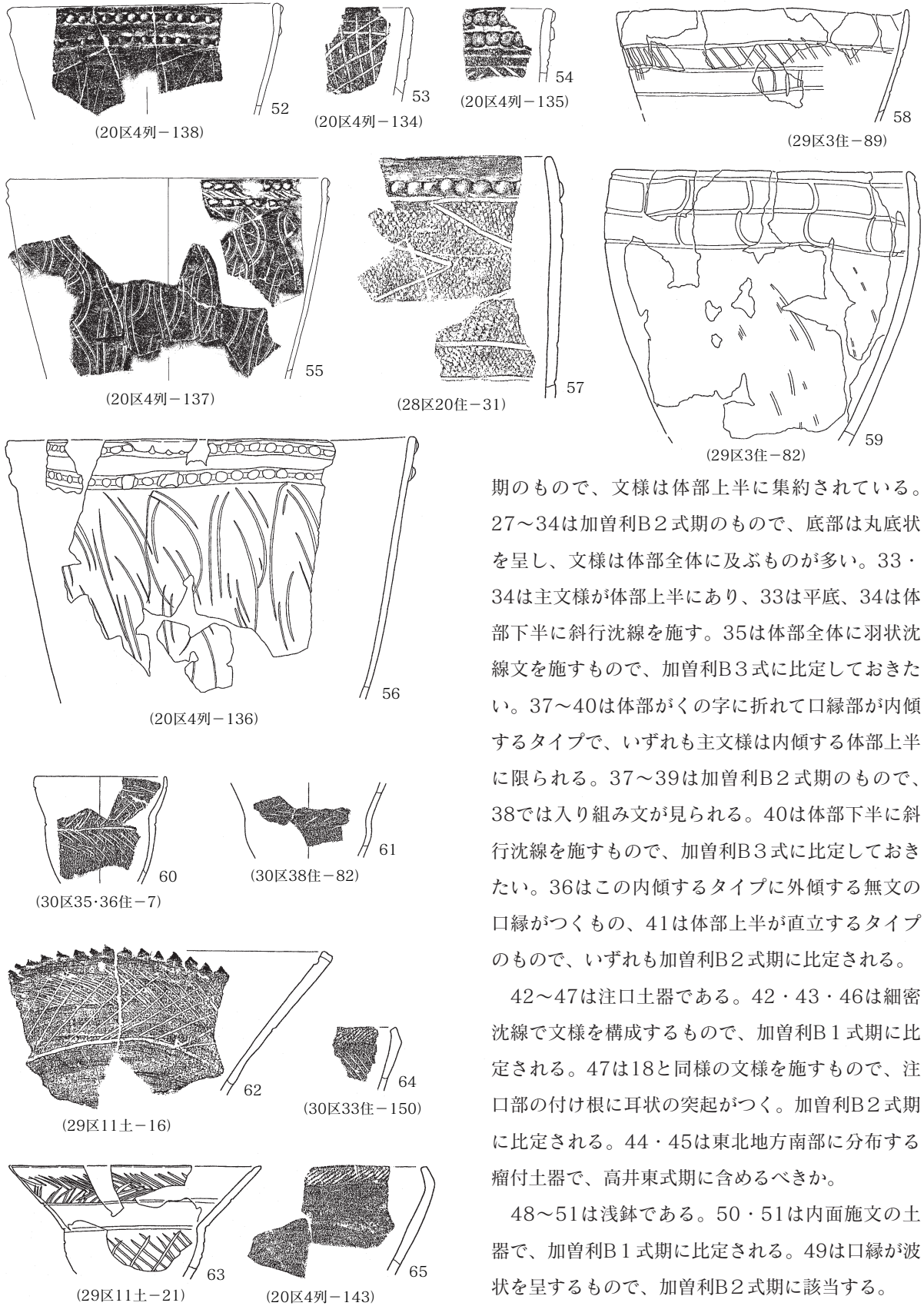
第4章 調査の成果とまとめ



第13図 加曾利B式期(1)



第14図 加曾利B式期(2)



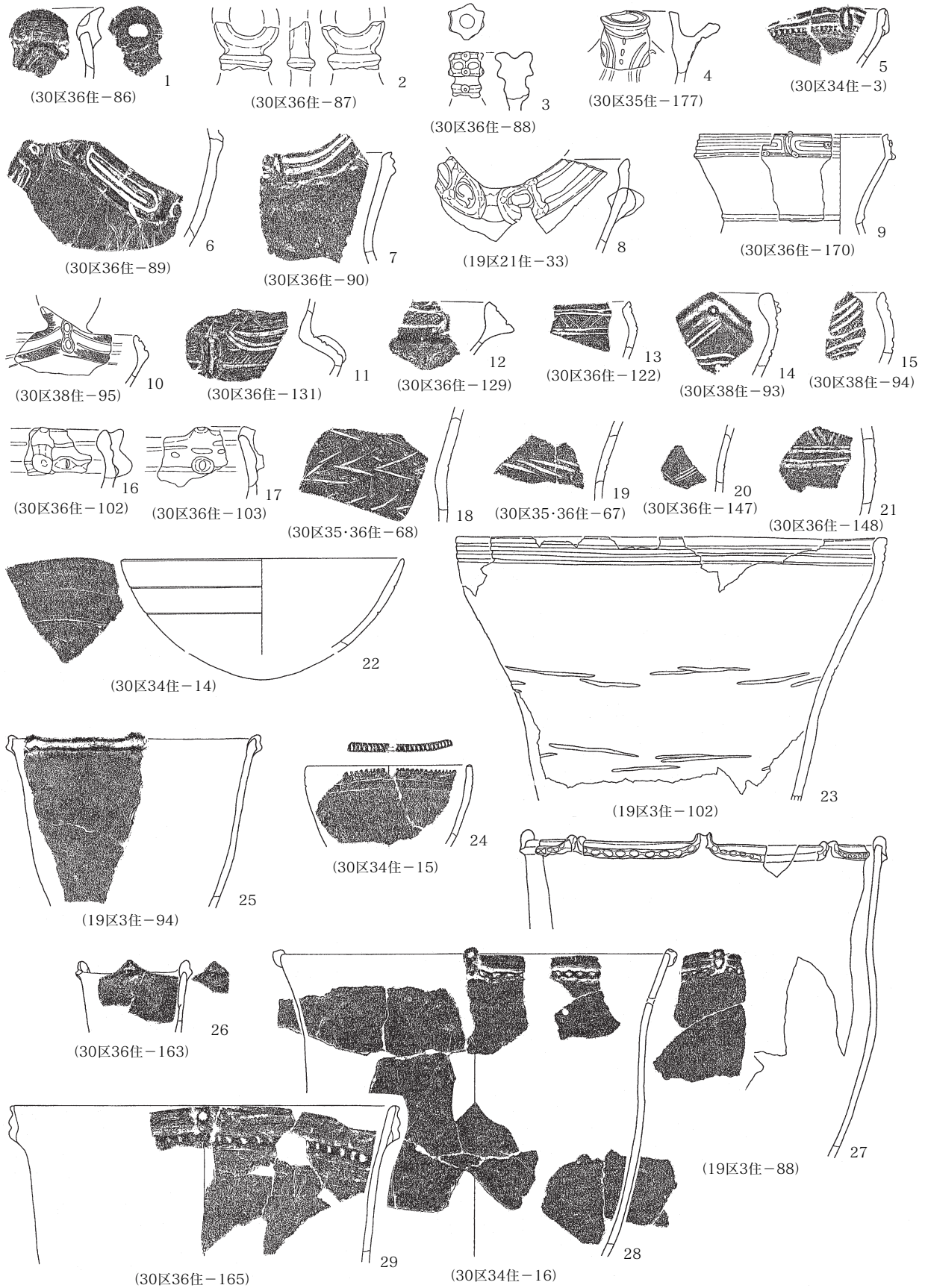
第15図 加曽利B2期 (3)

期のもので、文様は体部上半に集約されている。27～34は加曽利B2式期のもので、底部は丸底状を呈し、文様は体部全体に及ぶものが多い。33・34は主文様が体部上半にあり、33は平底、34は体部下半に斜行沈線を施す。35は体部全体に羽状沈線文を施すもので、加曽利B3式に比定しておきたい。37～40は体部がくの字に折れて口縁部が内傾するタイプで、いずれも主文様は内傾する体部上半に限られる。37～39は加曽利B2式期のもので、38では入り組み文が見られる。40は体部下半に斜行沈線を施すもので、加曽利B3式に比定しておきたい。36はこの内傾するタイプに外傾する無文の口縁がつくもの、41は体部上半が直立するタイプのもので、いずれも加曽利B2式期に比定される。

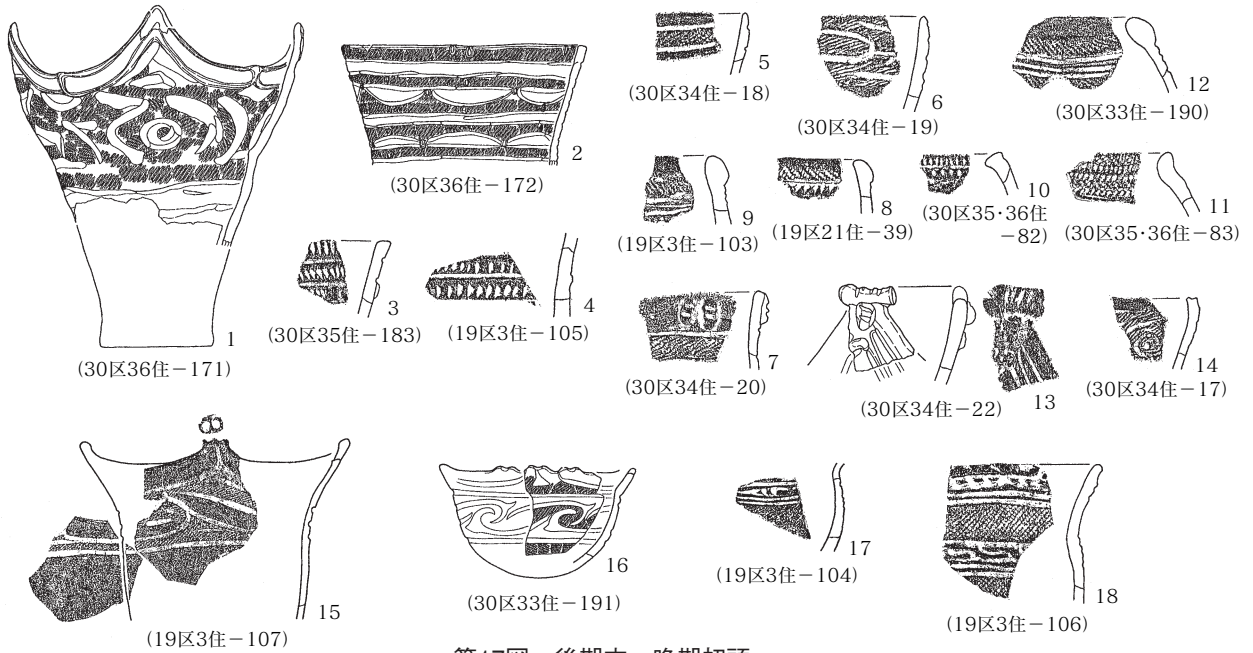
42～47は注口土器である。42・43・46は細密沈線で文様を構成するもので、加曽利B1式期に比定される。47は18と同様の文様を施すもので、注口部の付け根に耳状の突起がつく。加曽利B2式期に比定される。44・45は東北地方南部に分布する瘤付土器で、高井東式期に含めるべきか。

48～51は浅鉢である。50・51は内面施文の土器で、加曽利B1式期に比定される。49は口縁が波状を呈するもので、加曽利B2式期に該当する。

52～59はいわゆる粗製の深鉢で、大型の土器が多い。52・54～56は口縁部に押圧を伴う隆帯が2



第16図 高井東式期



第17図 後期末～晩期初頭

条めぐり、胴部に縦位の弧状沈線文が施される。53は体部に格子目状沈線が施される。57は地文に縄文を施すもので、口縁部をめぐる隆帯は1条のみである。58・59は口縁部に沈線で文様帯を構成するものである。以上の土器はいずれも加曾利B1式に比定されよう。

60～65は半粗製の一群である。60～63は羽状沈線文を施すもので、62・63では一部格子目状となる。加曾利B2式に比定されよう。64・65は内折する口縁部に縄文を施すもので、64は胴部に羽状沈線文が施される。加曾利B3式に比定されよう。
高井東式期 (図16、1～29)

この時期では30区34号住居、30区38号住居があるが、全容を伺える資料は少ない。また、29区西側には配石墓群があり、その周囲の住居上面からもこの時期の土器が出土している。

1～5は精製土器の様々な把手、6～8は大波状口縁の土器である。9は全面赤色塗彩の土器、22はこの時期の浅鉢であろう。大型品では、胴部に羽状沈線文を施すタイプ(23)や口縁部に隆帯を施すタイプ(27～29)が認められる。

後期終末～晩期初頭 (図17、1～18)

本遺跡では今のところ、この時期に該当する住居

は確認されていない。

1・2は30区36号住居の炉辺に埋設されていた土器で、安行1式期に比定されよう。1は器形や口縁部貼付文は高井東式に類似し、文様は瘤付土器に類似する。2は刻目がつく粒状の貼付文を多用しており、安行2式とすべきか。3・4は沈線間に刺突状の刻みが施され、粒状の貼付が伴う。瘤付土器の系統であろう。7～11は安行1式、12・13は安行2式に該当する。14～16は入組三叉文を施すもので、晩期安行3a式に比定されよう。17は玉抱き三叉文を施す大洞B1式に、18は羊歯状文を施す大洞BC式に該当する。

3、おわりに

本遺跡出土の後期土器は、群馬県平野部に分布する関東系の土器と信州系の土器とが相半ばしており、これに越後系の土器が少数加わる傾向が認められた。こうした傾向は早期や中期後半の土器にも認められる特徴で、本地域の独自性を示している。

今回は概要を一瞥したに過ぎないが、今後に予定されている遺構外出土遺物の整理作業を待つて、さらに詳細な検討を行いたいと思う。

横壁中村遺跡29区6号住居出土獣骨

榑崎修一郎

はじめに

横壁中村遺跡は、群馬県吾妻郡長野原町に所在する。本遺跡は、八ッ場ダム建設に伴う発掘調査で、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団により、平成8(1996)年～同16(2004)年まで実施された。本遺跡では、住居及び土坑から主に縄文時代の焼骨(獣骨)が多数出土しているが、今回は29区6号住居出土獣骨を報告する。今回報告する獣骨も、すべて焼骨である。

本住居は、柄鏡形敷石住居で方形石囲炉を伴い、称名寺2式縄文土器を伴出しており、時代は縄文時代後期に比定されている。報告書担当者の黒澤照弘氏によれば、同氏が担当して平成20(2008)年3月に刊行した『横壁中村遺跡(6)土坑編』で本報告者が出土獣骨を報告した29区3号土坑は、土坑ではなく本住居覆土の一部である可能性が高いという。

この、29区3号土坑からは、ニホンジカ(*Cervus nippon*)の右上腕骨遠位端片・右橈骨近位端片・右大腿骨遠位端片やニホンイノシシ(*Sus scrofa*)の左頭頂骨片が出土している(榑崎, 2008)。

また、今回の獣骨の同定でも、ニホンジカ及びニホンイノシシが同定されたので、以下にニホンジカとニホンイノシシに分けて報告する。これらの獣骨は、大きな傾向として、頭蓋骨片が少なく、四肢骨片が多いという点が共通して認められる。しかしながら、小片が多いため、同定可能で報告に耐える獣骨は少ない。なお、獣骨の計測方法は、フォン・デン・ドリッシュ[von den Driesch]の方法に従った(von den Driesch, 1976)。

1. ニホンジカ(*Cervus nippon*)

ニホンジカと同定された部位は、左踵骨である。白色を呈しており、約900℃以上で焼成されたと推定される。ほぼ完形で、最大長[GL]約90mm・最大幅[GB]約25mmである。カットマークは、認められなかった。シカでは、上腕骨・脛骨・橈

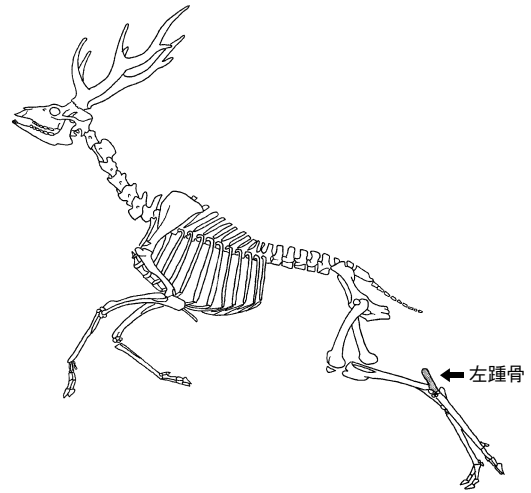


図1.横壁中村遺跡29区6号住居出土ニホンジカ出土部位図(八谷・大泰司, 1994を改変)



写真1.横壁中村遺跡29区6号住居出土ニホンジカ左踵骨内側面観



写真2.横壁中村遺跡29区6号住居出土ニホンジカ左踵骨上面観



写真3.横壁中村遺跡29区6号住居出土ニホンジカ左踵骨外側面観

第4章 調査の成果とまとめ

骨・下顎骨にカットマークが多いという（本郷、1991）。骨化は完了しており、成獣である。性別は、不明である。

2. ニホンイノシシ (*Sus scrofa*)

ニホンイノシシと同定された部位は、右尺骨滑車部・中手骨頭部・左踵骨である。どれも、白色を呈しており、約900℃以上で焼成されたと推定される。

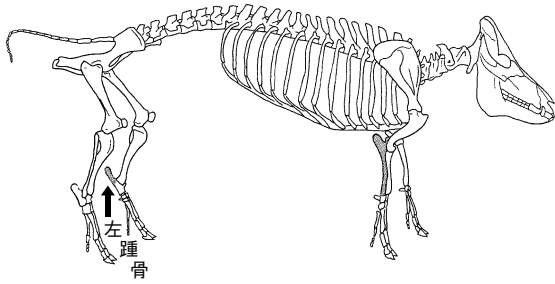


図2 横壁中村遺跡29区6号住居出土
ニホンイノシシ出土部位図

(1) 右尺骨滑車部

全長約35mmの右尺骨滑車部である。カットマークは、認められなかった。性別及び死亡年齢は、不明である。



写真4 横壁中村遺跡29区6号住居出土ニホンイノシシ左尺骨

(2) 中手骨頭部

幅約14mmの中手骨頭部である。骨化は、完了し

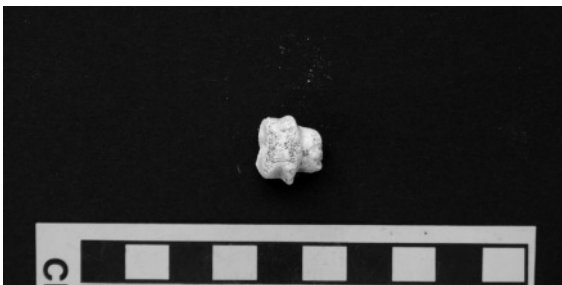


写真5 横壁中村遺跡29区6号住居出土ニホンイノシシ中手骨

ていない状態である。この骨化は、約3歳前後で完了すると言われているので、死亡年齢は、約3歳以下であると推定される。性別は、不明である。

(3) 左踵骨

一部、遠位端及び外側面が破損している。最大長[GL]は現状で約(62mm)・最大幅[GB]約18mmである。

わずかなカットマークが、外側面に認められた。イノシシでは、寛骨・距骨・踵骨・脛骨・上腕骨に



写真6 横壁中村遺跡29区6号住居出土
ニホンイノシシ左踵骨内側面観



写真7 横壁中村遺跡29区6号住居出土
ニホンイノシシ左踵骨上面観



写真8 横壁中村遺跡29区6号住居出土
ニホンイノシシ左踵骨外側面観

カットマークが多いという（本郷、1991）。骨化は完了しており、成獣である。性別は、不明である。
考察

横壁中村遺跡の29区6号住居より、縄文時代後期の獣骨が出土した。

東日本の縄文時代後晩期の遺跡からは、イノシシ及びシカを中心とした獣骨の焼骨が出土することが知られている。これら東日本の事例として、道平遺跡〔福島県〕（茂原他、1983）・乙女不動原北浦遺跡〔栃木県〕（茂原他、1982）・元屋敷遺跡〔新潟県〕（富岡・浅利、2002）・郷土遺跡〔長野県〕（金子、1990b）・円光房遺跡〔長野県〕（金子、1990a）・金生遺跡〔山梨県〕（金子、1989）・原ヶ谷戸遺跡〔埼玉県〕（宮崎、1993）・なすな原遺跡〔東京都〕（金子、1984）等がある。

群馬県においては、千網谷戸遺跡〔桐生市〕（宮崎、1978）・矢島遺跡〔明和町〕（宮崎、1991）・矢瀬遺跡〔みなかみ町〕（宮崎、2005）等の遺跡が知られている。また、まだ報告書が継続して刊行中であり全容は不明であるが、本横壁中村遺跡の20区382号土坑・29区33号土坑（榎崎、2008）、同20区95号住居・30区33号住居・30区36号住居（榎崎、2009b）において、ニホンジカやニホンイノシシが出土している。さらに、同遺跡においては初めて、30区33号住居から焼人骨が出土している（榎崎、2009a）。

これらの解釈として、再葬（阿部、2004）・火と浄め（金子、1984）・狩猟儀礼（新津、1985）・骨髄食と住居火災（宮崎、1980）等が考えられている。最近、この解釈に加えて、確実な死をとげて浄化されるまでの間に、人への災いを防ぐため獣骨を焼く儀礼が行われたという新解釈もなされている（設楽、2008）。

また、シカとイノシシを巡る動物観については、縄文時代の獣骨はシカが39.3%・イノシシが37.3%とほぼ同比率で出土するのに対し、動物形土製品ではイノシシ形土製品は100例以上認められるが、シカ形土製品はほとんど無く、弥生時代になると、

シカの線刻や像が急増する事実から、縄文中期後半から縄文人の動物観が変化した可能性が指摘されている（西本、2008）。

縄文時代後晩期は、気候変動に伴い、遺跡数及び人口の減少がもたらされた時代であると考えられている。獣骨に成獣が少なく、幼獣が多いことは、狩猟圧に伴い、幼獣まで狩猟しなければならなかったのか、あるいは、儀礼のために幼獣をわざわざ選択したのかのどちらかであると推定される。

まとめ

横壁中村遺跡の縄文時代後期に属する柄鏡形敷石住居である29区6号住居から、ニホンジカ及びニホンイノシシの焼骨が出土した。これらは、ニホンジカの左踵骨、ニホンイノシシの右尺骨・中手骨・左踵骨である。2008年にすでに報告済みの本遺跡29区3号土坑は、この29区6号住居と同じである可能性が高いため、以下に前回報告分と合わせてみる。

29区3号土坑からは、ニホンジカの右上腕骨遠位端・右橈骨近位端・右大腿骨遠位端及びニホンイノシシの左頭頂骨が出土している（榎崎、2008）。これに、今回報告の左踵骨が加わることになる。

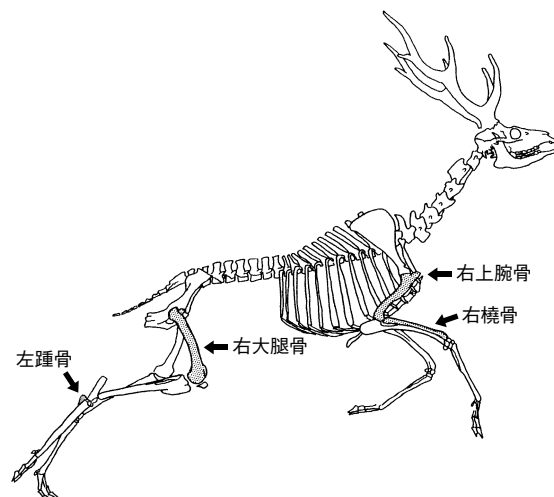


図3. 横壁中村遺跡29区6号住居及び29区3号土坑出土ニホンジカ出土部位図（八谷・大泰司、1994を改変）

貝塚出土のシカとイノシシの部位別出土率を研究した結果では、シカでは下顎骨・肩甲骨が多く、その他上腕骨遠位部・脛骨遠位部・踵骨・大腿骨近位

第4章 調査の成果とまとめ

部となり、イノシシでは下顎骨・上腕骨遠位部・脛骨遠位部・肩甲骨・踵骨となるという（西本, 1995）。また、他の研究では、シカでは肩甲骨・上腕骨遠位部・脛骨遠位部・踵骨・距骨・尺骨・寛骨が多く、イノシシでは肩甲骨・上腕骨遠位部・尺骨・踵骨・寛骨が多いという結果も報告されている（真貝, 1996）。さらに、鳥浜貝塚出土シカとイノシシの分析では、シカは集落本拠地であり、イノシシは狩猟キャンプであると推定され、シカの狩猟時期は夏～秋（8月～9月）にかけて捕獲し、イノシシの狩猟時期は1年を通じて捕獲したが、特に冬～春にかけて集中的に捕獲したと推定されている（内山, 2005・2007）。

横壁中村遺跡の場合、現時点では、シカが多くイノシシが少ない傾向があり、かつ頭蓋骨や下顎骨が少なく四肢骨が多い傾向にある。これは、何を意味するかは全貌を待たなければならないが、現代のハンターが行うような頭蓋骨を別の場所に捧げるというような行為もあったのかもしれない。

引用文献〔著者名のアルファベット順〕

- 阿部友寿 2004 遺構更新における骨類の出土例,『古代』, (116) : 19-42.
- 八谷 昇・大泰司紀之 1994 『骨格標本作成法』,北海道大学図書刊行会
- 本郷一美 1991 「哺乳類遺存体に残された解体痕の研究」,『国立歴史民俗博物館研究報告』,29 : 149-195.
- 金子浩昌 1984 「第4章. 動植物遺存体の分析・調査」,『なすな原遺跡』,なすな原遺跡調査会,p.580-605.
- 金子浩昌 1989 「第VI章. 金生遺跡出土の獣骨」,『金生遺跡II』,山梨県教育委員会,p.222-242.
- 金子浩昌 1990a 「長野県小諸市郷土遺跡出土の脊椎動物遺体」,『円光房遺跡』,徳倉町教育委員会, p.185-204.

- 榑崎修一郎 2008 「横壁中村遺跡土坑出土獣骨」,『横壁中村遺跡(6)土坑編』,(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団, p.293-296.
- 榑崎修一郎 2009a 「横壁中村遺跡(9)住居出土人骨」,『横壁中村遺跡(9)』,(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団,p.348
- 榑崎修一郎 2009b 「横壁中村遺跡(9)住居出土獣骨」,『横壁中村遺跡(9)』,(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団,p.349
- 西本豊弘 2002 「哺乳動物骨格図集(1)」,『動物考古学』,(19) : 93-119.
- 西本豊弘 2008 「動物骨格図集(6)」,『動物考古学』,(25) : 89-105.
- 松井 章 2008 『動物考古学』,京都大学学術出版会
- 宮崎重雄 1978 「V. 群馬県桐生市千網谷戸遺跡星野昭司宅内1号住居跡出土の獣骨類」,『千網谷戸遺跡発掘調査報告書』,千網谷戸遺跡発掘調査会,p.125-134.
- 宮崎重雄 1980 「千網谷戸遺跡出土の獣骨類について」,『桐生史苑』,p.27-36.
- 宮崎重雄 1991 「V. 矢島遺跡出土の焼獣骨類について」,『矢島遺跡発掘調査報告書』,明和村教育委員会,p.44-48.
- 宮崎重雄 1993 「2. 原ヶ谷戸遺跡出土の獣骨について」,『原ヶ谷戸・滝下』,(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団,p.351-359.
- 宮崎重雄 2005 「矢瀬遺跡出土の獣骨について」,『上組北部遺跡群II』,月夜野町教育委員会,p.265-268.
- 新津 健 1985 「縄文時代後晩期における焼けた獣骨について」,『日本史の黎明』,六興出版,p.125-153.
- 茂原信生・小野寺 覚・桜井秀雄 1982 「第10章. 乙女不動原北浦遺跡出土の哺乳動物遺体について」,『乙女不動原北浦遺跡』,小山市教育委員会,p.433-436.
- 茂原信生・馬場悠男・芹澤雅夫・小野寺 覚・江藤盛治 1983 「第4編. 道平遺跡出土の獣骨について」,『道平遺跡の研究』,福島県大熊町教育委員会,p.212-215.
- 真貝利香 1996 「縄文遺跡から出土したイノシシ・シカ遺体における四肢骨の出土比率について」,『民族考古』,(3) : 43-62.
- 設楽博己 2008 「1. 縄文人の動物観」,『人と動物の日本史1. 動物の考古学』,吉川弘文館, p.10-34.
- 富岡直人・浅利洋美 2002 「10. 元屋敷遺跡出土動物遺存体の分析」,『元屋敷遺跡II』,朝日村教育委員会,p.334-340.
- 内山純蔵 2005 「第3章. 縄文人の移動生活」,『日本の狩猟採集文化』[池谷和信編],世界思想社, p.45-97.
- 内山純蔵 2007 『縄文の動物考古学』,昭和堂
- von den Driesch, A. 1976 "A Guide to the Measurement of Animal Bones from Archaeological Sites", Peabody Museum, Harvard University

遺物観察表(土器)

18区11号住居 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
9図	18	11住 1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗褐色。	刺突文。胴部に突起を伴う。	三十福場
9図	18	11住 2	深鉢	口縁~胴部(20%)	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	波状口縁。波頂部に沈線と盲孔を伴う環状突起。突起から連続するJ字状貼付文。刺突を伴う隆帯。	称名寺1
9図	18	11住 3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	器面やや劣化。沈線による区画。単節L R縄文充填。外面無文部研磨。	称名寺1
9図	18	11住 4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁短く屈曲し肥厚。被熱か。	称名寺2
9図	18	11住 5	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁短く内湾し。肥厚。内面、外面無文部研磨。光沢。	称名寺2
9図	18	11住 6	深鉢	口縁~胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	口縁短く屈曲。内外面粗い研磨。	称名寺2
9図	18	11住 7	深鉢	把手片	細砂粒やや多。良。明褐色。	沈線を伴う把手。内外面粗い研磨。	称名寺2
9図	18	11住 8	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	2条を単位とする隆帯垂下。内外面ナデ。	称名寺2
9図	18	11住 9	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺2
9図	18	11住 10	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	縦位に沈線施文後、単節L R縄文。	称名寺2
9図	18	11住 11	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	単節L R縄文後、沈線文。内面、外面無文部研磨。	称名寺2
9図	18	11住 12	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	器面劣化。沈線による渦文。単節L R縄文?充填。	称名寺2
9図	18	11住 13	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯による施文か。単節L R縄文。白色粘土状のものが外面に付着。外面ナデ。	称名寺
9図	18	11住 14	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	隆帯による施文後、単節L R縄文。隆帯、一部剥落。内外面研磨。	称名寺
9図	18	11住 15	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明褐色。	口縁に横位隆帯1条。円形貼付文。内外面丁寧なナデ。	称名寺
9図	18	11住 16	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	器面やや劣化。口縁に横位隆帯1条。内外面ナデ。	称名寺
10図	18	11住 17	深鉢	口縁~胴部片	砂粒やや多。良。褐灰色。	口唇部わずかに肥厚。細かく刻みを伴う横位隆帯1条。内外面ナデ。	称名寺
10図	18	11住 18	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁やや内湾し肥厚。内外面ナデ。	称名寺
10図	18	11住 19	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	縦位隆帯。内外面ナデ。	称名寺
10図	18	11住 20	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	胴部に弧状隆帯。内外面粗い研磨。	称名寺
10図	18	11住 21	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐灰色。	隆帯。円形貼付文。内外面ナデ。	称名寺
10図	18	11住 22	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	刺突を伴う横位隆帯1条。内外面粗いナデ。	称名寺
10図	18	11住 23	深鉢	口縁~胴部(30%)	砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁に刻みを伴う横位隆帯1条。口径42.0。残存高30.5。	称名寺
10図	18	11住 24	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	内面中位に炭化物付着。内外面粗いナデ。	称名寺
10図	18	11住 25	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黄灰色。	沈線による渦文。単節L R縄文充填。外面無文部研磨。	堀之内1
10図	18	11住 26	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	底面網状痕を研磨か。外面研磨。底径8.0。	後期
11図	18	11住 27	深鉢	底部片	細砂粒やや多。良。灰褐色。	沈線文。単節L R縄文。被熱。底面ナデ。底径5.0。	後期
11図	18	11住 28	鉢	底部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	器面劣化。沈線文。底径3.9。	後期
11図	18	11住 29	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	刺突を伴う横位隆帯。内外面ナデ。	—
11図	18	11住 30	深鉢	胴部(20%)	砂粒多。良。赤褐色。	器面劣化。上半を中心に被熱痕跡顕著。単節L R縄文後、沈線による渦文。内外面研磨。	—

18区13号住居 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
15図	18	13住 1	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁わずかに内湾。無節L R縄文?。内外面丁寧なナデ。	加曾利E4
15図	18	13住 2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線による施文後、単節L R縄文充填。内面、外面無文部ナデ。	加曾利E4
15図	18	13住 3	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。黒褐色。	隆帯による施文。内外面研磨。光沢。	加曾利E4
15図	18	13住 4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	隆帯による渦文。無節L R縄文。内面、外面無文部ナデ。	加曾利E4
15図	18	13住 5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。無文部粗い研磨。	加曾利E4
15図	18	13住 6	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	口縁短く内湾。沈線による区画。単節L R縄文充填後、列点状刺突文。内面、外面無文部研磨。光沢。	称名寺1
15図	18	13住 7	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	沈線による渦文。無節L R縄文。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
15図	18	13住 8	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。無文部研磨。	称名寺1
15図	18	13住 9	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰黄色。	器面やや劣化。沈線文。単節L R縄文充填。断面の一部を研磨した痕跡あり。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
15図	18	13住 10	深鉢	把手片	細砂粒多。良。黄褐色。	内外面粗い研磨。	称名寺1
15図	18	13住 11	深鉢	口縁~胴部(30%)	砂粒少。良。にぶい褐色。	頸部に横位隆帯。胴部に弧状隆帯。交点に円形貼付文。単節L R縄文。内面、外面無文部研磨。茂沢類型。	称名寺1
15図	18	13住 12	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。刺突。内外面研磨。	称名寺2
15図	18	13住 13	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線による渦文か。刺突。内外面研磨。	称名寺2
15図	18	13住 14	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。内外面やや粗いナデ。	称名寺2
15図	18	13住 15	深鉢	口縁部片	細砂粒少。良。黄褐色。	口縁短く外反。刺突文。研磨。	称名寺
15図	18	13住 16	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	縦位隆帯垂下。単節L R縄文。内外面粗い研磨。	称名寺
16図	18	13住 17	注口	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	胴部に後を持つ。沈線による区画。単節L R縄文充填。外面丁寧な研磨。光沢。	堀之内2
16図	18	13住 18	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	内外面研磨。光沢。	後期
16図	18	13住 19	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	櫛歯状工具による施文。内外面研磨。	後期
16図	18	13住 20	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	櫛歯状工具による施文。内面ナデ。	後期
16図	18	13住 21	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	櫛歯状工具による施文。内外面ナデ。	後期
16図	18	13住 22	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	櫛歯状工具による波状文。内外面研磨。	後期
16図	18	13住 23	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	櫛歯状工具による施文。内外面粗い研磨。	—

18区14号住居 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
19図	18	14住 1	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	隆帯による渦文。単節L R縄文充填後、列点状刺突文。内面粗い研磨。外面無文部研磨。	称名寺1
19図	18	14住 2	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	隆帯による渦文。単節L R縄文充填後、列点状刺突文。内面粗い研磨。外面無文部研磨。	称名寺1
19図	18	14住 3	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。無節L R縄文充填。	称名寺2
19図	18	14住 4	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面粗い研磨。	称名寺2
19図	18	14住 5	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	器面やや劣化。沈線文。	称名寺2
19図	18	14住 6	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。外面ナデ。	称名寺2
19図	18	14住 7	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。赤褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	称名寺2
19図	18	14住 8	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。明褐色。	沈線文。単節L R縄文充填か。内外面ナデ。	称名寺2
19図	18	14住 9	深鉢	頸部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	沈線文。内外面研磨。光沢。	称名寺2
19図	18	14住 10	深鉢	頸部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。内外面研磨。	称名寺2
19図	18	14住 11	深鉢	頸~胴部片	細砂粒多。良。灰黄褐色。	器面やや劣化。沈線文。単節L R縄文充填。	称名寺2
19図	18	14住 12	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。列点状刺突文。内外面丁寧なナデ。	称名寺2
19図	18	14住 13	深鉢	口縁~胴部(40%)	細砂粒多。雲母含む。良。灰褐色。	非対称形の突起4単位。突起より盲孔を伴う隆帯。口縁屈曲。研磨。茂沢類型。口径22.3。残存高11.4。	称名寺2
19図	18	14住 14	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。内外面研磨。	称名寺2
19図	18	14住 15	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	隆帯による区画か。異なる太さの条を用いた単節L R縄文充填。内面粗い研磨。	称名寺
19図	18	14住 16	深鉢	口縁~頸部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	頸部に橋状把手。隆帯による施文。茂沢類型。	称名寺
19図	18	14住 17	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	内外面ナデ。	称名寺
19図	18	14住 18	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	隆帯による施文。単節L R縄文?後、刺突。内面粗い研磨。外面無文部研磨。	称名寺
19図	18	14住 19	鉢	胴部片	砂粒多。良。暗褐色。	隆帯による施文。円形貼付文。内外面ナデ。	称名寺
20図	18	14住 20	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯による施文。円形貼付文。内外面ナデ。	称名寺
20図	18	14住 21	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗褐色。	隆帯による施文。円形貼付文。	称名寺
20図	18	14住 22	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	刺突を伴う横位隆帯1条。内外面粗いナデ。	称名寺
20図	18	14住 23	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明黄褐色。	刺突を伴う横位隆帯1条。内外面ナデ。	称名寺

遺物観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
20回	18	14住 24	深鉢	口縁部(10%)	砂粒多。良。褐色。	刺突を伴う横位隆帯1条、口径(38.0)。残存高10.5。	称名寺
20回	18	14住 25	深鉢	口縁～胴部(50%)	細砂粒やや多。良。黄褐色。	口縁やや内湾。6～7条単位の櫛歯状工具による斜位交差懸垂文。内外面ナデ。口径(36.0)。残存高29.4。	称名寺
20回	18	14住 26	深鉢	頸部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	沈線文。単節LR縄文?充填。内面、外面無文部ナデ。	堀之内1
20回	18	14住 27	深鉢	頸部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	内面研磨。外面粗いナデ。	堀之内1
20回	18	14住 28	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線による渦文。単節LR縄文充填。	堀之内1
20回	18	14住 29	深鉢	頸～胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線、隆帯による渦文。単節LR縄文充填。内面、外面無文部研磨。	堀之内1
20回	18	14住 30	深鉢	口縁～胴部(30%)	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	口縁短く屈曲。盲孔を伴う突起。沈線文。単節LR縄文充填。内面、外面無文部研磨。口径(16.6)。残存高11.8。18股1点と同一個体。	堀之内1
21回	18	14住 31	深鉢	口縁～頸部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	非対称形の突起。隆帯と半截竹管による平行沈線。単節LR縄文充填。口縁屈曲。茂沢類型。口径(20.8)。残存高12.5。	堀之内1
21回	18	14住 32	深鉢	底部片	細砂粒やや多。良。明褐色。	底面ナデ。底径10.0。	後期

18区15号住居 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
32回	18	15住 1	鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。褐灰色。	刺突文。	三十桶場
32回	18	15住 2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐灰色。	刻みを伴う横位隆帯。刺突文。内外面研磨。	三十桶場
32回	18	15住 3	鉢	胴部片	砂粒やや多。良。灰褐色。	刺突文。	三十桶場
32回	18	15住 4	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	横位、縦位隆帯。単節LR縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
32回	18	15住 5	深鉢	口縁部片	細砂粒少。良。黒褐色。	単節LR縄文。内面、外面無文部研磨。光沢。No6と同一個体。	称名寺1
32回	18	15住 6	鉢	底部片	細砂粒少。良。にぶい赤褐色。	単節LR縄文。内外面研磨。光沢。底径(4.0)。No5と同一個体。	称名寺1
32回	18	15住 7	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。列点状刺突。	称名寺1
32回	18	15住 8	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
32回	18	15住 9	深鉢	頸～胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
32回	18	15住 10	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口縁内湾。器面劣化。沈線文。No11と同一個体。	称名寺2
32回	18	15住 11	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口縁内湾。器面劣化。沈線文。No10と同一個体。	称名寺2
32回	18	15住 12	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。灰黄色。	口縁内湾。器面劣化。	称名寺2
32回	18	15住 13	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁内湾。沈線文。内外面研磨。	称名寺2
32回	18	15住 14	深鉢	口縁部片	砂粒少。良。黄褐色。	口縁内湾。器面劣化。	称名寺2
32回	18	15住 15	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。灰黄褐色。	列点状刺突文。内外面研磨。	称名寺2
32回	18	15住 16	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。灰褐色。	沈線文。	称名寺2
32回	18	15住 17	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	口唇部肥厚。内外面粗い研磨。	称名寺2
32回	18	15住 18	深鉢	口縁部把手片(突起)	砂粒少。良。にぶい黄褐色。	把手内面に列点状刺突を伴うC字状文。口縁部の列点状刺突を伴う区画文に単節LR縄文充填。内外面研磨。光沢。No19と同一個体。	称名寺2
32回	18	15住 19	浅鉢	口縁部把手片(突起)	砂粒少。良。にぶい黄褐色。	把手内面に列点状刺突を伴うC字状文。口縁部の列点状刺突を伴う区画文に単節LR縄文充填。内外面研磨。光沢。No18と同一個体。	称名寺2
32回	18	15住 20	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。灰黄褐色。	沈線による区画。単節LR縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺2
32回	18	15住 21	深鉢	口縁部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	口縁内湾。沈線による渦文。内外面研磨。	称名寺2
32回	18	15住 22	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口唇部肥厚。器面やや劣化。	称名寺2
32回	18	15住 23	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	器面劣化。沈線文。No24と同一個体。	称名寺2
32回	18	15住 24	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。被熱。内外面ナデ。No23と同一個体。	称名寺2
33回	18	15住 25	浅鉢	口縁部把手片	砂粒少。良。にぶい黄褐色。	器面やや劣化。把手内面に列点状刺突を伴うC字状文。内外面研磨。	称名寺2
33回	18	15住 26	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線と刺突による施文。内外面研磨。No27と同一個体。	称名寺2
33回	18	15住 27	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線と刺突による施文。内外面研磨。No26と同一個体。	称名寺2
33回	18	15住 28	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。内外面粗い研磨。	称名寺2
33回	18	15住 29	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	器面劣化。沈線文。外面粗い研磨。	称名寺2
33回	18	15住 30	深鉢	ほぼ完形	砂粒多。並。黄褐色。	口縁に横位隆帯1条。底面網代痕。内外面粗い研磨。口径42.2。高さ44.4。底径10.8。	称名寺2
34回	18	15住 31	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐灰色。	沈線文。刺突。	称名寺2
34回	18	15住 32	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	沈線文。外面研磨。	称名寺2
34回	18	15住 33	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。No34と同一個体。	称名寺2
34回	18	15住 34	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。No33と同一個体。	称名寺2
34回	18	15住 35	浅鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	単節LR縄文。内面粗い研磨。	称名寺2
34回	18	15住 36	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	器面劣化。沈線文。	称名寺2
34回	18	15住 37	深鉢	頸～胴部片	細砂粒少。良。褐灰色。	沈線文。内外面丁寧なナデ。	称名寺2
34回	18	15住 38	深鉢	頸～胴部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	器面劣化。沈線文。単節LR縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺2
34回	18	15住 39	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。内面粗い研磨。	称名寺2
34回	18	15住 40	深鉢	胴部片	砂粒少。良。にぶい黄褐色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。	称名寺2
34回	18	15住 41	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。内面研磨。光沢。	称名寺2
34回	18	15住 42	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰黄褐色。	器面劣化。沈線文。	称名寺2
34回	18	15住 43	壺(注口付?)	頸～胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	胴部文様に横位の橋状突起が伴う。単節LR縄文。内面研磨。光沢。	称名寺2
34回	18	15住 44	壺	口縁～底部(60%)	砂粒少。良。にぶい褐色。	隆帯に円形の列点状刺突を加える。胴上半は対向する4単位、下半はJ字文5単位。体部には赤色塗彩が残る。底部は網代痕を研磨で消す。単節LR縄文充填。内面胴下半と口縁部に研磨。光沢。頸部欠損部を研磨で調整。外面無文部研磨。口径(5.8)。残存高7.6。底径4.6。	称名寺2
34回	18	15住 45	深鉢	口縁～胴部(70%)	砂粒多。良。明黄褐色。	器面やや劣化。沈線によるR字状の施文6単位。口径38.0。残存高42.0。	称名寺2
35回	18	15住 46	深鉢	口縁～底部(70%)	砂粒多。良。にぶい褐色。	横位隆帯1条。胴部隆帯6条(5条残存)。交点に円形貼付文。内外面全面研磨。外面光沢。口径37.4。高さ59.8。底径9.0。	称名寺2
35回	18	15住 47	深鉢	口縁～胴部(40%)	砂粒多。良。暗赤褐色。	口縁部短く屈曲。口縁部、列点状刺突文。胴部に沈線文、列点状刺突文。口径(25.0)。残存高26.8。底径(5.6)。	称名寺2
36回	18	15住 48	深鉢	口縁～底部(50%)	砂粒多。良。明黄褐色。	横位隆帯1条。底面網代痕。内外面粗い研磨。口径40.0。残存高(59.8)。底径9.2。	称名寺2
36回	18	15住 49	深鉢	口縁～胴部(20%)	砂粒多。良。にぶい褐色。	横位隆帯1条。胴部に弧状隆帯。交点に円形貼付文。櫛歯状工具による充填。内外面研磨。	称名寺
36回	18	15住 50	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	刻みを伴う横位隆帯1条。円形貼付文より縦位隆帯。単節LR縄文充填。内面、外面無文部やや粗い研磨。	称名寺
36回	18	15住 51	深鉢	頸部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	刻みを伴う横位隆帯。外面研磨。	称名寺
36回	18	15住 52	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺
36回	18	15住 53	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺
36回	18	15住 54	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。櫛歯状工具による充填。内外面研磨。	称名寺
36回	18	15住 55	深鉢	胴部(25%)	砂粒多。良。明褐色。	外面粗い研磨。	称名寺
37回	18	15住 56	深鉢	口縁～胴部(25%)	砂粒多。良。灰黄褐色。	断面三角形の隆帯で8字状文を構成。外面粗い研磨。口径(37.3)。残存高26.3。	称名寺
37回	18	15住 57	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。褐色。	器面劣化。沈線文。単節LR縄文充填。	称名寺
37回	18	15住 58	深鉢	頸部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	器面劣化。沈線文。	称名寺
37回	18	15住 59	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	器面劣化。沈線文。単節LR縄文。	称名寺
37回	18	15住 60	深鉢	口縁～胴部片	砂粒多。良。褐色。	器面劣化。口縁に刺突を伴う横位隆帯1条。口径(25.6)。残存高17.7。	称名寺
37回	18	15住 61	深鉢	口縁～胴部(20%)	砂粒やや多。良。明黄褐色。	器面劣化。刺突を伴う横位隆帯1条。内外面粗い研磨。口径(22.2)。	称名寺
37回	18	15住 62	深鉢	口縁～胴部(60%)	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	口縁に1個または1対の山形小突起がつく。口縁に横位隆帯1条。口径(39.4)。残存高27.5。	称名寺
37回	18	15住 63	鉢	底部～底部(20%)	砂粒少。良。にぶい赤褐色。	単節LR縄文充填。底部使用により摩耗。無文部と内面研磨。光沢。残存高5.2。底径4.3。	称名寺
38回	18	15住 64	浅鉢	胴部(40%)	砂粒少。良。明黄褐色。	隆帯で十腕内系の文様を構成。外面に黒漆様の黒色被膜と赤色塗彩が残る。内外面研磨。光沢。残存高16.0。	称名寺2

遺物観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
38	18	15住 65	深鉢	口縁~胴部(10%)	砂粒多。良。にぶい褐色。	横位隆帯1条。円形貼付文より縦位隆帯。内外面粗い研磨。口径(33.0)。	称名寺
38	18	15住 66	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	口縁内湾。内外面やや粗い研磨。No67と同一個体。	堀之内1
38	18	15住 67	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	口縁内湾。内外面やや粗い研磨。No66と同一個体。	堀之内1
38	18	15住 68	鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。黒色。	隆帯による施文。口縁内面に盲孔。内外面研磨。	堀之内1
38	18	15住 69	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	列点状刺突文。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
38	18	15住 70	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	器面劣化。列点状刺突文。内外面研磨。	堀之内1
38	18	15住 71	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	単節L R縄文充填。内面軽い研磨。	堀之内1
38	18	15住 72	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	堀之内1
38	18	15住 73	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	単節L R縄文充填。内面ナデ。	堀之内1
38	18	15住 74	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。単節L R縄文。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
38	18	15住 75	鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部やや粗い研磨。	堀之内1
38	18	15住 76	深鉢	口縁部(20%)	砂粒やや多。良。褐灰色。	刻みを伴う横位。縦位隆帯。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
39	18	15住 77	深鉢	頸~胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。土製凹盤か。	堀之内1
39	18	15住 78	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	器面劣化。沈線と隆帯による施文。単節L R縄文充填。	堀之内1
39	18	15住 79	鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線と隆帯による施文。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
39	18	15住 80	深鉢	頸~胴部片	細砂粒多。良。赤褐色。	器面劣化。沈線文。内外面研磨。	堀之内1
39	18	15住 81	深鉢	頸~胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	刺突。沈線による施文。内外面研磨。	堀之内1
39	18	15住 82	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。内外面研磨。	堀之内1
39	18	15住 83	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	刺突を伴う隆帯。内外面研磨。	堀之内1
39	18	15住 84	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	単節L R縄文充填。内面研磨。光沢。	堀之内1
39	18	15住 85	深鉢 (ひさこ形)	胴部片	砂粒多。良。褐色。	外面縦位の条線。内面軽い研磨。	堀之内1
39	18	15住 86	壺	胴部~底部(50%)	砂粒少。良。褐色。	上方に調整粘土が残る。単節L R縄文充填。内面ナデ。外面無文部研磨。残存高4.2。底径5.4。	堀之内1
39	18	15住 87	壺	口縁~胴部(30%)	細砂粒多。良。黒褐色。	単節L R縄文。外面無文部から口縁内外面研磨。光沢。口径(10.5)。残存高7.5。	堀之内1
39	18	15住 88	壺(注口付?)	頸~胴部(10%)	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	頸部に刺突を伴う横位隆帯。沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	堀之内1
39	18	15住 89	鉢	胴部片	細砂粒少。良。褐灰色。	大柄渦文。単節L R縄文充填。内面ナデ。	堀之内1
39	18	15住 90	深鉢	口縁~胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	隆帯による施文。内外面やや粗い研磨。口径(16.8)。	堀之内1
39	18	15住 91	深鉢	胴部(20%)	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	大柄の渦巻文と区画文。3本沈線。単節L R縄文充填。	堀之内1
40	18	15住 92	深鉢	口縁~胴部(70%)	砂粒少。良。にぶい黄褐色。	異種対向4単位。一部に光沢をとどめる。内外面研磨。茂沢類型。口径38.0。残存高40.6。	称名寺2~堀之内1
41	18	15住 93	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。雲母含む。良。褐灰色。	口縁内湾。横位隆帯。縦位隆帯による施文。外面研磨。	堀之内1
41	18	15住 94	朝顔形深鉢	口縁~胴部(50%)	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	三角重畳文。単節L R縄文充填。無文部と内面研磨。光沢。口径22.0。残存高(16.5)。	堀之内2
41	18	15住 95	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	内外面やや粗い研磨。	後期
41	18	15住 96	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	内外面やや粗い研磨。	後期
41	18	15住 97	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	内外面やや粗い研磨。	後期
41	18	15住 98	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	L R縄文もどり。内面やや粗い研磨。	後期
41	18	15住 99	深鉢	胴部片	砂粒少。良。にぶい褐色。	櫛歯状工具による施文。内外面やや粗い研磨。	後期
41	18	15住 100	深鉢	胴部片	砂粒少。良。灰褐色。	櫛歯状工具による施文。土製凹盤か。	後期
41	18	15住 101	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	櫛歯状工具による施文。内外面粗い研磨。	後期
41	18	15住 102	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	櫛歯状工具による施文。内外面粗い研磨。	後期
41	18	15住 103	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	櫛歯状工具による施文。内外面粗い研磨。	後期
41	18	15住 104	壺	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	外面と口縁内面研磨。口径(6.9)。	後期
41	18	15住 105	ミニチュア	底部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	赤色塗彩。内外面研磨。底面研磨。残存高2.0。底径3.6。	後期
41	18	15住 106	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。褐色。	器面劣化。刺突文。底面研磨。底径(7.0)。	後期
41	18	15住 107	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。暗赤褐色。	器面劣化。上げ底状。外面研磨。底径6.8。	後期
41	18	15住 108	深鉢	底部(70%)	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	内面ナデ。外面軽い研磨。底径8.6。	後期
41	18	15住 109	深鉢	底部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	内面ナデ。外面軽い研磨。底径(8.0)。	後期
41	18	15住 110	土製凹盤	完形	砂粒少。良。浅黄褐色。	無文。外縁研磨。内外面研磨。直径4.0。厚さ1.3。	後期
41	18	15住 111	土製凹盤	完形	砂粒やや多。良。黒褐色。	隆帯。外縁研磨。内外面研磨。直径5.2。厚さ1.2。	後期

18区19号住居、5・6号別居、31号配石 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
56	18	19住 1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。縄文部に蛇行沈線。	加曾利E3
56	18	19住 2	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐灰色。	口縁短く屈曲。内外面粗い研磨。	堀之内1
56	18	19住 3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部ナデ。	堀之内1
56	18	19住 4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文?。外面やや粗い研磨。	堀之内1
56	18	19住 5	深鉢	胴部~底部(40%)	砂粒多。良。明赤褐色。	沈線文。単節L R縄文。底面網状痕。炉に使用。被熱痕跡が顕著。内外面研磨。残存高9.0。底径7.0。	堀之内1
56	18	19住 6	深鉢	口縁~底部(70%)	砂粒多。良。赤褐色。	小波状口縁。把手・文様は一対4単位構成。底部不明瞭。単節L R縄文。炉に使用。被熱痕跡が顕著。内外面研磨。光沢。口径(23.4)。高さ23.4。底径7.0。	堀之内1
56	18	19住 7	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	口縁短く屈曲。沈線文。内外面研磨。光沢。	堀之内2
56	18	19住 8	深鉢	口縁~胴部(20%)	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口縁短く屈曲。8字?貼付文。沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。5・6列1点接合。	堀之内2
56	18	19住 9	注口付	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線による区画。斜位沈線を羽状に充填。丁寧なナデ。	堀之内2
56	18	19住 10	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	口縁肥厚。列状刺突。内外面粗い研磨。	後期
58	18	5列 1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。赤褐色。	横位隆帯による区画。縦位隆帯垂下。	加曾利E4
58	18	5列 2	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。	加曾利E4
58	18	5列 3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	加曾利E4
58	18	5列 4	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。暗褐色。	口縁短く屈曲。口唇部横位沈線1条。刻み列。内外面研磨。	堀之内1
58	18	5列 5	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明赤褐色。	口縁屈曲。内外面研磨か。	堀之内1
58	18	5列 6	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	口縁短く屈曲。沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。	堀之内1
58	18	5列 7	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	内面。隆帯による渦文を伴う突起。内外面研磨。4列1点と同一個体。	堀之内1
58	18	5列 8	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	無文。内外面研磨。	堀之内1
58	18	5列 9	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	貫通孔を伴う突起。内外面研磨。	堀之内1
58	18	5列 10	深鉢	口縁部(20%)	砂粒少。良。灰黄褐色。	小波状口縁。単位不明。口唇部沈線文。頸部横位沈線。内外面研磨。口径(30.8)。残存高10.2。	堀之内1
58	18	5列 11	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	8字貼付文。沈線による渦文。内外面研磨。	堀之内1
59	18	5列 12	深鉢	口縁~胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	口唇部肥厚。内外面研磨。口径(45.4)。	堀之内1
59	18	5列 13	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	沈線による渦文。	堀之内1
59	18	5列 14	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	沈線による渦文。	堀之内1
59	18	5列 15	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部粗い研磨。	堀之内2
59	18	5列 16	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明黄褐色。	器面劣化。横位沈線。単節L R縄文?。内面、外面無文部粗い研磨か。	堀之内2
59	18	5列 17	深鉢	胴部(20%)	砂粒多。良。暗褐色。	沈線による三角形文。単節L R縄文充填。	堀之内2
59	18	5列 18	深鉢	底部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	底面木炭痕。底径(11.0)。	後期
59	18	6列 1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	口縁短く屈曲。内外面粗い研磨。	堀之内1
59	18	6列 2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	口縁短く屈曲。内外面ナデ。	堀之内1
60	18	6列 3	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	口縁短く屈曲し肥厚。内外面に沈線を伴う突起。内外面粗い研磨。	堀之内1
60	18	6列 4	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	口縁屈曲。貫通孔を伴う突起。内外面研磨。光沢。	堀之内1
60	18	6列 5	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	横位沈線1条。内外面研磨。	堀之内1
60	18	6列 6	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	口縁短く屈曲し肥厚。沈線を伴う突起。	堀之内1
60	18	6列 7	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。暗褐色。	沈線文。単節L R縄文。内外面研磨。	堀之内1
60	18	6列 8	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線による渦文。単節L R縄文。内面、外面無文部粗い研磨。	堀之内1

遺物観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
60図	18	6列 9	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線による渦文。単節L R縄文充填。内面研磨。	堀之内1
60図	18	6列 10	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。外面粗い研磨。	堀之内1
60図	18	6列 11	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文。	堀之内1
60図	18	6列 12	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗褐色。	縦位隆帯。内外面丁寧な研磨。	堀之内1
60図	18	6列 13	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面ナデ。	堀之内1
60図	18	6列 14	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。赤褐色。	沈線文。単節L R縄文、斜位沈線を充填。内面、外面無文部丁寧なナデ。	堀之内2
60図	18	6列 15	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。	堀之内2
60図	18	6列 16	深鉢	頸~胴部(30%)	砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。頸部に橋状把手が付く。内外面軽い研磨。	堀之内1
61図	18	6列 17	深鉢	口縁~胴部(40%)	砂粒非常多。良。暗赤褐色。	横位沈線3条。単節L R縄文を地文とし4又は5単位の沈線文。内外面研磨。口径(40.0)。残存高43.5。4列1点接合。4列1点、27配1点と同一個体。	堀之内1
61図	18	6列 18	深鉢	口縁~頸部(20%)	砂粒多。良。にふい黄褐色。	小波状口縁。頸部に橋状把手。単節L R縄文。内外面軽い研磨。口径(42.0)。残存高19.4。4列4点接合。	堀之内1
62図	18	6列 19	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	燃系R?施文。口唇部外側に折り返す。内面ナデ。	後期
62図	18	6列 20	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	燃系R?施文。内面ナデ。	後期
62図	18	6列 21	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	燃系R?施文。内面ナデ。	後期
64図	18	5-6列 1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にふい褐色。	口縁屈曲。口唇部横位沈線1条。刻み列。内外面研磨。	堀之内1
64図	18	5-6列 2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部ナデ。	堀之内1
66図	18	31配 1	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。赤褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部ナデ。	加曾利E 4

19区27号住居、18区23号配石 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
72図	19	27住 1	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	横位結束羽状縄文。波状隆帯貼付。	大木6
72図	19	27住 2	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい褐色。	単節L R縄文を地文とし、層消縄文。	加曾利E 3
72図	19	27住 3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。	称名寺2
72図	19	27住 4	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	横位沈線。列点状刺突文。内外面粗い研磨。	称名寺2
72図	19	27住 5	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	横位隆帯1条。	称名寺
72図	19	27住 6	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	口縁短く屈曲。刺突を伴う横位隆帯。沈線文。	堀之内1
72図	19	27住 7	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	口縁短く屈曲し外反。内外面研磨。	堀之内1
72図	19	27住 8	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。灰黄褐色。	口縁短くわずかに屈曲。刻みを伴う横位隆帯。沈線文。内外面研磨。	堀之内1
72図	19	27住 9	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	口縁短くわずかに屈曲。横位沈線1条。沈線文。	堀之内1
72図	19	27住 10	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	口縁短く屈曲。横位沈線1条。首孔。内外面研磨。光沢。	堀之内1
72図	19	27住 11	深鉢	口縁部片	砂粒少。良。にふい褐色。	小突起を伴う。内外面ナデ。	堀之内1
72図	19	27住 12	深鉢	口縁~胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	口縁短く屈曲。横位沈線1条。刻み列。首孔。内外面研磨。	堀之内1
72図	19	27住 13	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	口縁短く屈曲。横位沈線1条。内外面研磨。	堀之内1
72図	19	27住 14	深鉢	口縁~胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	横位沈線1条。首孔。胴部沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。光沢。	堀之内1
72図	19	27住 15	深鉢	口縁~胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	口唇部に横位沈線1条。胴部沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。	堀之内1
72図	19	27住 16	浅鉢	口縁~胴部片	砂粒多。良。赤色。	口縁内湾。端部肥厚。外面口縁部、隆帯による文様。赤色塗彩(内面は、文様の可能性あり)。内外面丁寧な研磨。光沢。	堀之内1
72図	19	27住 17	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線文。	堀之内1
72図	19	27住 18	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	縦位羽状沈線。内外面研磨。	堀之内1
72図	19	27住 19	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線文。	堀之内1
72図	19	27住 20	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	縦位羽状沈線。内外面研磨。	堀之内1
72図	19	27住 21	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線文。	堀之内1
72図	19	27住 22	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	縦位羽状沈線。	堀之内1
72図	19	27住 23	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	沈線文。内外面研磨。	堀之内1
73図	19	27住 24	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	器面劣化。沈線文。	堀之内1
73図	19	27住 25	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。	堀之内1
73図	19	27住 26	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。	堀之内1
73図	19	27住 27	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	沈線文。無節L R縄文充填。内外面研磨。	堀之内1
73図	19	27住 28	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。列点状刺突文。単節L R縄文。	堀之内1
73図	19	27住 29	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文。	堀之内1
73図	19	27住 30	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	横位。斜位隆帯。内外面研磨。	堀之内1
73図	19	27住 31	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黄褐色。	沈線文。内外面研磨。	堀之内1
73図	19	27住 32	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黄褐色。	8字貼付文。沈線文。内外面研磨。	堀之内1
73図	19	27住 33	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐灰色。	8字貼付文。頸部横位沈線。刺突。胴部沈線文。外面粗い研磨。No35・37と同一個体。	堀之内1
73図	19	27住 34	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	器面やや劣化。横位沈線。首孔。胴部単節L R縄文。外面粗い研磨。	堀之内1
73図	19	27住 35	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	胴部沈線文。単節L R縄文充填。内外面粗い研磨。No33・37と同一個体。	堀之内1
73図	19	27住 36	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	沈線による渦文。単節L R縄文充填。No38と同一個体。	堀之内1
73図	19	27住 37	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐灰色。	沈線と刺突による施文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部やや粗い研磨。No33・35と同一個体。4列2点接合。	堀之内1
73図	19	27住 38	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	沈線文。単節L R縄文。No36と同一個体。4列3点と同一個体。25配1点、26配2点、27配1点接合。	堀之内1
73図	19	27住 39	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文。外面粗い研磨。	堀之内1
74図	19	27住 40	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。	堀之内1
74図	19	27住 41	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	刻みを伴う縦位隆帯垂下。沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。No43・67と同一個体。27配1点接合。	堀之内1
74図	19	27住 42	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。	堀之内1
74図	19	27住 43	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。No41・67と同一個体。	堀之内1
74図	19	27住 44	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	胴部沈線文。単節L R縄文。	堀之内1
74図	19	27住 45	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。光沢。	堀之内1
74図	19	27住 46	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	内面に炭化物付着。刻みを伴う縦位隆帯垂下。沈線文。単節L R縄文充填。	堀之内1
74図	19	27住 47	深鉢	口縁~頸部(30%)	細砂粒少。良。褐色。	突起3単位。突起から刻みを伴う縦位隆帯垂下。8字貼付文。単節L R縄文?。口縁部。内外面研磨。口径15.9。残存高8.5。4列2点接合。	堀之内1
74図	19	27住 48	鉢	頸~胴部(40%)	砂粒少。良。褐灰色。	沈線文。単節L R縄文充填。文様4単位構成。内外面研磨。胴上半ほぼ全周。	堀之内1
74図	19	27住 49	深鉢	胴~底部(40%)	砂粒多。良。にふい褐色。	沈線による渦文。単節L R縄文。内外面研磨。	堀之内1
74図	19	27住 50	深鉢	胴部(20%)	砂粒多。良。にふい褐色。	沈線による渦文。単節L R縄文。内外面粗い研磨。	堀之内1
74図	19	27住 51	注口	注口部片	細砂粒少。良。褐色。	注口上に首孔を持つ橋状把手?を伴う。	堀之内1
75図	19	27住 52	深鉢	口縁部片	砂粒少。良。明褐色。	突起を伴う。無文。内外面粗い研磨。口径(33.2)。	堀之内1
75図	19	27住 53	深鉢	口縁~胴部(30%)	細砂粒やや多。良。褐色。	口縁内面。横位沈線1条。胴部沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。口径(30.0)。残存高21.3。	堀之内1
75図	19	27住 54	深鉢	口縁~胴部(30%)	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	口縁より縦位隆帯。8字貼付文。沈線文。内外面研磨。口径(32.0)。残存高24.9。	堀之内1
75図	19	27住 55	深鉢	頸~胴部片	砂粒多。良。にふい赤褐色。	頸部横位沈線。首孔。内外面研磨。	堀之内1
75図	19	27住 56	深鉢	胴部(20%)	砂粒やや多。良。褐色。	胴部沈線文。内外面研磨。	堀之内1
76図	19	27住 57	深鉢	口縁~胴部(40%)	砂粒多。良。褐色。	口縁から刻みを伴う縦位隆帯。円形貼付文を中心に沈線文。単位不明。単節L R縄文充填。無文部。内面研磨。	堀之内1
76図	19	27住 58	深鉢	口縁~底部(90%)	細砂粒多。良。褐色。	口縁。首孔を伴う小突起。頸部。横位沈線2条。4単位沈線文。単節L R縄文充填。底面網代痕。口径18.7。高さ21.3。底径7.4。	堀之内1
76図	19	27住 59	深鉢	口縁~胴部(30%)	細砂粒やや多。良。にふい褐色。	口縁短く屈曲。口縁。横位沈線1条。列状刺突。沈線による区画。横位沈線。縦位羽状沈線を充填。口径(10.5)。残存高9.2。	堀之内1
76図	19	27住 60	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。刺突文。	堀之内2
76図	19	27住 61	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	無文。内面研磨。外面粗い研磨。	後期
76図	19	27住 62	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	無文。内面研磨。外面粗い研磨。	後期

遺物観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
76図	19	27住 63	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	無文。内面研磨。外面粗い研磨。	後期
76図	19	27住 64	深鉢	底部片	細砂粒多。良。黄褐色。	底径(7.0)。	後期
76図	19	27住 65	深鉢	底部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	底面網状痕。底径(6.6)。	後期
76図	19	27住 66	深鉢	底部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	器面やや劣化。底径(7.0)。	後期
76図	19	27住 67	深鉢	底部片	細砂粒多。良。褐色。	底面網状痕。底径(10.0)。No41・43と同一個体。	堀之内1
77図	18	23配 1	注口付浅鉢	口縁~胴部(70%)	砂粒多。良。黒褐色。	器面劣化。口縁、沈線による区画。単節L R縄文充填。橋状把手を伴う注口部。突起3。内外面研磨。口径32.5。残存高17.1。4列15点、26配2点、29配4点接合。4列13点、26配1点、29配1点と同一個体。	称名寺1
78図	18	23配 2	深鉢	頸~胴部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	縦位羽状沈線。内外面粗い研磨。	堀之内1
78図	18	23配 3	深鉢	口縁~胴部(20%)	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	口縁短く屈曲し、肥厚。無文。内外面研磨。	堀之内1
78図	18	23配 4	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にふい褐色。	口縁短く屈曲し、肥厚。	堀之内1
78図	18	23配 5	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にふい褐色。	口縁短く屈曲。貫通孔を伴う突起。横位沈線1条。	堀之内1
78図	18	23配 6	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	口縁短く屈曲。沈線を伴う突起。	堀之内1
78図	18	23配 7	深鉢	口縁~胴部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	口縁横位沈線1条。胴部沈線文。単節L R縄文充填。内面研磨。	堀之内1
78図	18	23配 8	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にふい赤褐色。	異段の縄文。貫通孔を持つ突起。口縁短く屈曲し肥厚。口径(40.0)。4列3点接合。	堀之内1
79図	18	23配 9	深鉢	口縁~頸部(10%)	砂粒多。良。褐色。	口縁短く屈曲。頸部、横位沈線。口径(36.0)。	堀之内1
79図	18	23配 10	深鉢	口縁~胴部(30%)	砂粒少。良。にふい黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。胴部8字貼付文下の垂線は、文様割付の目印か?。内外面研磨。光沢。口径(39.0)。残存高29.3。29配9点接合。	堀之内1 新
79図	18	23配 11	深鉢	口縁~頸部(20%)	砂粒やや多。良。灰黄褐色。	口縁突起を伴う。頸部、横位沈線2条。沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。口径(41.0)。残存高16.2。4列6点、25配3点接合。	堀之内1
79図	18	23配 12	深鉢	胴部(20%)	砂粒多。良。にふい黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。	堀之内1
79図	18	23配 13	深鉢	口縁~胴部(40%)	砂粒多。良。暗赤褐色。	突起より刻みを伴う隆帯。8字貼付文。横位沈線3条。沈線文。単節L R縄文充填。無文。内面丁寧な研磨。口径(34.0)。残存高23.3。4列7点接合。4列1点と同一個体。	堀之内1
80図	18	23配 14	深鉢	口縁~胴部(60%)	砂粒多。良。黒褐色。	無文。口径44.0。残存高28.8。4列8点、28配2点、29配8点接合。4列13点、29配17点と同一個体。	後期
80図	18	23配 15	深鉢	頸~胴部(20%)	砂粒やや多。良。にふい褐色。	無文。	後期

19区40号住居 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
85図	19	40住 1	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。内外面研磨。	称名寺2
85図	19	40住 2	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	沈線による渦文。内外面研磨。	堀之内1
85図	19	40住 3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒色。	口縁短く屈曲し、端部肥厚。内外面研磨。	堀之内1
85図	19	40住 4	深鉢	口縁~頸部片	細砂粒多。良。灰褐色。	口縁短く屈曲し肥厚。沈線、盲孔を伴う。内外面研磨。光沢。	堀之内1
85図	19	40住 5	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。灰黄褐色。	沈線を伴う縦位隆帯。内面盲孔。内外面研磨。	堀之内1
85図	19	40住 6	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	波状口縁。波頂部に盲孔を伴う。環状突起。内外面研磨。光沢。	堀之内1
85図	19	40住 7	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	口縁屈曲し端部外反。刺突を伴う隆帯。沈線文。内外面研磨。光沢。	堀之内1
85図	19	40住 8	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	沈線文。8字貼付文。内外面研磨。	堀之内1
85図	19	40住 9	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	8字貼付文。沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。	堀之内1
85図	19	40住 10	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。赤褐色。	横位沈線2条。盲孔。内外面研磨。光沢。	堀之内1
85図	19	40住 11	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。単節L R縄文。内外面研磨。	堀之内1
85図	19	40住 12	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。	堀之内1
85図	19	40住 13	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。単節L R縄文。	堀之内1
85図	19	40住 14	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にふい赤褐色。	沈線文。単節L R縄文。	堀之内1
85図	19	40住 15	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	横位沈線3条。	堀之内1
85図	19	40住 16	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	器面劣化。沈線文。被熱か?。	堀之内1
85図	19	40住 17	深鉢	胴部(30%)	砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。炬に使用。被熱痕跡が顕著。内外面研磨。	堀之内1
85図	19	40住 18	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。盲孔。	堀之内2
85図	19	40住 19	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	異なる太さの糸を用いた単節L R縄文。	後期
85図	19	40住 20	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	無節L縄文。	後期
85図	19	40住 21	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にふい褐色。	無節L縄文。	後期
85図	19	40住 22	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	櫛歯状工具による施文。	後期
86図	19	40住 23	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗赤灰色。	櫛歯状工具による波状文。	後期
86図	19	40住 24	深鉢	胴部(30%)	砂粒多。良。褐色。	櫛歯状工具による糸線文。炬に使用。上半部を中心に被熱痕跡が顕著。	後期
86図	19	40住 25	深鉢	底部片	砂粒多。良。明褐色。	器面劣化。底面網状痕。底径(7.0)。	後期
86図	19	40住 26	土製円盤	完形	砂粒多。良。にふい黄褐色。	単節L R縄文。一部研磨成形。直径5.4。厚さ1.0。	堀之内1
86図	19	40住 27	土製円盤	完形	砂粒多。良。にふい褐色。	沈線文。単節L R縄文。一部研磨成形。直径6.0。厚さ1.3。	堀之内1
86図	19	40住 28	土製円盤	完形	砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。全周打ち欠き成形。直径5.1。厚さ1.1。	堀之内1
86図	19	40住 29	土製円盤	完形	細砂粒やや多。良。にふい赤褐色。	単節L R縄文。一部研磨成形。直径2.6。厚さ0.8。	後期
86図	19	40住 30	土製円盤	完形	砂粒多。良。にふい赤褐色。	無文。一部研磨成形。直径3.5。厚さ1.0。	後期
86図	19	40住 31	土製円盤	完形	砂粒多。良。にふい赤褐色。	無文。全周打ち欠き成形。直径4.6。厚さ1.1。	後期

28区16号住居 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
90図	28	16住 1	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にふい赤褐色。	沈線による区画。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
90図	28	16住 2	深鉢	把手片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	内外面粗い研磨。	称名寺2
90図	28	16住 3	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	横位隆帯1条。内外面やや粗い研磨。	称名寺
90図	28	16住 4	深鉢	口縁~胴部(20%)	細砂粒多。良。黒褐色。	刺突を伴う横位隆帯。口径(26.0)。残存高11.0。No11と同一個体。	称名寺
90図	28	16住 5	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。灰黄褐色。	口縁わずかに屈曲。列点状刺突文。沈線文。内外面ナデ。	堀之内1
90図	28	16住 6	深鉢	口縁部片	細砂粒少。良。褐灰色。	横位沈線1条。刻みを伴う縦位隆帯。内外面研磨。光沢。	堀之内1
90図	28	16住 7	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	口縁短く屈曲。貫通孔を伴う突起。沈線文。	堀之内1
90図	28	16住 8	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	縦位隆帯垂下。沈線文。内面粗い研磨。外面研磨。	堀之内1
90図	28	16住 9	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰黄褐色。	沈線による区画。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	堀之内2
90図	28	16住 10	深鉢	胴部(20%)	細砂粒少。良。褐灰色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。光沢。	堀之内2
90図	28	16住 11	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。灰黄褐色。	無文。No4と同一個体。	称名寺

28区17号住居 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
92図	28	17住 1	浅鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。灰黄褐色。	把手内側に沈線。内外面粗い研磨。	称名寺
92図	28	17住 2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	隆帯。沈線による施文。内面粗い研磨。外面ナデ。	堀之内1
92図	28	17住 3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
92図	28	17住 4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	盲孔。沈線文。単節L R縄文充填。無文部研磨。	堀之内1
92図	28	17住 5	深鉢	口縁~胴部(40%)	砂粒少。良。黒褐色。	内外面研磨。光沢。茂沢類型。口径(16.4)。残存高10.8。	堀之内1
92図	28	17住 6	深鉢	底部(10%)	砂粒やや多。良。にふい褐色。	器面劣化。内面炭化物付着。底面研磨。底径(12.0)。	後期

28区18号住居、10・11号列石、16号配石 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
97図	28	18住 1	耳飾り	50%	砂粒少。良。にふい褐色。	無文。丁寧なナデ。径2.2。高さ1.7。	後期
97図	28	18住 2	注口付浅鉢	注口部片	砂粒少。並。褐色。	列点状刺突文。単節L R縄文充填。外面粗い研磨。10列1点接合。	称名寺1
97図	28	18住 3	深鉢	胴部片?	細砂粒多。良。褐色。	刺突を伴う縦位隆帯垂下。単節L R縄文。	称名寺1

遺物観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
97図	28	18住 4	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	口唇部肥厚。沈線文。内外面研磨。	称名寺2
97図	28	18住 5	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。黄褐色。	器面劣化。刺突を伴う横位隆帯1条。内外面ナデ。	称名寺
97図	28	18住 6	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	櫛歯状工具による施文。内外面粗い研磨。	称名寺
97図	28	18住 7	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁短く屈曲。刻み列。沈線文。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
97図	28	18住 8	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	口縁短く屈曲。刻み列。沈線文。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
97図	28	18住 9	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。内外面研磨。光沢。	堀之内1
97図	28	18住 10	深鉢	頸部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線による区画後、単節L R 縄文充填。内面、外面無文部研磨。10列1点接合。	堀之内1
97図	28	18住 11	壺	口縁~胴部片	砂粒少。良。褐灰色。	沈線文。単節L R 縄文充填。内外面研磨。光沢。口径(12.0)。残存高7.4。	堀之内1
97図	28	18住 12	土製円盤	完形	細砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。全面研磨成形。直径6.0。厚さ1.2。	堀之内1
98図	28	10列 1	注口付浅鉢	注口部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。単節L R 縄文充填。	称名寺1
98図	28	10列 2	深鉢	把手片?	細砂粒多。良。暗褐色。	沈線文。内外面に盲孔。	称名寺2
98図	28	10列 3	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。灰黄褐色。	口縁短く屈曲。横位沈線による区画。単節L R 縄文充填。内外面研磨。No6と同一個体。	称名寺2
98図	28	10列 4	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線文。刺突。内外面ナデ。	称名寺2
98図	28	10列 5	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。刺突。外面研磨。	称名寺2
98図	28	10列 6	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰黄褐色。	沈線による渦文。単節L R 縄文充填。内面、外面無文部研磨。No3と同一個体。	称名寺2
98図	28	10列 7	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	横位沈線。内外面ナデ。	称名寺
98図	28	10列 8	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	刺突を伴う横位隆帯1条。内外面粗い研磨。	称名寺
98図	28	10列 9	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	口唇部わずかに肥厚。刺突を伴う横位隆帯1条。内外面ナデ。	称名寺
98図	28	10列 10	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	刻みを伴う縦位隆帯垂下。内外面研磨。	堀之内1
98図	28	10列 11	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。単節L R 縄文。内面、外面無文部やや粗い研磨。	堀之内1
98図	28	11列 1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	刺突を伴う隆帯。単節L R 縄文。内面、外面無文部やや粗い研磨。	堀之内1
98図	28	11列 2	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線による区画。単節L R 縄文充填。内面、外面無文部やや粗い研磨。	堀之内1
99図	28	16配 1	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節L R 縄文充填。内面、無文部研磨。	称名寺1
99図	28	16配 2	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	横位隆帯1条。内外面やや粗い研磨。	称名寺
99図	28	16配 3	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	口縁端部より橋状把手。内外面研磨。	堀之内1
99図	28	16配 4	深鉢	胴部片	砂粒多。雲母含む。良。黒褐色。	沈線による渦文。内面粗い研磨。	堀之内1
99図	28	16配 5	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線による渦文。内外面粗い研磨。	堀之内1
99図	28	16配 6	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黄褐色。	単節L R 縄文を地文とし、沈線による渦文。内面研磨。外面粗い研磨。No7と同一個体か。	堀之内1
99図	28	16配 7	深鉢	頸~胴部(20%)	砂粒やや多。良。黒褐色。	単節L R 縄文を地文とし、沈線による渦文。内面研磨。外面粗い研磨。No6と同一個体か。	堀之内1

28区20号住居 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
103図	28	20住 1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐灰色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。	称名寺2
103図	28	20住 2	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R 縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺2
103図	28	20住 3	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。外面やや粗い研磨。	称名寺2
103図	28	20住 4	深鉢	口縁部片	砂粒少。良。明黄褐色。	器面劣化。刺突を伴う横位隆帯。内外面ナデ。	称名寺
103図	28	20住 5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐灰色。	隆帯の交点に円形貼付文。内外面粗い研磨。	称名寺
103図	28	20住 6	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	口縁短く屈曲。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
103図	28	20住 7	深鉢	口縁部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	口縁短く屈曲。内外面研磨。	堀之内1
103図	28	20住 8	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	口縁短く屈曲。盲孔。沈線文。口唇部丁寧な研磨。	堀之内1
103図	28	20住 9	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	口縁短く屈曲。口唇部横位沈線1条。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
103図	28	20住 10	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。明黄褐色。	内外面やや粗いナデ。	堀之内1
103図	28	20住 11	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	口唇部横位沈線1条。内外面ナデ。	堀之内1
103図	28	20住 12	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	口縁短く屈曲。沈線による渦文を伴う突起。研磨。	堀之内1
103図	28	20住 13	深鉢	頸~胴部片	砂粒少。良。浅黄褐色。	盲孔。沈線と隆帯による施文。単節L R 縄文。内面、外面無文部やや粗い研磨。	堀之内1
103図	28	20住 14	深鉢	頸~胴部片	細砂粒やや多。良。灰褐色。	円形貼付文を中心に沈線文。内外面研磨。	堀之内1
103図	28	20住 15	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	横位隆帯。沈線文。単節L R 縄文。	堀之内1
103図	28	20住 16	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	横位隆帯2条。沈線文。単節L R 縄文。	堀之内1
103図	28	20住 17	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節L R 縄文?。内面ナデ。	堀之内1
103図	28	20住 18	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。単節L R 縄文充填。内面、外面無文部研磨。光沢。	堀之内1
103図	28	20住 19	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線による渦文。単節L R 縄文充填。無文部研磨。	堀之内1
103図	28	20住 20	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	列点状刺突文。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
103図	28	20住 21	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明褐色。	沈線文。研磨。	堀之内1
103図	28	20住 22	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい褐色。	沈線文。内面炭化物付着。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
103図	28	20住 23	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R 縄文。外面やや粗い研磨。	堀之内1
103図	28	20住 24	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。刺突。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
104図	28	20住 25	深鉢	胴部(20%)	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	器面やや劣化。沈線文。単節L R 縄文。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
104図	28	20住 26	深鉢	口縁~胴部(30%)	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	横位沈線2条。8字貼付文。胴部沈線文。単節L R 縄文。内外面研磨。	堀之内1
104図	28	20住 27	深鉢	口縁~底部(75%)	細砂粒多。良。にぶい褐色。	貫通孔を伴う突起4単位。突起より刻みを伴う縦位隆帯。8字貼付文。隆帯による施文5単位。内外面研磨。口径(29.2)。高さ34.6。底径8.2。	堀之内1
104図	28	20住 28	深鉢	胴~底部(30%)	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	胴下半。刻みを伴う横位隆帯による区画。沈線文。単節L R 縄文充填。内外面研磨。光沢。	堀之内2
104図	28	20住 29	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。灰褐色。	沈線文。単節L R 縄文充填。内面、外面無文部研磨。	堀之内2
104図	28	20住 30	深鉢	胴部(20%)	細砂粒やや多。良。黒褐色。	器面やや劣化。沈線による三角形文。単節L R 縄文充填。無文部研磨。	堀之内2
104図	28	20住 31	深鉢	口縁~胴部(20%)	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	刺突を伴う横位隆帯1条。単節L R 縄文を地文とする沈線文。内面、口縁部やや粗い研磨。	加曾利B 1
104図	28	20住 32	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	口縁やや内湾。内面段状。口唇部刻み。沈線文。列点状刺突文。内外面丁寧な研磨。	加曾利B 2
105図	28	20住 33	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	口縁内面段状。盲孔を伴う突起。口唇部刻み。内面横位沈線。内外面研磨。No34と同一個体。	加曾利B 2
105図	28	20住 34	浅鉢	口縁~胴部(30%)	細砂粒少。良。灰黄褐色。	口縁部内面段状。内面横位沈線。内面研磨。外面やや粗い研磨。No33と同一個体。	加曾利B 2
105図	28	20住 35	深鉢	口縁~胴部(30%)	砂粒少。良。灰褐色。	盲孔を伴う突起。口縁内面段状。口唇部に刻み。沈線文。単節L R 縄文充填。内外面丁寧な研磨。光沢。口径(15.7)。残存高9.1。	加曾利B 2
105図	28	20住 36	深鉢	口縁~胴部(30%)	砂粒やや少。良。黒褐色。	貫通孔を伴う突起。口縁内面段状。沈線文。単節L R 縄文充填。内外面丁寧な研磨。光沢。口径(18.0)。残存高10.1。	加曾利B 2
105図	28	20住 37	深鉢	胴部片	砂粒少。良。にぶい赤褐色。	沈線文。単節L R 縄文。内外面研磨。	後期
105図	28	20住 38	深鉢	把手片	砂粒多。良。にぶい褐色。	赤色塗彩。丁寧な研磨。	後期
105図	28	20住 39	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	底面網代痕。外面研磨。底径(14.0)。	後期
105図	28	20住 40	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	底面網代痕。外面研磨。底径(9.0)。	後期
105図	28	20住 41	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	底面網代痕。内面中位。炭化物付着。外面やや粗い研磨。底径(12.6)。	後期
105図	28	20住 42	深鉢	底部(10%)	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	底面網代痕。やや上げ底状。外面粗い研磨。底径11.0。	後期
105図	28	20住 43	鉢	口縁~底部(30%)	細砂粒やや多。良。褐色。	口縁短く直立。内面、底面やや粗い研磨。外面研磨。光沢。口径(11.2)。高さ5.0。底径6.0。	後期

29区3号住居 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
111図	29	3住 1	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。暗褐色。	隆帯2条による区画に、2列の列点状刺突文。内外面やや粗い研磨。	加曾利E 4
111図	29	3住 2	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい褐色。	器面劣化。口縁部に列点状刺突文。沈線による区画。単節L R 縄文充填。内外面研磨。	加曾利E 4

遺物観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
111	29	3住 3	深鉢	口縁~胴部(40%)	砂粒多。良。にふい赤褐色。	降線渦巻文4単位構成。綾杉状沈線で充填。内外面軽い研磨。口径(29.0)。残存高25.1。	唐草文系
111	29	3住 4	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。浅黄褐色。	刺突文。内面やや粗い研磨。	三十稲場
111	29	3住 5	深鉢	口縁~胴部(20%)	細砂粒やや多。良。褐灰色。	把手。刺突文。口径(10.0)。	三十稲場
111	29	3住 6	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
111	29	3住 7	深鉢	頸~胴部片	細砂粒少。良。灰黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
111	29	3住 8	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
111	29	3住 9	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にふい褐色。	器面劣化。沈線文。無節L縄文充填。	称名寺1
111	29	3住 10	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	器面劣化。沈線による渦文。単節L R縄文充填。	称名寺1
111	29	3住 11	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
111	29	3住 12	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	器面劣化。沈線による渦文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
111	29	3住 13	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
111	29	3住 14	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。刺突。内外面やや粗い研磨。	称名寺2
111	29	3住 15	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。	称名寺2
111	29	3住 16	浅鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	首孔と沈線を伴う。左右非対称の橋状突起。内外面研磨。	称名寺2
111	29	3住 17	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。褐色。	櫛歯状工具による施文か、内外面ナデ。	称名寺
111	29	3住 18	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	横位隆帯。内外面粗い研磨。	称名寺
111	29	3住 19	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。暗褐色。	横位隆帯1条。口唇部上面研磨。	称名寺
111	29	3住 20	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。灰黄褐色。	横位隆帯による区画。単節L R縄文充填。内面、外面無文部ナデ。	称名寺
111	29	3住 21	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	刺突を伴う縦位、横位隆帯。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺
111	29	3住 22	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	横位隆帯による区画。単節L R縄文充填。内面、外面無文部ナデ。	称名寺
112	29	3住 23	浅鉢	口縁~胴部(20%)	細砂粒やや多。良。にふい褐色。	首孔。貫通孔を伴う非対称の橋状突起。沈線文。内外面研磨。	称名寺
112	29	3住 24	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	器面劣化。沈線文。単節L R縄文充填。	称名寺
112	29	3住 25	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。暗赤褐色。	横位、縦位隆帯。単節L R縄文充填。内面やや粗い研磨。	称名寺
112	29	3住 26	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	縦位隆帯。内外面粗い研磨。	称名寺
112	29	3住 27	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	凹形貼付文より隆帯。粗い研磨。	称名寺
112	29	3住 28	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐灰色。	刺突文。	称名寺
112	29	3住 29	注口	注口部片	砂粒少。良。暗赤褐色。	沈線文。単節L R縄文。外面研磨。口径(2.5)。残存高3.8。	称名寺
112	29	3住 30	深鉢	突起片?	細砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	器面劣化。沈線後。列点状刺突文。やや粗い研磨。	称名寺
112	29	3住 31	深鉢	口縁部(20%)	砂粒やや多。良。黒褐色。	横位隆帯1条。内外面ナデ。口径(38.0)。4住6点接合。4住2点と同一個体。	称名寺
112	29	3住 32	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。暗赤褐色。	貫通孔。首孔。刻みを伴う縦位隆帯垂下。内外面研磨。	堀之内1
112	29	3住 33	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にふい赤褐色。	内外面赤色塗彩。貫通孔。橋状把手が付くか。内外面研磨。	堀之内1
112	29	3住 34	深鉢	口縁~頸部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁短く屈曲。頸部横位沈線2条。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
112	29	3住 35	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗褐色。	口縁短く屈曲。口唇部横位沈線1条。刻み列。内外面研磨。	堀之内1
112	29	3住 36	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁短く屈曲。内外面研磨。	堀之内1
113	29	3住 37	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	器面劣化。口縁内面に横位沈線1条。	堀之内1
113	29	3住 38	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	首孔。沈線を伴う突起。内外面研磨。	堀之内1
113	29	3住 39	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にふい褐色。	口唇部肥厚し外反。器面劣化。沈線文。	堀之内1
113	29	3住 40	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。浅黄色。	隆帯による施文。内外面粗い研磨。	堀之内1
113	29	3住 41	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にふい黄色。	首孔より沈線。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
113	29	3住 42	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。灰褐色。	首孔を伴う突起。内外面研磨。	堀之内1
113	29	3住 43	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	横位沈線1条。内面首孔。沈線文。外面やや粗い研磨。	堀之内1
113	29	3住 44	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	器面劣化。首孔を伴う突起。沈線文。縄文充填か。縄文原体不明。	堀之内1
113	29	3住 45	鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。灰白色。	首孔。沈線文。内外面研磨。	堀之内1
113	29	3住 46	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	横位沈線。	堀之内1
113	29	3住 47	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	刺突を伴う縦位隆帯。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
113	29	3住 48	深鉢	頸~胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	器面劣化。8字貼付文。沈線による区画。単節L R縄文充填。	堀之内1
113	29	3住 49	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。内外面ナデ。	堀之内1
113	29	3住 50	鉢	頸部片	砂粒多。良。にふい褐色。	8字貼付文。刺突を伴う横位隆帯1条。単節L R縄文充填。	堀之内1
113	29	3住 51	鉢	頸~胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	刺突を伴う横位隆帯。	堀之内1
113	29	3住 52	深鉢	頸部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	刺突を伴う横位隆帯。単節L R縄文。	堀之内1
113	29	3住 53	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	刺突を伴う横位隆帯。単節L R縄文。	堀之内1
113	29	3住 54	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	刻みを伴う横位隆帯。単節L R縄文充填。	堀之内1
113	29	3住 55	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。赤褐色。	みを伴う横位隆帯。無節L縄文充填。	堀之内1
113	29	3住 56	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	器面劣化。沈線文。単節L R縄文充填。	堀之内1
114	29	3住 57	深鉢	胴部片	砂粒少。良。にふい赤褐色。	渦状に突出した貼付文。沈線文。単節L R縄文充填。	堀之内1
114	29	3住 58	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にふい褐色。	首孔。沈線文。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
114	29	3住 59	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	器面やや劣化。沈線文。	堀之内1
114	29	3住 60	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黄褐色。	沈線による渦文。単節L R縄文充填。内面ナデ。	堀之内1
114	29	3住 61	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線による渦文。単節L R縄文。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
114	29	3住 62	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。暗褐色。	沈線文。刺突。内外面丁寧なナデ。	堀之内1
114	29	3住 63	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。	堀之内1
114	29	3住 64	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にふい褐色。	沈線文。	堀之内1
114	29	3住 65	深鉢	胴部片	砂粒多。良。浅黄褐色。	内面研磨。単節L R縄文を地文とし、沈線文。その後研磨。No101と同一個体か。	後期
114	29	3住 66	壺	口縁~胴部片	細砂粒少。良。黒褐色。	首孔より橋状把手か。内外面研磨。光沢。口径(12.8)。	堀之内1
114	29	3住 67	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	内外面研磨。口径(16.4)。	堀之内1
114	29	3住 68	深鉢	口縁~頸部片	細砂粒少。良。にふい黄褐色。	口縁短く屈曲。頸部横位隆帯1条。内外面研磨。口径(32.0)。残存高8.5。1点と同一個体。	堀之内1
114	29	3住 69	深鉢	口縁~頸部(20%)	細砂粒やや多。良。灰褐色。	口縁短く屈曲。首孔を伴う非対称の突起。茂沢類型。口径(16.0)。6住1点と同一個体。	堀之内1
114	29	3住 70	深鉢	頸~底部(50%)	砂粒多。良。明黄褐色。	縦位沈線による区画。羽状沈線による充填。底面網代痕。胴下半ほぼ保存。炉に使用したため、上端5cmが被熱劣化著しい。内面ナデ。外面研磨。残存高18.5。底径7.6。	堀之内1
114	29	3住 71	深鉢	頸~底部(80%)	粗砂粒多。良。赤褐色。	8字貼付文?。5単位の沈線文。単節L R縄文。頸部、横位沈線2条。底面網代痕充填。炉に使用。被熱痕跡が顕著。外面、丁寧な研磨。残存高27.3。底径8.4。	堀之内1
115	29	3住 72	深鉢	口縁~胴部(15%)	砂粒少。良。にふい黄褐色。	口縁部突起伴う。胴部沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。口径(44.0)。残存高16.4。	堀之内1
115	29	3住 73	壺	胴部~底部(70%)	砂粒やや多。良。褐灰色。	器面劣化。縦位隆帯。2単位の沈線文か。単節L R縄文充填。底部研磨(網代痕を消しているものか?)口径(2.2)。残存高7.6。底径3.7。	堀之内1
115	29	3住 74	深鉢	口縁~胴部(30%)	砂粒やや多。良。にふい褐色。	口唇部に羽状の刻みを伴う横位隆帯。胴部中に横位沈線による区画。沈線による三角形文。内外面粗い研磨。	堀之内2
115	29	3住 75	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。赤褐色。	内面に横位沈線。内外面やや粗い研磨。	堀之内2
115	29	3住 76	注口	注口部片	細砂粒やや多。良。にふい黄褐色。	外面丁寧な研磨。	堀之内2
115	29	3住 77	注口	注口部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	単節L R縄文。	堀之内2
115	29	3住 78	深鉢	把手片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線による施文。やや粗い研磨。	堀之内2
115	29	3住 79	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗褐色。	刺突を伴う横位隆帯。単節L R縄文充填。内面、外面無文部粗い研磨。	加曾利B1
115	29	3住 80	深鉢	口縁~胴部片	細砂粒少。良。にふい黄褐色。	口唇部刻み。内外面研磨。No83と同一個体。	加曾利B1
115	29	3住 81	深鉢	頸~胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	外面単節L R縄文充填後。沈線文。区切り文。研磨。内面研磨。	加曾利B1
115	29	3住 82	深鉢	口縁~胴部(60%)	砂粒多。良。にふい黄褐色。	横位沈線3条。区切り文。内面やや粗い研磨。外面胴部、やや粗い斜位研磨。口径(30.0)。残存高27.1。	加曾利B1
116	29	3住 83	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にふい黄褐色。	横位沈線による区画。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。No80と同一個体。	加曾利B1
116	29	3住 84	深鉢	口縁~胴部(70%)	細砂粒やや多。良。黒褐色。	3単位突起。沈線文。区切り文。単節L R縄文充填。内面粗い研磨。外面丁寧な研磨。口径12.4。残存高14.2。1列1点接合。6住2点と同一個体。	加曾利B1

遺物観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
116	29	3住 85	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。灰黄褐色。	盲孔を伴う突起?。単節LR縄文充填。内面研磨。	加曾利B2
116	29	3住 86	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。暗赤褐色。	沈線文。単節LR縄文。内面、横位沈線3条。内外面丁寧な研磨。	加曾利B2
116	29	3住 87	深鉢	口縁~胴部(20%)	砂粒多。良。暗褐色。	無文。内外面粗い研磨。	加曾利B
116	29	3住 88	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	無文。内外面研磨。	加曾利B
116	29	3住 89	深鉢	口縁部(20%)	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	平行沈線3条による区画。斜位、縦位沈線による充填。内外面粗いナデ。口径(30.0)。残存高10.3。	加曾利B
116	29	3住 90	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐灰色。	隆帯。沈線による施文。内外面粗い研磨。	高井東
116	29	3住 91	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐灰色。	口縁縁やかに研。器面劣化。赤色塗彩。	後期
116	29	3住 92	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	内外面粗い研磨。	後期
116	29	3住 93	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	盲孔、貫通孔を伴う突起。突起より刻みを伴う縦位隆帯。内外面粗い研磨。	堀之内1
116	29	3住 94	深鉢	胴部(10%)	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	単節LR縄文。内面粗い研磨。	後期
116	29	3住 95	深鉢	口縁~胴部片	砂粒多。良。褐色。	単節LR縄文。	後期
116	29	3住 96	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	隆帯による施文。単節LR縄文。内外面粗い研磨。	後期
116	29	3住 97	深鉢	把手片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	丁寧な研磨。	後期
117	29	3住 98	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰白色。	器面劣化。無文。	後期
117	29	3住 99	深鉢	頸~胴部片	細砂粒多。良。暗赤褐色。	沈線文。内外面ナデ。	一
117	29	3住 100	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	横位沈線。内外面やや粗い研磨。	後期
117	29	3住 101	深鉢	胴~底部(30%)	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	器面劣化。内外面研磨か。底径7.6。No65と同一か。	後期
117	29	3住 102	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。浅黄褐色。	無文。内外面粗い研磨。底径(7.9)。	後期
117	29	3住 103	深鉢	胴部(20%)	細砂粒少。良。にぶい褐色。	縦位沈線。内外面やや粗い研磨。	後期
117	29	3住 104	深鉢	胴部(10%)	細砂粒多。良。黒褐色。	単節LR縄文後。横位沈線。区切り文。研磨。内面研磨。	後期
117	29	3住 105	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	内外面研磨。	後期
117	29	3住 106	深鉢	底部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	底面厚塗。内外面研磨。底径4.2。	後期
117	29	3住 107	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	内外面やや粗い研磨。底径(6.0)。	後期
117	29	3住 108	深鉢	底部片	細砂粒やや多。良。褐色。	底面網代痕。内外面研磨。底部6.8。	後期
117	29	3住 109	深鉢	底部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	底部張り出す。内外面やや粗い研磨。底径(7.0)。	後期
117	29	3住 110	深鉢	底部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。底径(5.0)。	後期
117	29	3住 111	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐灰色。	内面に漆。赤色塗彩も見られる。内外面やや粗い研磨。	後期
117	29	3住 112	深鉢	底部片	砂粒多。良。黒褐色。	底面網代痕。外面研磨。底径8.2。	後期
117	29	3住 113	ミニチュア	底部片	細砂粒少。良。黄褐色。	底面網代痕。やや粗い研磨。底径(3.0)。	後期
117	29	3住 114	台付	台部片	砂粒多。良。明褐色。	外面やや粗い研磨。	後期
117	29	3住 115	土製皿盤	完形	砂粒やや多。良。明褐色。	器面劣化。沈線文。全周打ち欠き成形。直径5.0。厚さ1.3。	堀之内1
117	29	3住 116	土製皿盤	完形	砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。全周打ち欠き成形。直径5.2。厚さ1.3。	堀之内1
117	29	3住 117	土製皿盤	完形	砂粒やや多。良。明褐色。	沈線文。単節LR縄文。全周打ち欠き成形。直径4.7。厚さ1.2。	堀之内1
117	29	3住 118	土製皿盤	完形	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	器面劣化。一部研磨成形。直径3.4。厚さ1.2。	後期
117	29	3住 119	土製皿盤	完形	砂粒やや多。良。明褐色。	器面劣化。一部研磨成形か。直径3.7。厚さ0.9。	後期
117	29	3住 120	土製皿盤	完形	細砂粒やや多。良。黒褐色。	全周研磨成形。直径4.0。厚さ0.6。	後期
118	29	3住 121	土製皿盤	完形	砂粒やや多。良。黒褐色。	器面劣化。沈線文。一部研磨成形か。直径4.4。厚さ1.4。	後期
118	29	3住 122	土製皿盤	完形	細砂粒やや多。良。赤褐色。	器面劣化。沈線文。一部研磨成形か。直径5.9。厚さ1.4。	後期
118	29	3住 123	土製皿盤	完形	砂粒多。良。明黄褐色。	単節LR縄文充填。一部研磨成形。直径6.3。厚さ1.4。	後期

29区4号住居、1・2号列石 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
125	29	4住 1	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。雲母含む。良。にぶい褐色。	口縁。内湾し短く外反。2列の刺突文。内外面ナデ。	加曾利E4
125	29	4住 2	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	口唇部肥厚。列点状刺突文を伴う隆帯2条。内外面やや粗い研磨。	加曾利E4
125	29	4住 3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	隆帯と沈線による施文。無節LR縄文充填。内面、外面無文部研磨。	加曾利E4
125	29	4住 4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	器面やや劣化。赤色塗彩。	加曾利E4
125	29	4住 5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。無節LR縄文充填。内面、外面無文部やや粗い研磨。	加曾利E4
125	29	4住 6	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。	加曾利E4
125	29	4住 7	壺	頸~胴部片	細砂粒多。雲母含む。良。褐色。	器面劣化。刺突文。内面研磨。	三十三福場
125	29	4住 8	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。赤褐色。	口唇部肥厚。沈線による区画。単節LR縄文充填。内外面やや粗い研磨。	称名寺1
125	29	4住 9	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線による区画。単節LR縄文充填。内外面研磨。	称名寺1
125	29	4住 10	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。雲母含む。良。褐色。	沈線による区画。単節LR縄文充填。内外面研磨。光沢。	称名寺1
125	29	4住 11	深鉢	頸~胴部(10%)	細砂粒多。良。暗褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
125	29	4住 12	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
125	29	4住 13	深鉢	胴部片	砂粒少。良。にぶい褐色。	器面劣化。沈線文。単節LR縄文充填。	称名寺1
125	29	4住 14	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。内面、外面無文部やや粗い研磨。	称名寺1
125	29	4住 15	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	器面劣化。沈線による区画。単節LR縄文充填。	称名寺1
125	29	4住 16	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。暗赤褐色。	沈線文。単節LR縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
125	29	4住 17	深鉢	把手片	細砂多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節LR縄文。内外面粗い研磨。	称名寺1
125	29	4住 18	深鉢	胴部~底部(20%)	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	2条単位の縦位沈線。単節LR縄文充填。残存高8.4。底径(5.0)。	称名寺1
125	29	4住 19	注口	口縁~胴部(50%)	砂粒やや多。良。灰黄褐色。	注口部に橋状の把手を伴うか。沈線文。単節LR縄文充填。無文部、丁寧な研磨。口径(8.0)。残存高5.3。	称名寺1
125	29	4住 20	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	口縁短く屈曲。沈線文。列点状刺突文。刻み。内外面研磨。	称名寺2
125	29	4住 21	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	口唇部肥厚。器面劣化。沈線文。縄文充填。磨減により縄文本体不明。	称名寺2
125	29	4住 22	深鉢	口縁部片	細砂粒多。雲母含む。良。赤褐色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。	称名寺2
125	29	4住 23	深鉢	頸~胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。内外面丁寧なナデ。	称名寺2
125	29	4住 24	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。	称名寺2
125	29	4住 25	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明赤褐色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。	称名寺2
125	29	4住 26	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。	称名寺2
125	29	4住 27	深鉢	胴部片	砂粒少。良。褐灰色。	沈線文。内外面研磨。	称名寺2
125	29	4住 28	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。縄文充填なし。内面研磨。無文部やや粗い研磨。口径(22.0)。	称名寺2
125	29	4住 29	深鉢	口縁~胴部片	砂粒少。良。褐色。	単節LR縄文。内外面研磨。口径(10.2)。	称名寺2
126	29	4住 30	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	突起。沈線文。単節LR縄文充填。無文部。内面丁寧な研磨。口径(22.5)。	称名寺2
126	29	4住 31	深鉢	胴部(30%)	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。	称名寺2
126	29	4住 32	深鉢	頸~胴部(40%)	砂粒多。良。黒褐色。	沈線によるR字状文。櫛歯状工具による充填。炉に使用。被熱痕跡が顕著。18住1点接合。3住2点と同一個体。	称名寺2
126	29	4住 33	深鉢	口縁~底部(80%)	細砂多。良。褐色。	内外面磨耗著しい。無節LR縄文。炉に使用。被熱痕跡が顕著。底部に十字状の線刻あり。底部上位1.5cmに0.9×0.6cm大の楕円形の孔あり。外側からの敲打で穿ち、研磨で仕上げている。口径(20.6)。高さ19.2。底径6.0。	称名寺2
126	29	4住 34	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰褐色。	刻みを伴う横位隆帯1条。内外面粗い研磨。	称名寺
126	29	4住 35	浅鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	盲孔。貫通孔を伴う橋状の突起。内外面研磨。	称名寺
126	29	4住 36	浅鉢	口縁部片	砂粒多。良。浅黄褐色。	口縁屈曲。内外面研磨。	称名寺
126	29	4住 37	浅鉢	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	横位隆帯1条。沈線文。内外面やや粗い研磨。	称名寺
126	29	4住 38	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	器面劣化。横位隆帯。	称名寺
126	29	4住 39	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	横位隆帯1条。円形貼付文。内外面やや粗い研磨。	称名寺
126	29	4住 40	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	横位隆帯1条。交点に円形貼付文。縦位隆帯垂下。内外面やや粗い研磨。	称名寺
126	29	4住 41	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	器面劣化。横位隆帯1条。	称名寺
126	29	4住 42	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰褐色。	縦位隆帯。内外面粗い研磨。No48と同一個体。3住1点と同一個体。	称名寺
127	29	4住 43	深鉢	口縁~胴部(70%)	粗砂粒多。良。にぶい黄褐色。	口縁横位隆帯1条。胴部に並行する孤状隆帯。交点に円形貼付文。単節LR縄文充填。8字状文を構成。口径(50.0)。残存高56.9。3住2点接合。	称名寺

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
127	29	4住 44	鉢	?	細砂粒やや多。良。明褐色。	隆帯と器形による施文、隆帯に単節L R縄文、内外面研磨。	称名寺
127	29	4住 45	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	円形貼付文より沈線を伴う隆帯。内外面やや粗い研磨。	称名寺
127	29	4住 46	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	櫛歯状工具による施文。	称名寺
127	29	4住 47	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	隆帯による施文。主要凹盤か。内外面粗い研磨。	称名寺
127	29	4住 48	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	隆帯による施文。内外面粗い研磨。No42と同一個体。	称名寺
127	29	4住 49	注口	口縁~底部(70%)	細砂粒やや多。雲母含む。良。赤褐色。	刻みを伴う橋状把手。沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。口径(5.4)。高さ8.4。底径4.2。	称名寺2
128	29	4住 50	深鉢	口縁~胴部(30%)	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	口縁横位隆帯1条。胴部に弧状隆帯。交点に円形貼付文。8字状文を構成。内外面やや粗い研磨。口径(42.0)。残存高40.3。3住6点接合。	称名寺
128	29	4住 51	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明黄褐色。	沈線文。単節L R縄文後、粗い研磨。	堀之内1
128	29	4住 52	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部やや粗い研磨。	堀之内1
128	29	4住 53	釣手	釣手部片	砂粒少。良。にぶい褐色。	8字貼付文より対称の沈線文。単節L R縄文。丁寧な研磨。	堀之内1
128	29	4住 54	深鉢	口縁~底部(50%)	砂粒やや多。良。黒褐色。	首孔と沈線を伴う突起3単位か。口縁横位沈線1条。内外面研磨。口径29.1。高さ41.3。底径9.0。3住3点接合。3住4点と同一個体。	堀之内1
128	29	4住 55	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	刻みを伴う横位隆帯。内外面ナデ。	後期
128	29	4住 56	深鉢	口縁部~胴部片	砂粒やや多。良。明黄褐色。	口唇部肥厚。横位隆帯。内外面粗い研磨。	後期
128	29	4住 57	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	内外面研磨。	後期
128	29	4住 58	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	櫛歯状工具による施文。内外面ナデ。	後期
129	29	4住 59	深鉢	頸~胴部(20%)	砂粒やや多。良。褐色。	櫛歯状工具による施文。被熱痕跡顕著。内外面やや粗い研磨。3住1点接合。3住2点と同一個体。	後期
129	29	4住 60	注口	注口~胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	内外面研磨。	後期
129	29	4住 61	蓋	蓋形土製品	砂粒少。良。褐色。	削り痕を残す。内外面軽い研磨。径(8.2)。	後期
129	29	4住 62	深鉢	底部片	細砂粒少。良。浅黄褐色。	器面劣化。底径(9.0)。	後期
129	29	4住 63	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。灰黄褐色。	器面劣化。上げ底状。外面やや粗い研磨。底径(8.0)。	後期
129	29	4住 64	深鉢	底部片	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	粗い研磨。底径(7.6)。	後期
129	29	4住 65	深鉢	底部片	砂粒少。良。褐色。	器面劣化。底面網状痕か。やや粗い研磨。底径(11.0)。	後期
129	29	4住 66	ミニチュア	50%	細砂粒やや多。良。褐色。	器面劣化。内外面ナデ。口径(4.8)。底径(3.0)。	後期
132	29	1列 1	深鉢	頸~胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	刺突文。内面やや粗い研磨。	三十稲場
132	29	1列 2	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	刻みを伴う縦位隆帯垂下。単節L R縄文充填。内面、炭化物付着。	称名寺1
132	29	1列 3	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	内外面に沈線を伴う突起。内外面粗い研磨。	称名寺
132	29	1列 4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	縦位隆帯垂下。内外面やや粗い研磨。	称名寺
132	29	1列 5	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	口縁短く屈曲。首孔を伴う突起。刻み列。	堀之内1
132	29	1列 6	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	口縁短く屈曲。頸部横位沈線。内外面研磨。光沢。	堀之内1
132	29	1列 7	壺	胴部片	細砂粒少。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面粗い研磨。外面無文部研磨。	堀之内1
132	29	1列 8	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。灰黄褐色。	沈線文。内外面研磨。光沢。	堀之内1
132	29	1列 9	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
132	29	1列 10	深鉢	口縁~胴部(30%)	砂粒やや少。良。にぶい褐色。	横位沈線2条。円形貼付文。沈線文。単節L R縄文?。内外面研磨。	堀之内1
132	29	1列 11	深鉢	胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	櫛歯状工具による波状文。内外面やや粗い研磨。	後期
133	29	2列 1	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	刺突文。	三十稲場
133	29	2列 2	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。明赤褐色。	貫通孔を伴う橋状の突起。沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。	称名寺1
133	29	2列 3	深鉢	頸部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	首孔と沈線を伴う隆帯。内外面研磨。	称名寺
133	29	2列 4	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	刻みを伴う斜位隆帯。櫛歯状工具による施文。内面研磨。	称名寺
133	29	2列 5	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。赤褐色。	首孔。沈線を伴う突起。赤色染彩。	称名寺
133	29	2列 6	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	口縁短く屈曲。横位沈線1条。内外面研磨。光沢。	堀之内1

29区6号住居 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
138	29	6住 1	両耳壺	把手片	細砂多。並。にぶい褐色。	単節L R縄文。内外面軽い研磨。	加曾利E 3
138	29	6住 2	深鉢	口縁部片	細砂粒少。良。暗褐色。	口縁内湾。突起を伴う。沈線による区画。単節L R縄文充填。4列1点接合。	加曾利E 4
138	29	6住 3	浅鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	沈線による区画。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	加曾利E 4
138	29	6住 4	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	器面劣化。縦位隆帯。単節L R縄文。3住2点と同一個体。	加曾利E 4
138	29	6住 5	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	器面劣化。縦位隆帯。単節L R縄文? 充填か。3住1点と同一個体。	加曾利E 4
138	29	6住 6	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	刺突文。	三十稲場
138	29	6住 7	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
138	29	6住 8	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線による渦文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部やや粗い研磨。	称名寺1
138	29	6住 9	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	沈線による渦文。単節L R縄文充填。外面無文部研磨。	称名寺1
138	29	6住 10	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部やや粗い研磨。	称名寺1
138	29	6住 11	深鉢	口縁~胴部(30%)	砂粒多。良。にぶい黄褐色。	口縁横位隆帯1条。胴部に縦位隆帯。交点に円形貼付文。内面ナデ。外面軽い研磨。口径(38.4)。残存高50.0。	称名寺
138	29	6住 12	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	口縁短く屈曲。沈線による渦文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部やや粗い研磨。	称名寺2
138	29	6住 13	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	器面劣化。沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。	称名寺2
138	29	6住 14	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。褐色。	器面劣化。沈線文。単節L R縄文? 充填。	称名寺2
138	29	6住 15	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。刺突。	称名寺2
138	29	6住 16	深鉢	胴部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	沈線文。列点状刺突文。内外面ナデ。	称名寺2
139	29	6住 17	深鉢	頸~胴部片	細砂粒多。良。褐色。	器面劣化。沈線文。	称名寺2
139	29	6住 18	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	外面研磨。沈線文。	称名寺2
139	29	6住 19	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい褐色。	器面劣化。沈線による渦文。	堀之内1
139	29	6住 20	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	口縁短く屈曲。内外面やや粗い研磨。口径(18.0)。残存高8.0。	称名寺2
139	29	6住 21	深鉢	口縁~頸部片	細砂粒少。並。にぶい黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内外面軽い研磨。口径(18.0)。	称名寺2
139	29	6住 22	浅鉢	口縁~底部(50%)	細砂粒やや多。良。褐色。	注口部に非対称の橋状突起。口縁部に沈線による区画。列点状刺突。内外面研磨。高さ31.0。底径(8.5)。	称名寺2
139	29	6住 23	深鉢	口縁~胴部(20%)	砂粒多。良。褐色。	横位隆帯1条。交点に円形貼付文。縦位隆帯垂下。内外面ナデ。	称名寺
139	29	6住 24	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。褐色。	器面劣化。横位隆帯1条。内外面ナデ。	称名寺
139	29	6住 25	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。灰黄褐色。	横位隆帯1条。内外面やや粗い研磨。	称名寺
139	29	6住 26	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黄褐色。	口唇部やや肥厚。横位隆帯1条。内外面ナデ。	称名寺
139	29	6住 27	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。黒褐色。	横位隆帯1条。円形貼付文。内外面ナデ。	称名寺
139	29	6住 28	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。明黄褐色。	器面劣化。横位隆帯1条。	称名寺
140	29	6住 29	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。黄褐色。	口縁短く屈曲。器面劣化。沈線文。	称名寺
140	29	6住 30	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	器面やや劣化。横位隆帯1条。内外面ナデ。	称名寺
140	29	6住 31	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。暗褐色。	横位隆帯1条。内外面ナデ。	称名寺
140	29	6住 32	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	横位隆帯1条。内外面ナデ。	称名寺
140	29	6住 33	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。褐色。	横位隆帯1条。被熱か。内外面ナデ。	称名寺
140	29	6住 34	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	器面劣化。円形貼付文より隆帯。	称名寺
140	29	6住 35	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	縦位隆帯。内外面粗い研磨。	称名寺
140	29	6住 36	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	縦位隆帯垂下。外面粗い研磨。	称名寺
140	29	6住 37	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰黄褐色。	刻みを伴う横位隆帯。内外面ナデ。	称名寺
140	29	6住 38	深鉢	胴部片	砂粒多。良。赤褐色。	刺突を伴う隆帯。単節L R縄文。	称名寺
140	29	6住 39	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	櫛歯状工具による波状文。内外面粗い研磨。	称名寺
140	29	6住 40	深鉢	頸~胴部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺
140	29	6住 41	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。にぶい黄褐色。	隆帯による施文。内外面やや粗い研磨。	称名寺
140	29	6住 42	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	器面やや劣化。縦位隆帯1条。内外面研磨。	称名寺
140	29	6住 43	壺	胴~底部(10%)	細砂粒やや多。良。黒褐色。	橋状把手。隆帯による施文。内外面研磨。光沢。	称名寺1

遺物観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
140図	29	6住 44	深鉢	口縁~胴部片	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	器面劣化。口唇部盲孔。横位沈線。刻みを伴う横位隆帯。	堀之内1
140図	29	6住 45	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。暗褐色。	口縁短く屈曲。内外面研磨。光沢。	堀之内1
140図	29	6住 46	深鉢	口縁~頸部片	細砂粒多。良。黒褐色。	横位沈線。内外面研磨。	堀之内1
140図	29	6住 47	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。黒褐色。	盲孔と沈線文を伴う突起。	堀之内1
140図	29	6住 48	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。明黄褐色。	口縁短く屈曲。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
140図	29	6住 49	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	口縁短く屈曲。口唇部横位沈線。刻みを伴う横位隆帯1条。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
140図	29	6住 50	深鉢	頸部(20%)	細砂粒やや多。良。褐色。	器面劣化。円形貼付文。沈線文。単節L R縄文?充填。内面やや粗い研磨。	堀之内1
140図	29	6住 51	深鉢	頸~胴部片	砂粒やや多。良。灰黄褐色。	横位沈線3条。盲孔。単節L R縄文充填。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
140図	29	6住 52	深鉢	頸部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	単節L R縄文後、8字貼付文?。貼付文を中心に沈線文。	堀之内1
140図	29	6住 53	深鉢	頸部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	盲孔を中心とした沈線文。内外面研磨。光沢。	堀之内1
140図	29	6住 54	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
141図	29	6住 55	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	堀之内1
141図	29	6住 56	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。暗褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	堀之内1
141図	29	6住 57	深鉢	頸~胴部(30%)	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。No60と同一個体。	堀之内1
141図	29	6住 58	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	堀之内1
141図	29	6住 59	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。暗赤褐色。	横位沈線。刺突文。内外面ナデ。	堀之内1
141図	29	6住 60	深鉢	底部(10%)	細砂粒多。雲母含む。良。暗赤褐色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。底径(7.6)。No57と同一個体。	堀之内1
141図	29	6住 61	深鉢	口縁~胴部片	細砂粒やや多。良。褐色。	口縁内面横位沈線1条。内面やや粗い研磨。外面研磨。口径(23.2)。	堀之内2
141図	29	6住 62	深鉢	胴部(20%)	砂粒多。良。赤褐色。	沈線文による施文。内外面やや粗い研磨。	堀之内2
141図	29	6住 63	深鉢	口縁~胴部(30%)	砂粒少。良。黒褐色。	盲孔を伴う突起。口縁内面段状。口唇部に刻み。沈線文。内面横位沈線3条。単節L R縄文充填。内外面丁寧な研磨。口径(18.0)。残存15.0。	加曾利B 1
141図	29	6住 64	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	口唇部刻み。沈線による区画。刻み、単節L R縄文?充填。内外面研磨。光沢。	加曾利B 2
141図	29	6住 65	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。明黄褐色。	器面劣化。貫通孔を伴う非対称の突起。	堀之内1
141図	29	6住 66	深鉢	口縁部片	細砂粒少。良。黄灰色。	口縁内側段状。刻み。内外面研磨。光沢。	加曾利B
142図	29	6住 67	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	内外面赤色塗彩。	後期
142図	29	6住 68	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	内面割落。単節L R縄文。4列1点接合。	—
142図	29	6住 69	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。にぶい褐色。	単節L R縄文を地文。櫛歯状工具による施文。	諸磯B
142図	29	6住 70	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	無文。外面縦位研磨。	後期
142図	29	6住 71	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	器面劣化。研磨か。	後期
142図	29	6住 72	深鉢	底部片	砂粒多。良。赤褐色。	器面劣化。底面網代痕。外面やや粗い研磨。底径(12.0)。	後期
142図	29	6住 73	深鉢	底部片	細砂粒やや多。良。黄褐色。	底面網代痕。上げ底状。底径8.8。	後期
142図	29	6住 74	深鉢	底部片	砂粒やや多。良。褐色。	器面劣化。底面網代痕。底径(11.0)。	後期
142図	29	6住 75	深鉢	底部(20%)	砂粒少。良。明黄褐色。	底面網代痕。上げ底状。内外面やや粗い研磨。底径(10.8)。	後期
142図	29	6住 76	深鉢	口縁~胴部(70%)	砂粒多。良。黒褐色。	粗製。底面網代痕。内外面軽い研磨。口径28.5。残存高19.8。	後期
142図	29	6住 77	土製皿盤	完形	細砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線による渦文。単節L R縄文充填。一部研磨成形。直径4.5。厚さ0.9。	称名寺1
142図	29	6住 78	土製皿盤	50%	砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。打ち欠き成形。直径(3.9)。厚さ0.8。	堀之内1
142図	29	6住 79	土製片鉢	完形	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	器面やや劣化。溝2条。直径3.4。厚さ9.5。	後期

29区7号住居 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
146図	29	7住 1	深鉢	頸~胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	横位沈線。列点状刺突文。研磨。	五領ヶ台?
146図	29	7住 2	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	器面劣化。縦位隆帯。	称名寺
146図	29	7住 3	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	堀之内1
146図	29	7住 4	深鉢	頸~胴部(10%)	砂粒多。良。赤褐色。	頸部横位沈線3条。沈線文。内面やや粗い研磨。単節L R縄文後、研磨。	堀之内1
146図	29	7住 5	深鉢	胴部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	沈線文。内外面ナデ。	後期
146図	29	7住 6	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	櫛歯状工具による施文。外面ナデ。	後期
146図	29	7住 7	土製皿盤	完形	砂粒やや多。良。にぶい黄褐色。	沈線文。全周打ち欠き成形。内外面やや粗い研磨。直径3.9。厚さ1.2。	堀之内1

29区8号住居 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
149図	29	8住 1	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗褐色。	刺突文。内面ナデ。	三十福場
149図	29	8住 2	深鉢	頸~胴部片	砂粒多。良。黒褐色。	沈線によるJ状の施文。複節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	称名寺1
149図	29	8住 3	深鉢	胴部片	砂粒多。良。暗赤褐色。	沈線文。刺突。外面研磨。	称名寺2
149図	29	8住 4	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明褐色。	横位隆帯。内外面粗い研磨。	称名寺
149図	29	8住 5	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。暗褐色。	刺突を伴う横位隆帯。内外面ナデ。	称名寺
149図	29	8住 6	深鉢	胴部(40%)	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	縦位隆帯4単位。炉に使用。被熱痕跡顕著。残存高18.3。	称名寺
149図	29	8住 7	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。明赤褐色。	沈線を伴う橋状の突起。	堀之内1
149図	29	8住 8	深鉢	口縁~胴部片	砂粒多。良。褐色。	隆帯による施文。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
149図	29	8住 9	深鉢	頸部片	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
149図	29	8住 10	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。褐色。	器面劣化。沈線による区画。単節L R縄文充填。内面粗い研磨。断面の一部を研磨。	堀之内1
149図	29	8住 11	浅鉢	口縁~胴部(30%)	砂粒少。良。暗褐色。	隆帯による施文。交点に円形貼付文。明瞭な痕跡はないが赤色塗彩の可能性高い。内外面研磨。光沢。口径(36.0)。残存高14.8。	堀之内1
149図	29	8住 12	深鉢	胴部片	砂粒多。良。にぶい褐色。	櫛歯状工具による波状文。外面粗い研磨。	後期
149図	29	8住 13	深鉢	底部(10%)	細砂粒多。良。にぶい赤褐色。	底面網代痕の痕跡か。炉より出土。内面やや粗い研磨。外面研磨。底径6.3。	後期
149図	29	8住 14	深鉢	底部(10%)	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	底面網代痕。炉より出土。内外面やや粗い研磨。底径(6.0)。	後期

29区18号住居、6号配石 土器観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
153図	29	18住 1	深鉢	口縁~胴部(30%)	砂粒多。良。にぶい赤褐色。	口縁部に横位隆帯。貼付文4単位か。隆帯より縦位沈線による区画。単節L R縄文充填。一部線刻を伴う。炉に使用。逆位であったため、胴下内の被熱痕跡が顕著。口径26.0。残存12.2。	加曾利E 4~
153図	29	18住 2	深鉢	頸~胴部片	細砂粒多。良。褐灰色。	内外面器壁剥落多い。刺突文。	三十福場
153図	29	18住 3	深鉢	口縁部片	砂粒やや多。良。暗褐色。	口縁短く屈曲。口唇部肥厚。沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。光沢。No6と同一個体か同一器種。	称名寺1
153図	29	18住 4	深鉢	把手片	細砂粒少。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R縄文。無文部研磨。光沢。	称名寺1
153図	29	18住 5	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部やや粗い研磨。	称名寺1
153図	29	18住 6	深鉢	胴部(20%)	砂粒やや多。良。にぶい赤褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内外面やや粗い研磨。No3と同一個体か同一器種。	称名寺1
153図	29	18住 7	深鉢	頸~胴部(30%)	細砂粒やや多。良。褐色。	器面やや劣化。沈線文。単節L R縄文充填。	称名寺1
153図	29	18住 8	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。櫛歯状工具による施文。内外面やや粗い研磨。No15と同一個体。	称名寺2
153図	29	18住 9	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。明赤褐色。	盲孔。貫通孔を伴う突起。内外面研磨。	称名寺2
153図	29	18住 10	深鉢	口縁部片	砂粒少。良。にぶい黄褐色。	内外面軽い研磨。	称名寺2
153図	29	18住 11	深鉢	口縁部片	細砂粒少。良。にぶい黄褐色。	口縁に橋状把手。内面軽い研磨。外面ナデ。	称名寺2
153図	29	18住 12	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。明赤褐色。	器面劣化。沈線文。	称名寺2
153図	29	18住 13	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。にぶい褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内外面研磨。	称名寺2
153図	29	18住 14	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。赤褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内外面やや粗い研磨。	称名寺2
154図	29	18住 15	深鉢	胴部(30%)	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。櫛歯状工具による充填。内外面やや粗い研磨。No8と同一個体。	称名寺2

遺物観察表

図版	区	掲載番号	器種	残存状態	胎土・焼成・色調	器形・文様の特徴、計測値(単位:cm、()は推定値)	時期・備考
154図	29	18住 16	深鉢	頸部片	砂粒やや多。良。にふい橙色。	器面劣化。沈線文。刺突充填。	称名寺2
154図	29	18住 17	深鉢	胴部片	細砂粒多。良。黒褐色。	沈線文。内外面研磨。	称名寺2
154図	29	18住 18	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。褐色。	横位隆帯1条。内外面粗い研磨。	称名寺
154図	29	18住 19	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	刻みを伴う横位隆帯。内外面やや粗い研磨。	称名寺
154図	29	18住 20	深鉢	口縁部片	細砂粒やや多。良。褐色。	横位隆帯1条。内外面やや粗い研磨。	称名寺
154図	29	18住 21	深鉢	口縁～頸部片	砂粒やや多。良。褐色。	口唇部、外へ折り返す。内外面やや粗い研磨。	称名寺
154図	29	18住 22	深鉢	頸部片	細砂粒多。良。黒褐色。	刻みを伴う横位隆帯。内外面研磨。	称名寺
154図	29	18住 23	深鉢	胴部片	砂粒多。良。明褐色。	隆帯による施文。内外面やや粗い研磨。	称名寺
154図	29	18住 24	深鉢	口縁部片	細砂粒多。良。にふい黄褐色。	器面劣化。内面横位沈線2条。内外面研磨か。	堀之内1
154図	29	18住 25	深鉢	胴部片	砂粒やや多。良。褐色。	沈線文。単節L R縄文充填。内面、外面無文部研磨。	堀之内1
154図	29	18住 26	深鉢	口縁～頸部片	細砂粒多。良。黒褐色。	刺突を伴う横位隆帯。沈線文。単節L R縄文。内外面やや粗い研磨。	堀之内1
154図	29	18住 27	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。灰褐色。	横位沈線による区画。横位羽状沈線。内外面やや粗い研磨。	加曾利B
154図	29	18住 28	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。にふい褐色。	内外面やや粗い研磨。	後期
154図	29	18住 29	深鉢	底部片	砂粒多。良。にふい黄褐色。	底面網代痕。上げ底状。底径9.6。	後期
154図	29	18住 30	深鉢	底部(10%)	砂粒やや多。良。明赤褐色。	器面劣化。沈線文。底面網代痕。上げ底状。底径6.0。	後期
154図	29	18住 31	釣手付壺	胴部片	砂粒少。良。灰褐色。	縦位隆帯。内面ナデ。外面研磨。光沢。	後期前半
156図	29	6配 1	深鉢	胴部片	細砂粒やや多。良。黒褐色。	横位沈線。単節L R縄文充填。内外面研磨。	加曾利B2
156図	29	6配 2	深鉢	口縁～胴部(40%)	砂粒少。良。黒褐色。	盲孔を伴う突起。口縁内面段状。口唇部に刻み。沈線文。区切り文。単節L R縄文充填。内外面丁寧な研磨。口径(10.6)。残存高(8.9)。	加曾利B2
156図	29	6配 3	深鉢	口縁部片	砂粒多。良。黒褐色。	口縁肥厚。沈線文。内外面研磨。	高井東
156図	29	6配 4	深鉢	頸～胴部片	砂粒多。良。褐色。	器面やや劣化。横位羽状沈線。内外面研磨。	高井東
156図	29	6配 5	深鉢	胴部片	砂粒多。良。褐色。	無文。外面ナデ。	後期

遺物観察表

遺物観察表(石器)

18区11号住居 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
11図	18	11住 31	石鏃	完形	15.8	10.7	2.0	0.2	黒曜石	基部は深い逆U字状
11図	18	11住 32	石鏃	完形	25.8	13.0	5.7	1.4	黒曜石	
11図	18	11住 33	削器	完形	25.7	14.8	7.5	2.6	黒曜石	
11図	18	11住 34	磨製石斧	30%	(77.0)	68.0	36.0	270.0	蛇紋岩	
11図	18	11住 35	磨石	完形	109.0	89.5	52.0	552.0	粗粒輝石安山岩	
11図	18	11住 36	磨石	ほぼ完形	70.0	60.0	52.5	269.0	粗粒輝石安山岩	小型。被熱痕跡あり
11図	18	11住 37	磨石	完形	75.0	56.5	49.0	285.0	粗粒輝石安山岩	小型
11図	18	11住 38	磨石	完形	98.0	84.0	68.6	740.0	粗粒輝石安山岩	
12図	18	11住 39	磨石	完形	151.5	133.5	119.0	3,300.0	石英閃緑岩	丸石
12図	18	11住 40	磨石	完形	185.0	157.0	126.0	5,300.0	石英閃緑岩	丸石

18区13号住居 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
16図	18	13住 24	加工痕	一部欠損	19.5	13.0	6.1	1.2	黒曜石	
16図	18	13住 25	磨石	完形	90.0	90.0	69.6	838.5	粗粒輝石安山岩	
16図	18	13住 26	磨石	完形	101.0	86.0	71.0	922.4	粗粒輝石安山岩	敲打痕あり
16図	18	13住 27	磨石	完形	121.9	75.1	49.4	610.0	粗粒輝石安山岩	両面に凹み
16図	18	13住 28	磨石	完形	139.5	49.0	51.0	540.0	粗粒輝石安山岩	柱状。四面に凹み

18区14号住居 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
21図	18	14住 33	石鏃	70%	18.8	18.6	3.5	1.0	安山岩	基部は浅い逆U字状
21図	18	14住 34	石鏃	完形	24.0	27.7	6.7	3.2	黒曜石	つまみあり
21図	18	14住 35	削器	完形	21.5	24.0	4.2	1.3	黒曜石	
21図	18	14住 36	打製石斧	一部欠損	150.9	48.3	22.3	209.0	細粒輝石安山岩	短冊形
21図	18	14住 37	打製石斧	一部欠損	192.2	73.8	16.6	289.0	細粒輝石安山岩	短冊形
21図	18	14住 38	磨製石斧	完形	76.7	34.7	15.2	72.0	蛇紋岩	小型
21図	18	14住 39	凹石	一部欠損	139.0	76.0	42.2	590.0	粗粒輝石安山岩	
21図	18	14住 40	磨石	完形	92.0	81.0	54.5	582.0	粗粒輝石安山岩	両面に凹み
22図	18	14住 41	磨石	70%	154.0	77.0	41.0	650.0	粗粒輝石安山岩	端部に敲いた痕跡。両面に凹み
22図	18	14住 42	磨石	完形	194.0	73.0	41.0	1,303.0	粗粒輝石安山岩	端部に敲打痕あり
22図	18	14住 43	敲石	完形	255.0	85.3	69.2	2,330.0	粗粒輝石安山岩	両端部に敲打痕あり

18区15号住居 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
41図	18	15住 112	装飾品	—	28.0	15.0	5.3	2.9	滑石	装飾品の未製品か
41図	18	15住 113	石鏃	完形	13.5	14.2	2.5	0.3	黒曜石	基部は浅い逆U字状
41図	18	15住 114	石鏃	50%	17.5	12.5	4.5	0.6	黒曜石	基部は浅い逆U字状か
41図	18	15住 115	石鏃	50%	20.2	9.7	2.6	0.4	碧玉	基部は深い逆U字状
41図	18	15住 116	石鏃	一部欠損	23.5	17.0	6.0	2.7	碧玉	基部は凹弧状
41図	18	15住 117	石鏃未製品	—	27.5	23.6	9.5	5.2	碧玉	
41図	18	15住 118	石鏃未製品	—	22.5	14.5	7.5	2.2	黒曜石	
41図	18	15住 119	石鏃未製品	—	20.0	18.0	5.0	1.2	黒曜石	
41図	18	15住 120	石鏃	完形	26.9	14.8	5.8	2.1	チャート	
41図	18	15住 121	石鏃	完形	27.1	25.7	12.5	6.9	チャート	
42図	18	15住 122	削器	完形	32.5	14.0	9.6	3.2	黒曜石	
42図	18	15住 123	削器	完形	22.0	26.5	6.0	2.5	黒曜石	
42図	18	15住 124	石核	—	22.5	23.5	12.0	4.6	黒曜石	
42図	18	15住 125	石核	—	30.5	48.0	30.0	42.1	碧玉	
42図	18	15住 126	磨製石斧	70%	(64.0)	45.5	17.5	109.0	蛇紋岩	
42図	18	15住 127	磨製石斧	ほぼ完形	113.0	77.0	43.0	734.9	蛇紋岩	端部に敲打痕あり
42図	18	15住 128	磨製石斧	40%	(50.0)	39.5	28.0	82.6	蛇紋岩	
42図	18	15住 129	軽石製品	完形	54.0	46.0	30.5	20.8	軽石	小型円形
42図	18	15住 130	軽石製品	完形	58.5	66.0	37.0	43.4	軽石	不定形
42図	18	15住 131	軽石製品	完形	93.0	75.0	25.5	46.4	軽石	板状
42図	18	15住 132	軽石製品	完形	93.0	66.0	26.0	45.5	軽石	板状
43図	18	15住 133	磨石	完形	104.0	86.0	68.0	886.9	粗粒輝石安山岩	
43図	18	15住 134	磨石	完形	85.0	64.0	56.8	472.6	粗粒輝石安山岩	
43図	18	15住 135	磨石	完形	103.0	87.0	74.0	1,067.4	粗粒輝石安山岩	
43図	18	15住 136	磨石	完形	71.0	40.0	24.1	101.3	粗粒輝石安山岩	小型。端部に敲打痕あり
43図	18	15住 137	磨石	完形	109.0	80.0	76.0	997.4	粗粒輝石安山岩	
43図	18	15住 138	磨石	完形	135.0	79.0	26.0	348.3	多孔質安山岩	板状の石器
43図	18	15住 139	磨石	完形	134.0	115.0	78.0	1,709.4	粗粒輝石安山岩	
44図	18	15住 140	磨石	ほぼ完形	124.0	88.0	30.0	502.5	石英閃緑岩	劣化による剥落
44図	18	15住 141	磨石	完形	85.0	80.0	61.4	643.2	粗粒輝石安山岩	
44図	18	15住 142	磨石	完形	92.0	81.0	53.0	593.0	粗粒輝石安山岩	両面に凹み
44図	18	15住 143	磨石	完形	113.0	82.0	43.7	586.5	粗粒輝石安山岩	両面に凹み
44図	18	15住 144	磨石	完形	116.0	104.0	55.8	1,071.7	粗粒輝石安山岩	両面に凹み
44図	18	15住 145	磨石	完形	120.0	98.0	54.4	879.5	粗粒輝石安山岩	凹み穴あり
45図	18	15住 146	磨石	完形	123.0	96.0	93.6	1,559.2	粗粒輝石安山岩	凹み穴あり
45図	18	15住 147	磨石	完形	114.0	94.0	89.0	1,370.4	石英閃緑岩	丸石
45図	18	15住 148	磨石	完形	111.8	110.8	99.0	1,813.5	粗粒輝石安山岩	丸石
45図	18	15住 149	台石	ほぼ完形	169.0	159.0	121.0	4,710.0	石英閃緑岩	劣化による剥落
46図	18	15住 150	台石	完形	171.0	157.0	127.0	4,950.0	粗粒輝石安山岩	凹み穴あり
46図	18	15住 151	凹石	完形	122.0	100.0	57.0	745.3	粗粒輝石安山岩	
46図	18	15住 152	凹石	ほぼ完形	122.0	90.0	45.0	460.1	多孔質安山岩	
46図	18	15住 153	台石	完形	307.0	278.5	185.0	23,100.0	石英閃緑岩	
47図	18	15住 154	台石	完形	178.0	157.0	68.0	2,540.0	粗粒輝石安山岩	
47図	18	15住 155	石棒	一部欠損	347.0	149.0	146.0	11,000.0	デイサイト	炉石に転用。被熱痕跡あり

18区19号住居、5・6号列石、31・32号配石 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
56図	18	19住 11	打製石斧	60%	64.6	49.8	16.1	73.2	粗粒輝石安山岩	分銅形か
56図	18	19住 12	打製石斧	80%	98.0	46.1	14.1	68.6	粗粒輝石安山岩	撥形
56図	18	19住 13	磨製石斧	完形	112.5	55.0	31.7	369.5	凝灰岩	未製品か
57図	18	19住 14	磨製石斧	90%	151.8	64.4	36.2	574.9	蛇紋岩	
57図	18	19住 15	磨石	ほぼ完形	110.0	41.0	32.0	214.1	粗粒輝石安山岩	端部に敲打痕あり
57図	18	19住 16	磨石	完形	123.0	69.0	55.5	748.6	粗粒輝石安山岩	両面に凹み
57図	18	19住 17	多孔石	80%	258.0	173.0	(156.0)	650.0	粗粒輝石安山岩	
59図	18	5列 19	打製石斧	80%	(76.0)	51.0	14.0	61.9	粗粒輝石安山岩	短冊形か
59図	18	5列 20	磨石	50%	(80.0)	75.0	39.0	302.1	粗粒輝石安山岩	両面に凹み

遺物観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g()は推定値]				石材	備考
59図	18	5列 21	石皿	破片	(144.0)	(101.0)	78.0	1,271.9	粗粒輝石安山岩	
62図	18	6列 22	石錐	一部欠損	46.0	20.0	12.8	7.6	粗粒輝石安山岩	
62図	18	6列 23	打製石斧	完形	111.5	50.0	18.5	103.7	粗粒輝石安山岩	短冊形
62図	18	6列 24	打製石斧	ほぼ完形	94.0	52.0	22.0	127.5	粗粒輝石安山岩	短冊形
62図	18	6列 25	打製石斧	ほぼ完形	100.0	68.0	18.0	130.5	黒色頁岩	分銅形
62図	18	6列 26	打製石斧	70%	(86.0)	77.0	26.0	162.0	デイスイト	楕形か
63図	18	6列 27	台石	一部欠損	343.0	314.0	116.0	20,400.0	粗粒輝石安山岩	
64図	18	6列 28	多孔石	完形	620.0	324.0	240.0	—	粗粒輝石安山岩か	
64図	18	5-6列 3	石核	—	118.0	98.0	53.0	683.8	粗粒輝石安山岩	
65図	18	5-6列 4	磨製石斧	完形	72.0	46.0	12.0	59.7	蛇紋岩	小型
65図	18	5-6列 5	磨製石斧	ほぼ完形	112.0	50.0	26.0	238.9	蛇紋岩	
65図	18	5-6列 6	磨製石斧	50%	(81.0)	46.0	28.0	172.6	蛇紋岩	
65図	18	5-6列 7	磨石	完形	101.0	61.0	30.0	274.2	粗粒輝石安山岩	
65図	18	5-6列 8	磨石	完形	113.0	92.0	57.0	808.4	粗粒輝石安山岩	両面に凹み
65図	18	5-6列 9	磨石	完形	112.0	107.0	66.0	1,003.1	粗粒輝石安山岩	両面に凹み。被熱痕跡あり
66図	18	31配 2	磨製石斧	完形	82.5	29.0	9.5	42.4	蛇紋岩	
66図	18	31配 3	多孔石	70%	(168.0)	182.0	121.0	5,200.0	粗粒輝石安山岩	
66図	18	32配 1	石皿	破片	(99.0)	(82.0)	(42.0)	291.8	粗粒輝石安山岩	脚を持つ

19区27号住居、18区23号配石 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g()は推定値]				石材	備考
77図	19	27住 68	石鏃未製品	—	23.5	15.5	5.2	1.1	黒曜石	
77図	19	27住 69	磨石	完形	120.0	73.5	41.0	650.0	粗粒輝石安山岩	
77図	19	27住 70	磨石	ほぼ完形	83.0	91.0	37.0	400.0	粗粒輝石安山岩	被熱痕跡あり
77図	19	27住 71	磨石	完形	121.0	128.0	63.0	145.5	粗粒輝石安山岩	
80図	18	23配 16	打製石斧	完形	108.0	48.0	16.0	99.0	粗粒輝石安山岩	楕形
80図	18	23配 17	磨石	完形	126.0	92.0	60.5	1,031.7	粗粒輝石安山岩	被熱痕跡、凹み穴あり
80図	18	23配 18	多孔石	完形	167.0	118.0	85.0	2,000.0	粗粒輝石安山岩	
80図	18	23配 19	多孔石	一部欠損	116.0	110.0	48.3	715.2	粗粒輝石安山岩	

19区40号住居 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g()は推定値]				石材	備考
86図	19	40住 32	石鏃	一部欠損	19.0	10.0	2.5	0.3	碧玉	基部は浅い逆U字状
86図	19	40住 33	削器	完形	92.0	71.0	21.0	114.1	粗粒輝石安山岩	
86図	19	40住 34	磨製石斧	20%	37.0	46.0	21.0	67.3	蛇紋岩	
86図	19	40住 35	磨石	完形	89.0	72.0	66.0	629.2	粗粒輝石安山岩	
86図	19	40住 36	磨石	完形	122.0	84.0	41.8	673.2	石英閃緑岩	両面に凹み
86図	19	40住 37	磨石	完形	181.0	56.0	51.4	713.1	粗粒輝石安山岩	両端部に敲打痕あり
87図	19	40住 38	多孔石	完形	218.0	157.5	116.0	5,600.0	粗粒輝石安山岩	

18区11号住居 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g()は推定値]				石材	備考
90図	28	16住 12	磨石	完形	88.0	48.1	79.1	228.3	粗粒輝石安山岩	

28区17号住居 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g()は推定値]				石材	備考
92図	28	17住 7	多孔石	完形	270.5	212.5	94.0	5,300.0	粗粒輝石安山岩	
93図	28	17住 8	多孔石	完形	241.0	164.0	133.5	4,540.0	粗粒輝石安山岩	

28区18号住居、10-11号列石、16号配石 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g()は推定値]				石材	備考
97図	28	18住 13	石鏃	完形	15.0	13.0	2.6	0.4	黒曜石	基部は逆U字状
97図	28	18住 14	打製石斧	60%	(68.5)	42.1	9.9	30.6	安山岩	楕形か
97図	28	18住 15	打製石斧	80%	(95.4)	46.3	14.7	77.6	粗粒輝石安山岩	短冊形
97図	28	18住 16	削器	完形	33.5	46.0	10.5	14.0	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	
98図	28	18住 17	磨石	完形	126.0	114.0	40.0	901.9	粗粒輝石安山岩	
98図	28	10列 12	磨石	完形	95.0	67.0	34.5	329.8	粗粒輝石安山岩	
98図	28	11列 3	削器	完形	68.0	39.0	18.0	37.7	黒色安山岩	
99図	28	11列 4	磨石	完形	147.0	124.0	130.0	3,100.0	粗粒輝石安山岩	丸石
99図	28	16配 8	石鏃	80%	17.0	(11.0)	2.3	0.3	チャート	基部は深い逆U字状
99図	28	16配 9	石鏃	一部欠損	(22.0)	17.0	3.6	1.2	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	基部は平坦
99図	28	16配 10	石鏃未製品	—	38.5	19.5	8.5	5.3	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	大型。基部は浅い逆U字状
99図	28	16配 11	石鏃	完形	37.5	24.0	14.5	10.2	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	基部は円弧状
100図	28	16配 12	石鏃	完形	37.0	21.0	12.0	6.3	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	
100図	28	16配 13	石鏃	完形	30.5	19.0	7.8	3.2	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	
100図	28	16配 14	石錐	完形	20.0	11.5	4.0	1.0	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	有茎。基部は突出
100図	28	16配 15	削器	完形	32.5	21.0	8.0	5.4	黒色安山岩	つまみあり
100図	28	16配 16	削器	完形	28.0	46.0	20.5	22.6	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	

28区20号住居 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g()は推定値]				石材	備考
106図	28	20住 44	石鏃	一部欠損	15.6	12.3	2.1	0.4	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	基部は深い逆U字状
106図	28	20住 45	打製石斧	完形	123.0	52.3	17.8	133.6	粗粒輝石安山岩	短冊形
106図	28	20住 46	剥片	—	52.0	40.5	17.0	27.9	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	No47と接合
106図	28	20住 47	石核	—	62.5	79.5	43.0	205.3	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	No46と接合
106図	28	20住 48	磨石	完形	81.0	51.0	39.0	201.9	粗粒輝石安山岩	敲打痕あり。凹み穴あり
106図	28	20住 49	凹石	一部欠損	93.0	72.6	66.2	426.2	粗粒輝石安山岩	

29区3号住居 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g()は推定値]				石材	備考
118図	29	3住 124	石鏃	完形	18.7	13.7	1.9	0.3	黒曜石	基部は逆U字状
118図	29	3住 125	石鏃	完形	18.8	12.5	2.3	0.4	碧玉	基部は浅い逆U字状
118図	29	3住 126	石鏃	一部欠損	15.7	11.8	2.4	0.3	黒曜石	基部は浅い逆U字状
118図	29	3住 127	石鏃	一部欠損	16.4	13.8	2.4	0.5	碧玉	基部は浅い逆U字状
118図	29	3住 128	石鏃	完形	19.4	14.8	3.8	0.9	黒曜石	有茎。基部は突出
118図	29	3住 129	石鏃	60%	15.3	7.6	2.7	0.3	黒曜石	基部は深い逆U字状か
118図	29	3住 130	石鏃?	80%	17.3	15.8	3.7	0.9	黒曜石	
118図	29	3住 131	石鏃	60%	16.4	4.5	3.3	0.3	珩質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	
118図	29	3住 132	石核	—	24.1	24.0	16.5	7.5	黒曜石	
118図	29	3住 133	石核	—	27.0	18.5	15.0	5.7	黒曜石	
118図	29	3住 134	打製石斧	完形	91.0	63.2	14.1	82.0	黒色安山岩	楕形
118図	29	3住 135	打製石斧	80%	92.5	68.0	21.0	146.8	黒色頁岩	楕形

遺物観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
118図	29	3住 136	打製石斧	80%	111.5	69.0	16.5	150.1	粗粒輝石安山岩	短冊形
118図	29	3住 137	軽石製品	完形	127.0	83.0	59.0	311.0	軽石	楕円形の皿状
119図	29	3住 138	台石	完形	250.0	139.0	120.0	6,500.0	粗粒輝石安山岩	大型
119図	29	3住 139	磨石	ほぼ完形	116.0	90.0	61.7	909.1	粗粒輝石安山岩	凹み穴あり
119図	29	3住 140	磨石	完形	125.0	72.0	56.9	708.0	粗粒輝石安山岩	両面に凹み
119図	29	3住 141	磨石	完形	85.0	78.0	50.0	504.6	粗粒輝石安山岩	両面に凹み
119図	29	3住 142	磨石	完形	131.0	96.0	47.0	889.3	粗粒輝石安山岩	両面に凹み
119図	29	3住 143	磨石	ほぼ完形	117.0	71.0	29.7	402.1	粗粒輝石安山岩	両面に凹み。端部に敲打痕あり
120図	29	3住 144	磨石	完形	137.0	52.0	44.0	567.1	粗粒輝石安山岩	柱状石器。両面に凹み。端部に敲打痕あり
120図	29	3住 145	台石	ほぼ完形	260.0	275.0	84.0	10,300.0	粗粒輝石安山岩	
120図	29	3住 146	石皿	50%	195.5	222.5	89.0	4,870.0	粗粒輝石安山岩	
121図	29	3住 147	多孔石	ほぼ完形	198.1	177.0	139.0	5,800.0	粗粒輝石安山岩	凹み穴あり
121図	29	3住 148	多孔石	一部欠損	150.0	114.0	94.0	1,790.0	粗粒輝石安山岩	
121図	29	3住 149	多孔石	ほぼ完形	203.5	188.5	93.0	5,500.0	粗粒輝石安山岩	
122図	29	3住 150	石棒	40%	(296.0)	(138.0)	137.0	9,200.0	緑色片岩	凹み穴あり
122図	29	3住 151	石棒?	破片	(86.0)	(62.5)	(39.0)	339.1	緑色片岩	
122図	29	3住 152	石棒	完形	270.0	31.5	29.0	486.0	緑色片岩	有頭

29区4号住居、1・2号列石 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
129図	29	4住 67	石鏃	80%	23.7	13.7	3.3	1.0	黒曜石	基部は深い逆U字状
129図	29	4住 68	加工痕	完形	21.0	15.5	7.0	2.4	黒曜石	石鏃未製品か
129図	29	4住 69	石錐	90%	14.7	11.9	2.6	0.3	黒曜石	つまみあり
129図	29	4住 70	石核	—	31.0	36.5	18.2	22.5	黒曜石	No71と接合
129図	29	4住 71	剥片	—	35.8	18.4	12.8	—	黒曜石	No70と接合
129図	29	4住 72	軽石製品	80%	100.0	56.5	15.0	21.8	軽石	
129図	29	4住 73	磨製石斧	70%	(97.4)	46.1	26.9	223.7	蛇紋岩	
129図	29	4住 74	磨製石斧	40%	(80.0)	69.5	38.0	52.2	蛇紋岩	2点接合。大型
129図	29	4住 75	磨製石斧	50%	(44.5)	33.5	17.0	45.3	蛇紋岩	小型
130図	29	4住 76	磨石	完形	73.0	64.0	57.9	384.9	粗粒輝石安山岩	小型の丸石
130図	29	4住 77	磨石	完形	121.0	84.0	57.3	845.2	粗粒輝石安山岩	
130図	29	4住 78	磨石	完形	150.0	138.0	123.0	3,640.0	粗粒輝石安山岩	丸石
130図	29	4住 79	磨石	ほぼ完形	118.0	91.0	57.0	453.8	多孔質安山岩	
130図	29	4住 80	磨石	完形	125.3	51.2	34.4	300.3	粗粒輝石安山岩	両面に凹み
130図	29	4住 81	磨石	完形	156.0	65.0	54.8	762.1	粗粒輝石安山岩	凹み穴あり
130図	29	4住 82	磨石	完形	94.0	95.0	83.0	1,089.6	粗粒輝石安山岩	敲打痕あり
131図	29	4住 83	凹石	70%	123.0	92.0	45.4	557.2	粗粒輝石安山岩	
131図	29	4住 84	多孔石	完形	313.0	271.5	172.0	15,600.0	粗粒輝石安山岩	
132図	29	1列 12	石核	—	36.0	31.0	18.0	19.5	黒曜石	
132図	29	1列 13	磨石	ほぼ完形	169.0	80.0	44.0	765.5	粗粒輝石安山岩	両面に凹み。端部に敲打痕あり
132図	29	1列 14	磨石	90%	132.0	(78.0)	39.0	633.7	粗粒輝石安山岩	両面に凹み
133図	29	1列 15	石冠	ほぼ完形	86.0	65.0	51.0	439.9	粗粒輝石安山岩	3面に凹み
133図	29	2列 7	石鏃	完形	15.0	11.5	2.3	0.2	黒曜石	基部は逆V字状
133図	29	2列 8	石核	—	60.1	28.0	20.5	25.1	黒曜石	
133図	29	2列 9	多孔石	90%	(167.0)	113.0	101.0	2,110.0	粗粒輝石安山岩	

29区6号住居 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
142図	29	6住 80	石鏃	完形	14.2	12.4	2.2	0.3	黒曜石	基部は浅い逆U字状
142図	29	6住 81	石鏃	完形	17.5	12.1	2.5	0.4	黒曜石	基部は逆U字状
142図	29	6住 82	加工痕	完形	15.0	12.5	4.5	0.6	黒曜石	基部はほぼ平坦
142図	29	6住 83	石錐	一部欠損	22.0	10.0	4.8	0.9	珪質変質岩(流紋岩質凝灰岩)	
142図	29	6住 84	打製石斧	60%	90.0	46.0	9.0	42.9	粗粒輝石安山岩	短冊形
143図	29	6住 85	磨製石斧	60%	(88.0)	(45.0)	24.0	174.9	蛇紋岩	
143図	29	6住 86	磨製石斧	40%	(50.0)	43.5	17.5	58.1	蛇紋岩	
143図	29	6住 87	軽石製品	完形	64.5	59.0	32.0	26.9	軽石	不定形。磨痕あり
143図	29	6住 88	磨石	完形	126.0	83.0	47.7	697.1	粗粒輝石安山岩	
143図	29	6住 89	磨石	完形	102.0	87.0	74.5	941.6	粗粒輝石安山岩	被熱痕跡あり
143図	29	6住 90	磨石	完形	105.0	100.0	77.0	1,143.8	粗粒輝石安山岩	被熱痕跡あり
143図	29	6住 91	磨石	ほぼ完形	114.0	9.0	69.0	1,046.8	粗粒輝石安山岩	
143図	29	6住 92	磨石	80%	132.0	110.5	44.5	578.9	多孔質安山岩	
143図	29	6住 93	磨石	完形	94.0	77.0	49.2	557.5	粗粒輝石安山岩	両面に凹み
144図	29	6住 94	磨石	90%	134.0	67.0	40.0	554.7	粗粒輝石安山岩	激しく敲いた痕跡あり
144図	29	6住 95	凹石	90%	(169.0)	58.0	45.1	659.5	粗粒輝石安山岩	炉石に転用。被熱痕跡あり
144図	29	6住 96	敲石	一部欠損	(204.0)	80.0	76.0	1,900.0	緑色片岩	石棒を転用。炉石に使用。被熱痕跡あり
144図	29	6住 97	台石	ほぼ完形	499.0	445.0	89.0	23,700.0	粗粒輝石安山岩	

29区7号住居 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
146図	29	7住 8	磨石	完形	123.5	91.0	58.0	1,017.0	粗粒輝石安山岩	
146図	29	7住 9	磨石	完形	93.0	77.0	57.5	570.9	粗粒輝石安山岩	わずかに被熱
146図	29	7住 10	台石	ほぼ完形	231.0	119.0	60.0	2,640.0	砂岩	

29区8号住居 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
149図	29	8住 15	石鏃	ほぼ完形	13.8	12.2	3.4	0.4	黒曜石	基部は逆U字状
149図	29	8住 16	磨製石斧	40%	(37.0)	33.0	12.0	20.9	蛇紋岩	小型
150図	29	8住 17	磨製石斧	70%	(151.0)	75.0	49.5	1,046.0	蛇紋岩	大型
150図	29	8住 18	石棒?	60%	(167.5)	85.0	44.5	1,243.2	緑色片岩	
150図	29	8住 19	多孔石	70%	185.0	134.0	117.5	3,690.0	粗粒輝石安山岩	

29区18号住居、6号配石 石器観察表

図版番号	区	掲載番号	器種	残存	計測値 ①長さ②幅③厚さ④重量 [単位:mm,g ()は推定値]				石材	備考
155図	29	18住 32	石鏃	ほぼ完形	21.0	15.3	2.7	0.8	黒曜石	
155図	29	18住 33	石鏃	完形	22.0	19.5	6.5	2.3	黒色安山岩	石鏃未製品か
155図	29	18住 34	装飾品?	完形	61.0	36.0	13.0	14.2	軽石	垂飾?
155図	29	18住 35	磨石	完形	102.0	91.0	80.0	1,067.3	粗粒輝石安山岩	
155図	29	18住 36	石棒	70%	(363.0)	135.0	(102.0)	9,100.0	緑色片岩	
155図	29	18住 37	多孔石	完形	230.1	140.3	77.0	2,620.0	粗粒輝石安山岩	
156図	29	6配 6	石錐	完形	34.0	25.5	8.0	8.9	黒色安山岩	つまみあり
156図	29	6配 7	石棒	50%	(287.0)	(103.0)	85.0	4,000.0	緑色片岩	有頭
157図	29	6配 8	多孔石	ほぼ完形	385.0	319.0	118.0	14,950.0	粗粒輝石安山岩	

抄 録

書名ふりがな	よこかべなかむらいせきかつこはちじょうもんじだいこうきじゅうきょへんいち
書名	横壁中村遺跡（8） 縄文時代後期住居編1
副書名	八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	29
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	462
編著者名	黒澤照弘、藤巻幸男、檜崎修一郎
編集機関	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20090325
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2
遺跡名ふりがな	よこかべなかむらいせき
遺跡名	横壁中村遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんあがつまぐんながのはらまちおおあぎよこかべ
遺跡所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字横壁
市町村コード	10424
遺跡番号	24
北緯（日本測地系）	363210
東経（日本測地系）	1384025
北緯（世界測地系）	363221
東経（世界測地系）	1384013
調査期間	19960401-20061231
調査面積	30000
調査原因	ダム建設
種別	集落
主な時代	縄文／弥生／平安／中世／近世
遺跡概要	縄文-住居17+列石6+配石5-縄文土器+石器
特記事項	縄文時代中期から後期までの拠点的な集落。
要約	吾妻川右岸段丘上に位置する、縄文時代から近世までの複合遺跡。検出された遺構のうち、調査区中央を南北に走行する山根沢の東側で検出された縄文時代後期の住居17軒と伴う列石、配石について報告している。注目される縄文時代の遺物として、長野県や新潟県地域の縄文土器がある。